

佐賀市障がい者プラン等策定のための
アンケート調査
結果報告書

令和5年4月

佐賀市

目 次

第1章 調査概要.....	1
I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	2
第II章 アンケート調査結果.....	3
I 障がい者（18歳以上）.....	3
1 あなたのことについて.....	3
2 住まいについて.....	12
3 日常生活について.....	18
4 移動について.....	23
5 情報コミュニケーションについて.....	31
6 日中の過ごし方について.....	35
7 相談支援について.....	40
8 障がい者への差別や偏見について.....	43
9 非常災害時の対応について.....	49
10 福祉サービスについて.....	58
11 今後の市の施策について.....	61
II 難病患者.....	68
1 あなたのことについて.....	68
2 住まいについて.....	75
3 福祉サービスについて.....	78
4 移動について.....	79
5 情報コミュニケーションについて.....	83
6 日中の過ごし方について.....	86
7 相談支援について.....	90
8 障がい者・難病患者の方への差別や偏見について.....	93
9 非常災害時の対応について.....	96
10 今後の市の施策について.....	100
III 障がい児（18歳未満の子どもがいるご家族）.....	68
1 ご家族・介助者の方ご自身のことについて.....	103
2 ご本人のことについて.....	114
3 移動について.....	119
4 情報コミュニケーションについて.....	126

5	障がい者への差別や偏見について.....	129
6	非常災害時の対応について.....	135
7	福祉サービスについて.....	142
8	今後の市の施策について.....	155
IV	同居の家族・介助者（18歳以上）.....	103
1	ご家族・介助者の方ご自身のことについて.....	165
2	ご本人（障がいのある方）のことについて.....	175

第1章 調査概要

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市内にお住まいの方に障がい者施策、障がい福祉サービスなどに関するご意見をお聴きし、計画に反映させることを目的に実施しました。

2 調査概要

	障がい者 (18歳以上)	同居の家族・ 介助者	難病患者	障がい児 保護者
調査期間	令和5年3月20日(月)～4月5日(金)			
調査対象者	1,000人	1,000人	50人	300人
調査方法	郵送配布・郵送回収、一部直接手渡し	郵送配布・郵送回収、一部直接手渡し	郵送配布・郵送回収、一部直接手渡し	郵送配布・郵送回収、一部直接手渡し

3 回収結果

	障がい者 (18歳以上)	同居の家族・ 介助者	難病患者	障がい児 保護者
配布数	964件	964件	50件	300件
有効回収数	383件	288件	41件	137件
有効回収率	39.7%	29.9%	82.0%	45.7%

4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇本報告書は、それぞれの手帳所持者別や難病の状況別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者、難病患者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者等がそれぞれに数えられ、集計されています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛けをしています。
- ◇集計対象者総数（n）が少ない（10件未満）クロス集計については、分析文の記載を省略しています。

第Ⅱ章 アンケート調査結果

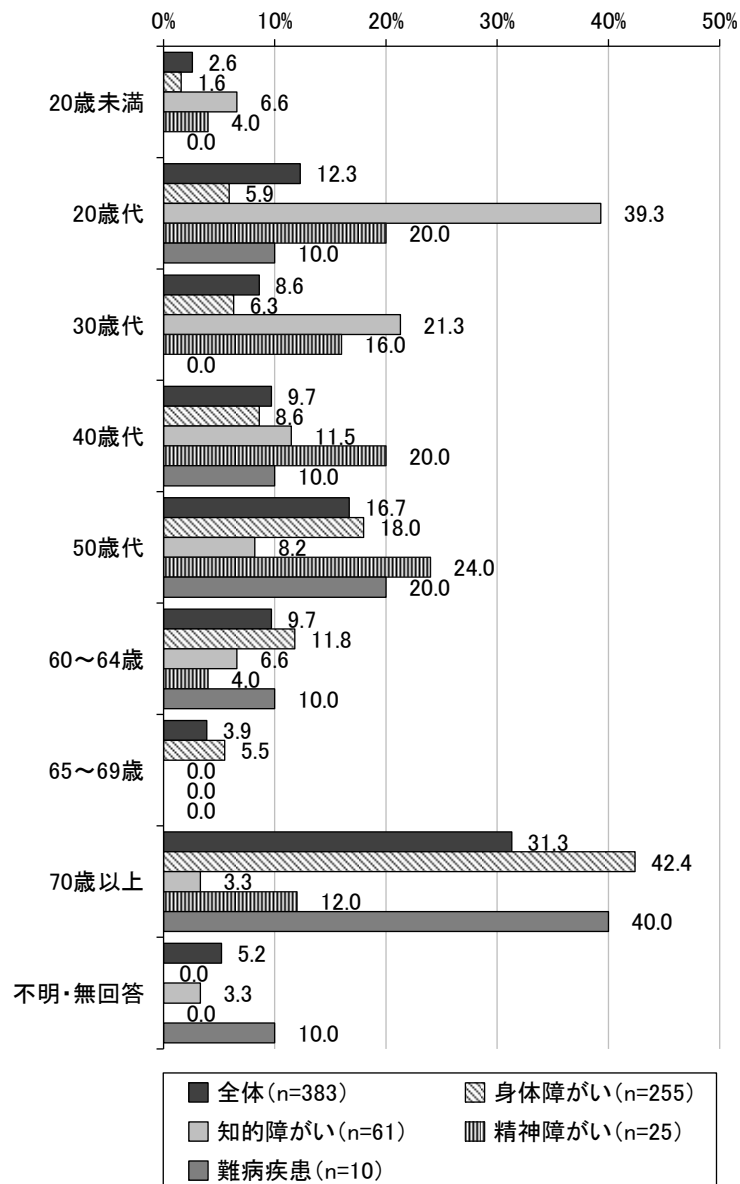
I 障がい者（18歳以上）

I あなたのことについて

問1 あなたの年齢は。（1つに○）

回答者の年齢についてみると、「70歳以上」が31.3%と最も多く、次いで「50歳代」が16.7%、「20歳代」が12.3%となっています。

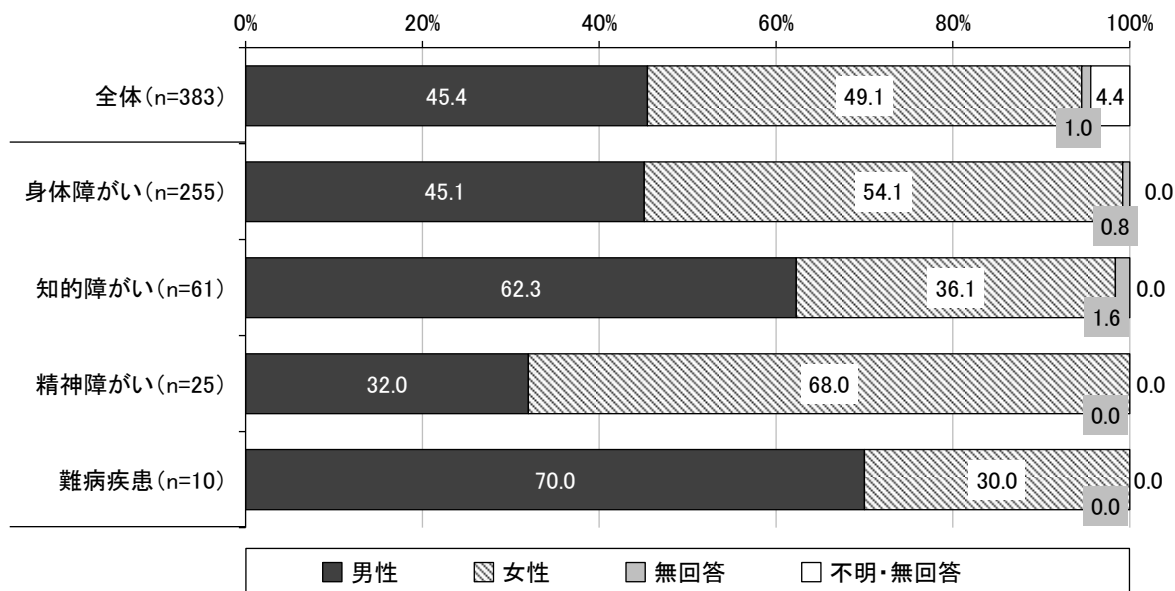
障がい種別にみると、知的障がいでは「20歳代」、精神障がいでは「50歳代」、身体障がいと難病疾患では「70歳以上」が最も多くなっています。



問2 あなたの性別は。(1つに○)

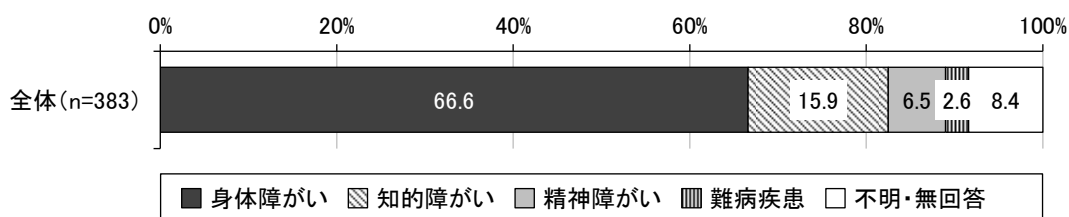
回答者の性別についてみると、「女性」が49.1%と最も多く、次いで「男性」が45.1%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「女性」、知的障がいと難病疾患では「男性」が最も多くなっています。



問3 あなたの主な障がいは何ですか。(1つに○)

回答者の主な障がいについてみると、「身体障がい」が66.6%と最も多く、次いで「知的障がい」が15.9%、「精神障がい」が6.5%となっています。



問4 あなたは障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

回答者の障害者手帳の所持状況についてみると、「身体障害者手帳」が73.6%と最も多く、次いで「療育手帳」が19.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が7.0%となっています。

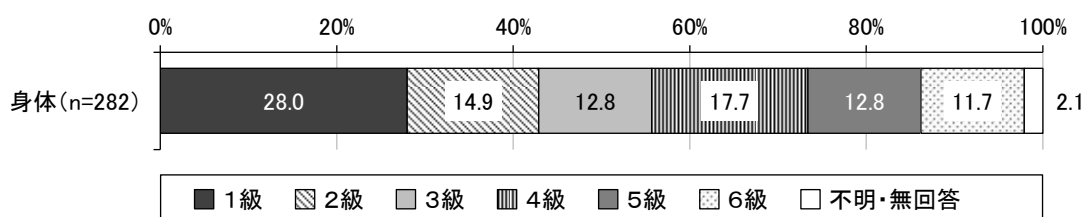
障がい種別にみると、身体障がいと難病疾患では「身体障害者手帳」、知的障がいでは「療育手帳」、精神障がいでは「精神障害者保健福祉手帳」が最も多くなっています。

単位：%	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳なし	難病疾患	不明・無回答
全体(n=383)	73.6	19.6	7.0	1.3	3.9	6.3
身体障がい(n=255)	98.0	1.6	0.4	1.2	2.4	1.6
知的障がい(n=61)	13.1	96.7	6.6	0.0	0.0	1.6
精神障がい(n=25)	12.0	8.0	80.0	8.0	0.0	4.0
難病疾患(n=10)	90.0	40.0	10.0	0.0	70.0	0.0

(問4で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問4：1-1 身体障害者手帳所持者の等級

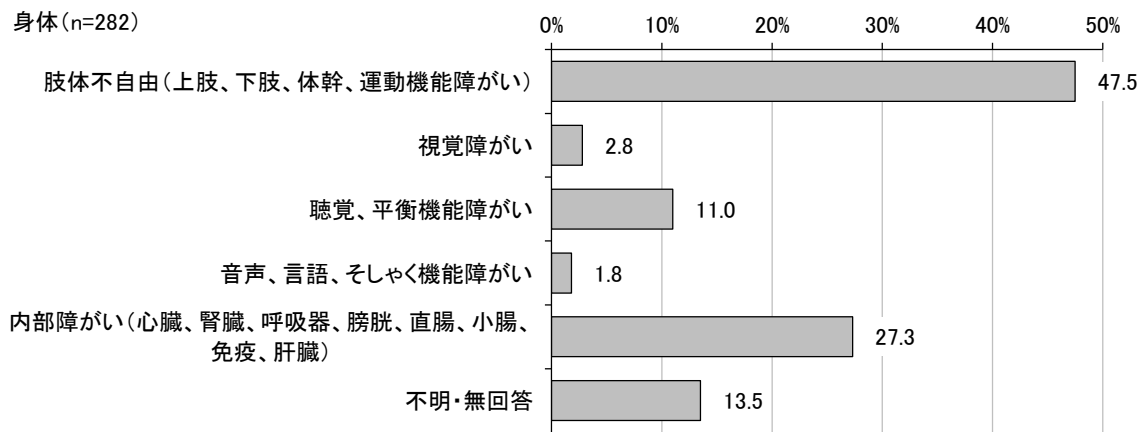
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が28.0%と最も多く、次いで「4級」が17.7%、「2級」が14.9%となっています。



(問4で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問4：1-2 身体障害者手帳所持者の障がい種別

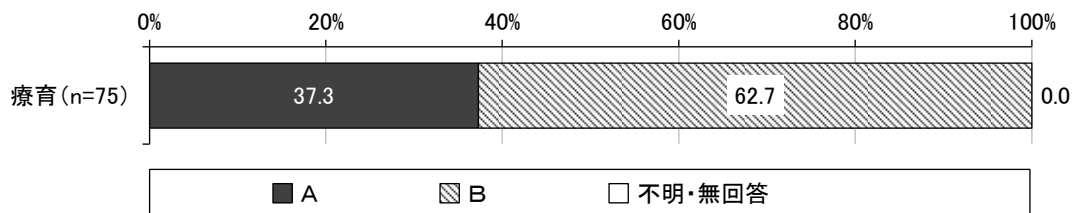
身体障害者手帳所持者の障がい種別についてみると、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障がい)」が47.5%と最も多く、次いで「内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫、肝臓)」が27.3%、「聴覚、平衡機能障がい」が11.0%となっています。



(問4で「療育手帳」を選んだ方へ)

問4：2 療育手帳所持者の等級

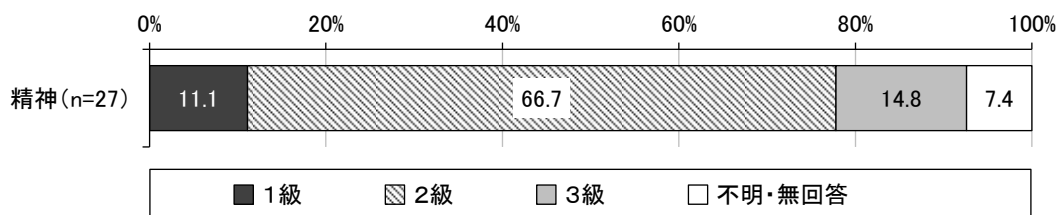
療育手帳所持者の等級についてみると、「B」が62.7%と、「A」の37.3%を上回っています。



(問4で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問4：3-1 精神障害者保健福祉手帳所持者の等級

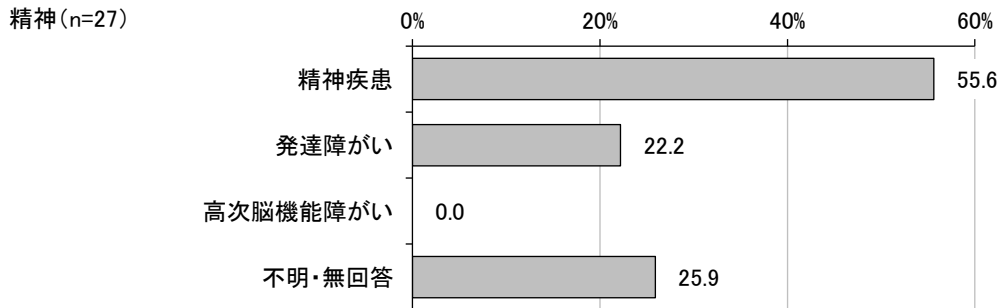
精神障害者保健福祉手帳所持者の等級についてみると、「2級」が66.7%と最も多く、次いで「3級」が14.8%、「1級」が11.1%となっています。



(問4で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問4:3-2 精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別

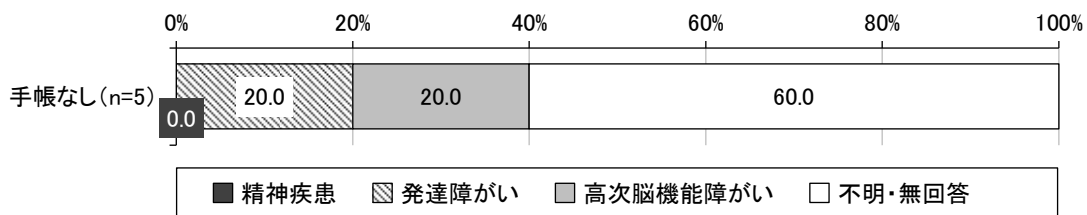
精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別についてみると、「精神疾患」が55.6%と最も多く、次いで「発達障がい」が22.2%となっています。



(問4で「手帳なし」を選んだ方へ)

問4:4 障害者手帳を所持していない方の診断名

障害者手帳を所持していない方の診断名についてみると、「発達障がい」「高次脳機能障がい」が20.0%となっています。



問5 あなたは医療的ケアが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアが必要かについてみると、「その他」を除いて、「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」が6.5%と最も多く、次いで「透析」が5.5%、「モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)」が5.0%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」、知的障がいでは「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」「モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)」、精神障がいと難病疾患では「モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)」が最も多くなっています。

単位:%	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法(在宅酸素)	人工呼吸器	気管切開の処置	経管栄養(胃ろう)
全体(n=383)	0.5	0.0	5.5	2.9	0.8	0.3	0.5	0.8
身体障がい(n=255)	0.8	0.0	6.7	4.3	1.2	0.4	0.4	0.4
知的障がい(n=61)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障がい(n=25)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病疾患(n=10)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0

単位:%	たん吸引	疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)	褥瘡(床ずれ)の処置	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)	導尿	その他	不明・無回答
全体(n=383)	1.0	6.5	2.6	5.0	3.9	14.1	65.0
身体障がい(n=255)	1.2	7.8	2.7	4.7	5.5	17.3	56.9
知的障がい(n=61)	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	6.6	90.2
精神障がい(n=25)	0.0	8.0	0.0	12.0	0.0	8.0	76.0
難病疾患(n=10)	10.0	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0	30.0

【その他回答】

(略)

問6 あなたは今、どなたと暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

誰と暮らしているかについてみると、「配偶者(夫・妻)」「父親・母親」が 34.2%と最も多く、次いで「子(その配偶者を含む)」が 26.1%、「兄弟・姉妹(その配偶者を含む)」が 15.1%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと難病疾患では「配偶者(夫・妻)」、知的障がいと精神障がいでは「父親・母親」が最も多くなっています。

単位：%	配偶者 (夫・妻)	父親・ 母親	子 (その配偶者を含む)	兄弟・ 姉妹 (その配偶者を含む)	祖 父母	孫 (その配偶者を含む)	友人・ 知人	ひとり 暮らし	その他	不明・ 無回答
全体(n=383)	34.2	34.2	26.1	15.1	3.9	3.9	0.0	13.3	5.0	5.0
身体障がい(n=255)	46.7	24.7	35.7	9.4	4.3	5.9	0.0	16.1	2.7	0.4
知的障がい(n=61)	1.6	75.4	1.6	42.6	4.9	0.0	0.0	3.3	9.8	1.6
精神障がい(n=25)	4.0	48.0	12.0	24.0	4.0	0.0	0.0	20.0	16.0	0.0
難病疾患(n=10)	70.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

【その他回答】

- ・グループホーム
- ・入院
- ・同居人
- ・彼女
- ・姪

(普段の生活で「介助」が必要な方へ)

問7 あなたの身の回りのお世話は、どなたがしていますか。(あてはまるものすべてに○)

身の回りの世話は誰がしているかについてみると、「父親・母親」が 16.4%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が 14.1%、「子(その配偶者を含む)」が 10.2%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと難病疾患では「配偶者(夫・妻)」、知的障がいと精神障がいでは「父親・母親」が最も多くなっています。

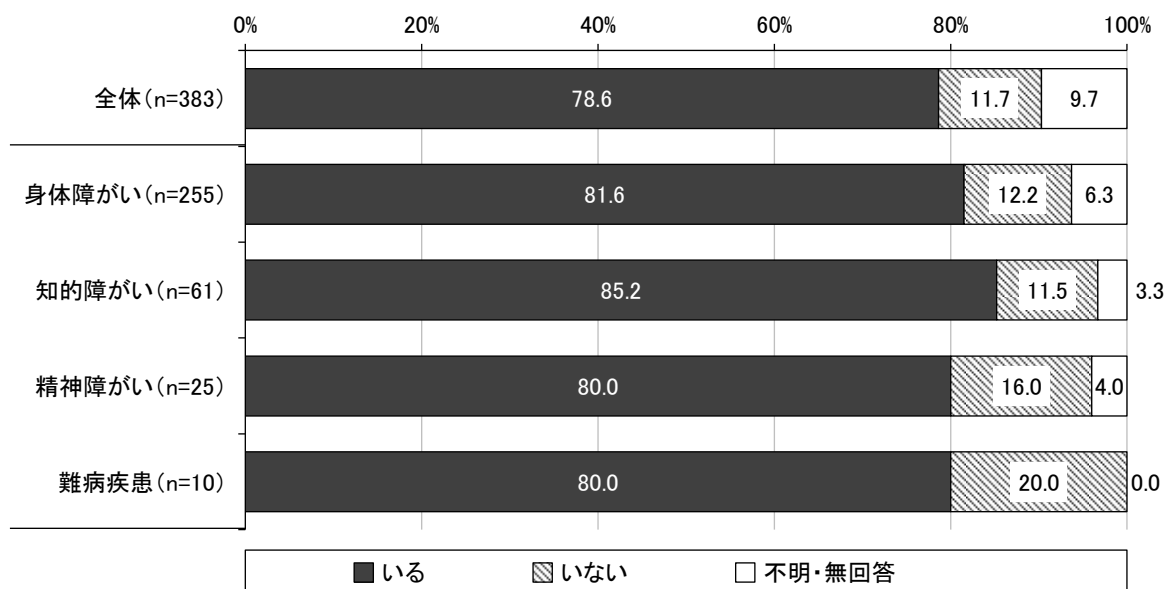
単位:%	配偶者(夫・妻)	父親・母親	子(その配偶者を含む)	兄弟・姉妹(その配偶者を含む)	祖父母	孫(その配偶者を含む)	友人・知人・近所の人	ホームヘルパー	ボランティア	その他	不明・無回答
全体(n=383)	14.1	16.4	10.2	6.0	1.0	1.6	0.0	4.4	0.0	6.5	51.4
身体障がい(n=255)	18.0	9.0	13.3	3.5	0.4	2.0	0.0	5.1	0.0	6.7	52.5
知的障がい(n=61)	1.6	45.9	0.0	16.4	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	44.3
精神障がい(n=25)	4.0	24.0	4.0	12.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0	44.0
難病疾患(n=10)	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0

【その他回答】

- ・ホームヘルパー週1回1時間、風呂トイレ清浄のみ。
- ・自分の周りは自分でやる
- ・グループホーム職員
- ・今は入所施設
- ・GH支援員
- ・入院
- ・訪問介護
- ・姪
- ・団体の先生
- ・彼

問8 緊急時にあなたを支援してくれる人がいますか。(1つに○)

緊急時に支援してくれる人がいるかについてみると、「いる」が78.6%、「いない」が11.7%となっています。障がい種別にみると、いずれも「いる」が多くなっています。



(問8で「いる」と答えた方へ)

問9 それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

支援してくれる人は誰かについてみると、「家族」が89.7%と最も多く、次いで「福祉施設職員」が9.6%、「友人・知人」が6.6%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「家族」が最も多くなっています。

単位: %	家族	近所の人	友人・知人	福祉施設職員	民生委員	職場の人	その他	不明・無回答
全体 (n=301)	89.7	5.0	6.6	9.6	3.7	5.3	6.6	0.3
身体障がい (n=208)	91.8	6.3	7.2	1.9	3.8	4.8	6.7	0.0
知的障がい (n=52)	88.5	1.9	3.8	26.9	1.9	11.5	3.8	1.9
精神障がい (n=20)	70.0	0.0	10.0	35.0	0.0	0.0	15.0	0.0
難病疾患 (n=8)	100.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0

【その他回答】

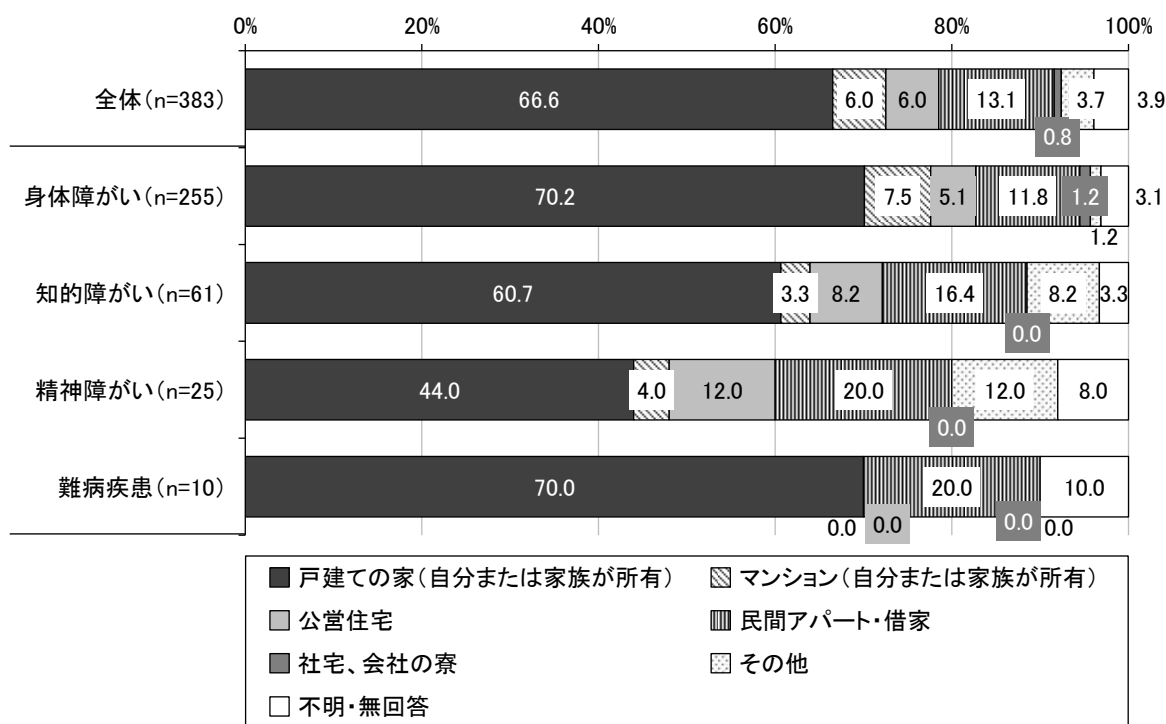
- ・ 訪問介護
- ・ 訪問看護スタッフ
- ・ 彼 訪問介護
- ・ アルソック
- ・ 看護師
- ・ グループホームの方
- ・ 入院
- ・ 病院
- ・ 職場の方
- ・ 親戚
- ・ 訪問看護のスタッフ
- ・ 姉
- ・ 訪問看護所
- ・ ヘルパー

2 住まいについて

問 10 現在あなたはどのようなところにお住まいですか。(1つに○)

現在どのようなところに住んでいるかについてみると、「戸建ての家(自分または家族が所有)」が 66.6%と最も多く、次いで「民間アパート・借家」が 13.1%、「マンション(自分または家族が所有)」「公営住宅」が 6.0%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「戸建ての家(自分または家族が所有)」が最も多くなっています。



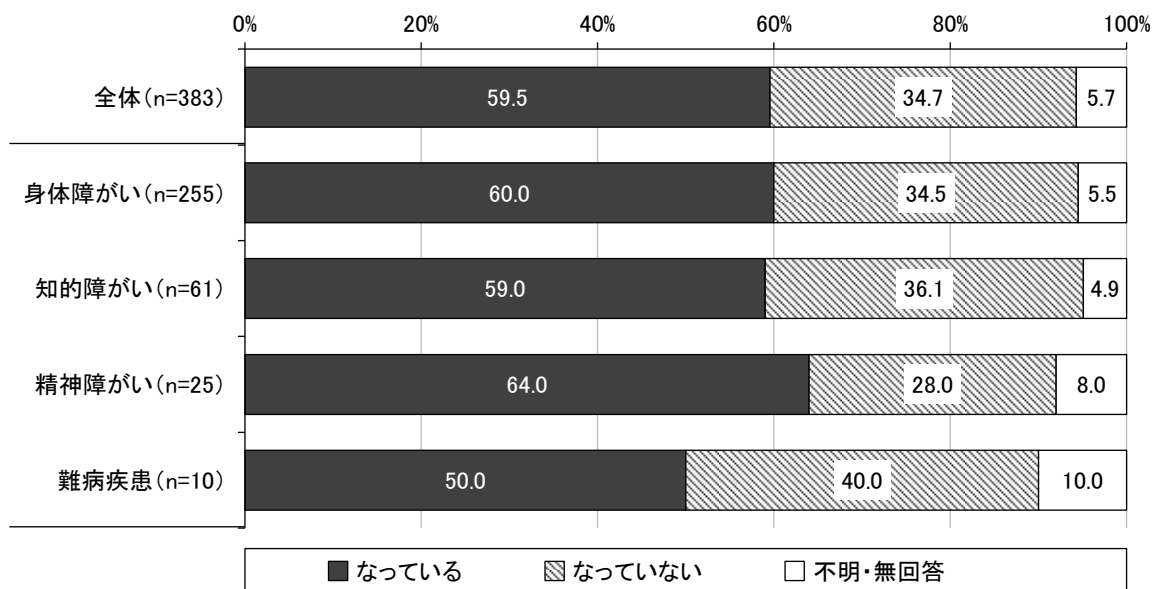
【その他回答】

- ・グループホーム
- ・老人ホーム
- ・介護施設
- ・入院中

問 11 あなたのお住まいは、年齢や障がいのあるなしに関係なく、誰もが暮らしやすいデザインになっていますか。(トイレ、風呂場、玄関など)(1つに○)

住まいは誰もが暮らしやすいデザインになっているかについてみると、「なっている」が 59.5%、「なっていない」が 34.7%となっています。

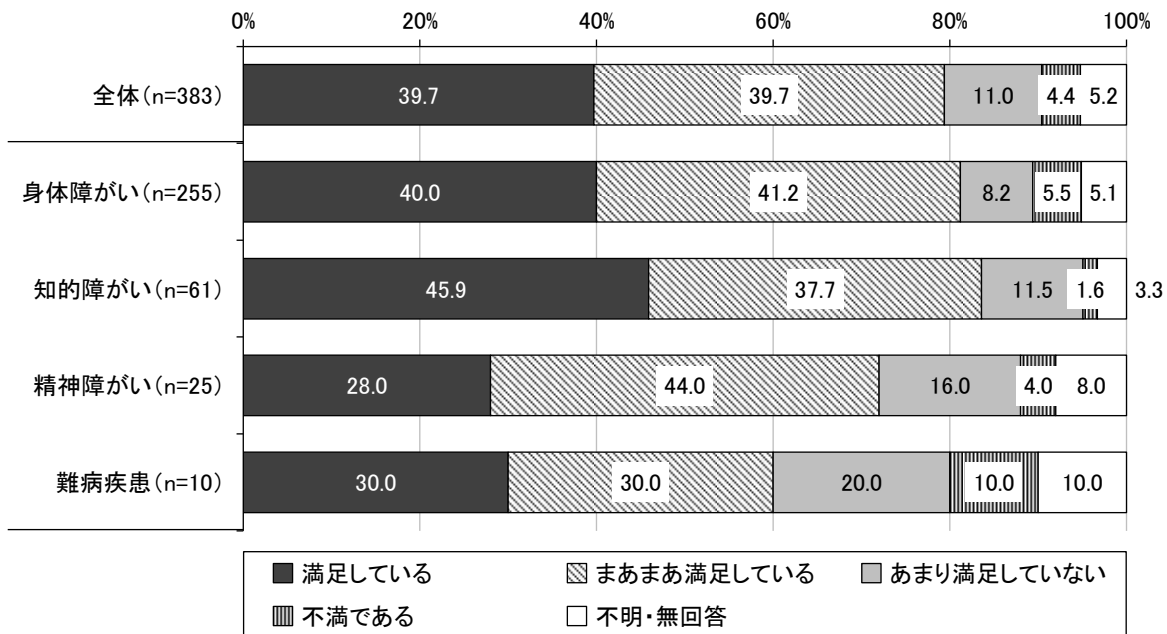
障がい種別にみると、いずれも「なっている」が多くなっています。



問 12 あなたは現在のお住まいに満足していますか。(1つに○)

現在の住まいに満足しているかについてみると、「満足している」「まあまあ満足している」が 39.7%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が 11.0%、「不満である」が 4.4%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいでは「満足している」、身体障がいと精神障がいでは「まあまあ満足している」、難病疾患では「満足している」「まあまあ満足している」が最も多くなっています。



(問 12 で「あまり満足していない」「不満である」と答えた方へ)

問 13 その理由を教えてください。(記述回答)

(略)

(略)

問 14 あなたは今の暮らし方に不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

今の暮らし方に不安はあるかについてみると、「不安はない」が 42.0%と最も多く、次いで「収入が少なくて生活に不安がある」が 28.2%、「親が高齢で不安がある」が 14.9%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「不安はない」、精神障がいと難病疾患では「収入が少なくて生活に不安がある」が最も多くなっています。

単位：%	不安はない	親が高齢で不安がある	収入が少なくて生活に不安がある	ひとり暮らしに不安がある	近所づき合いに不安がある	保証人がいない	アパートが見つからない	利用できるグループホームがない	希望する施設に空きがない	その他	不明・無回答
全体(n=383)	42.0	14.9	28.2	7.3	4.7	2.9	0.8	1.6	2.1	5.2	12.0
身体障がい(n=255)	43.5	11.0	27.8	5.9	4.3	2.0	0.8	0.4	1.2	5.5	12.2
知的障がい(n=61)	41.0	18.0	24.6	8.2	6.6	6.6	1.6	4.9	4.9	6.6	14.8
精神障がい(n=25)	36.0	32.0	52.0	24.0	12.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	8.0
難病疾患(n=10)	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0

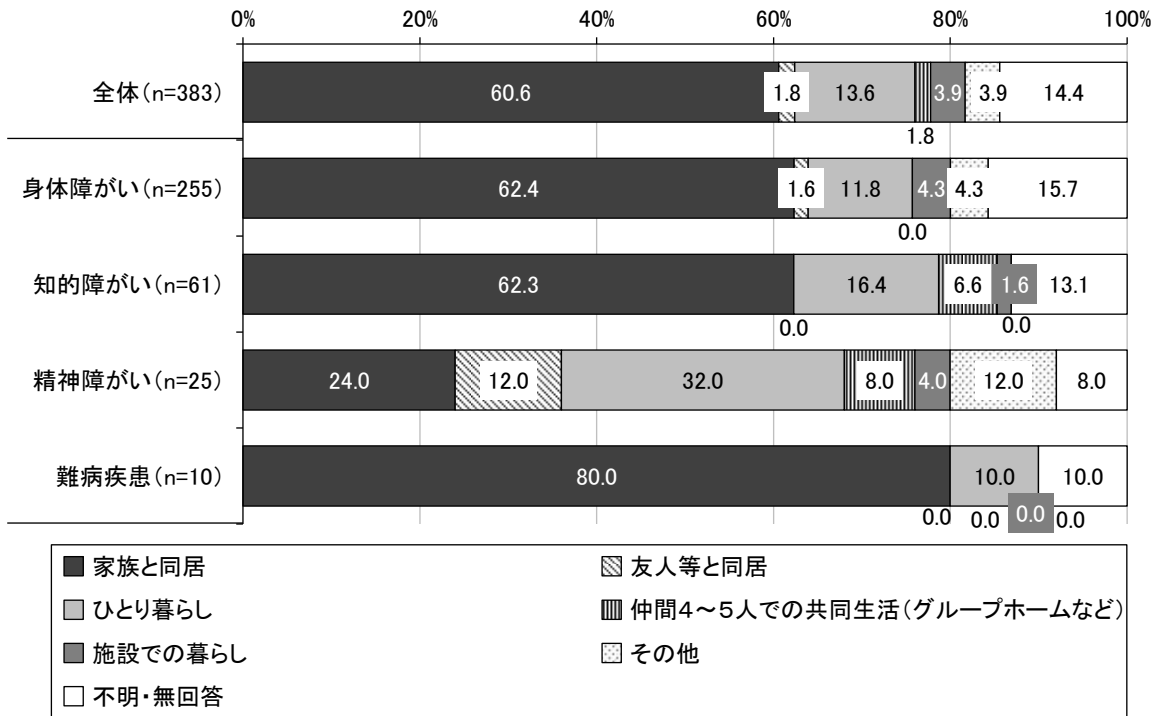
【その他回答】

(略)

問 15 これからのあなたが望む暮らし方はどれですか。(1つに○)

これから望む暮らし方についてみると、「家族と同居」が 60.6%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が 13.6%、「施設での暮らし」が 3.9%となっています。

障がい種別にみると、精神障がい者が「ひとり暮らし」、それ以外の区分では「家族と同居」が最も多くなっています。



【その他回答】

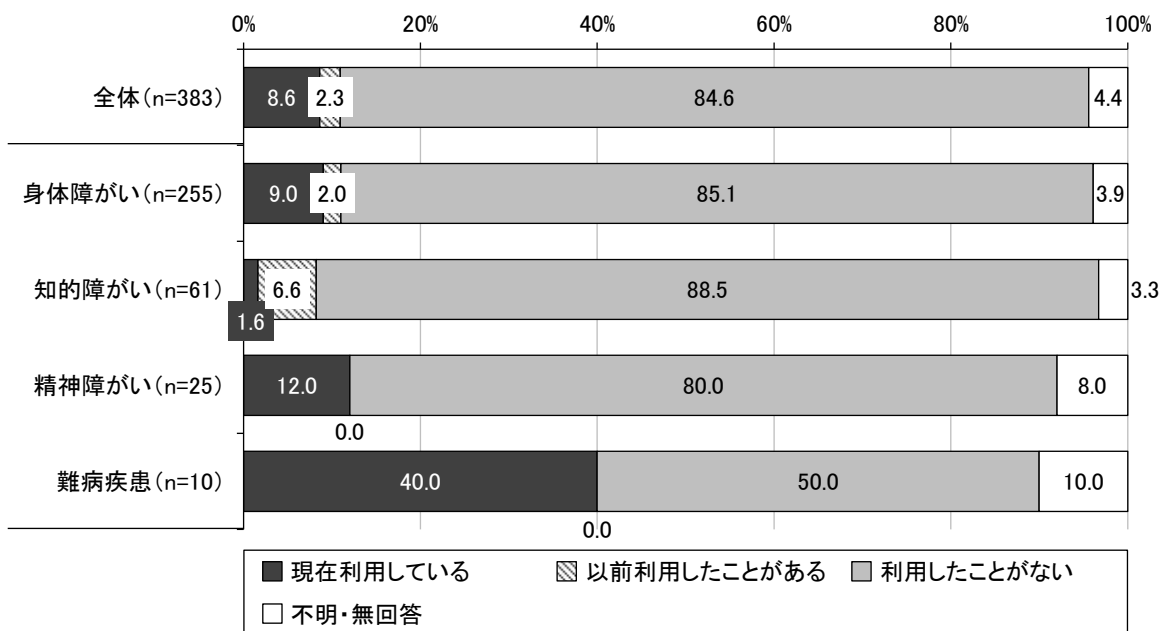
(略)

3 日常生活について

問 16 あなたは、ホームヘルプサービス（入浴、食事等の介助や調理、洗濯等の家事手伝い）を利用したことがありますか。（1つに〇）

ホームヘルプサービスを利用したことがあるかについてみると、「利用したことがない」が 84.6%と最も多く、次いで「現在利用している」が 8.6%、「以前利用したことがある」が 2.3%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「利用したことがない」が最も多くなっています。

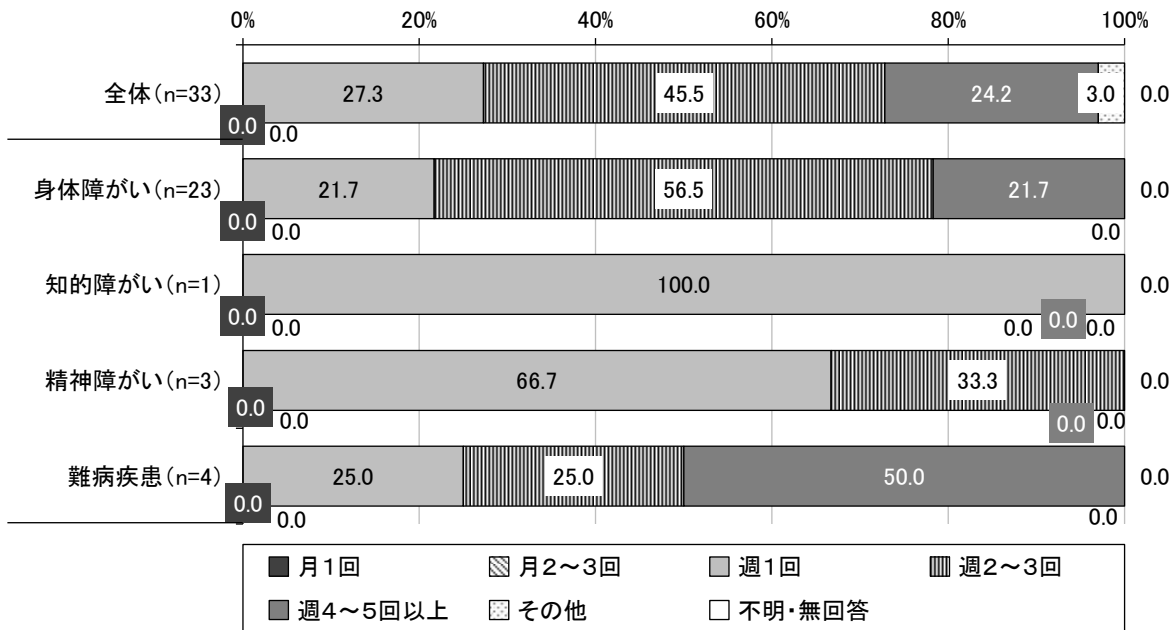


(問 16 で「現在利用している」と答えた方へ)

問 17 あなたはどのくらいの頻度で利用していますか。(1つに○)

ホームヘルプサービスをどのくらいの頻度で利用しているかについてみると、「週2～3回」が45.5%と最も多く、次いで「週1回」が27.3%、「週4～5回以上」が24.2%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「週2～3回」が最も多くなっています。



【その他回答】

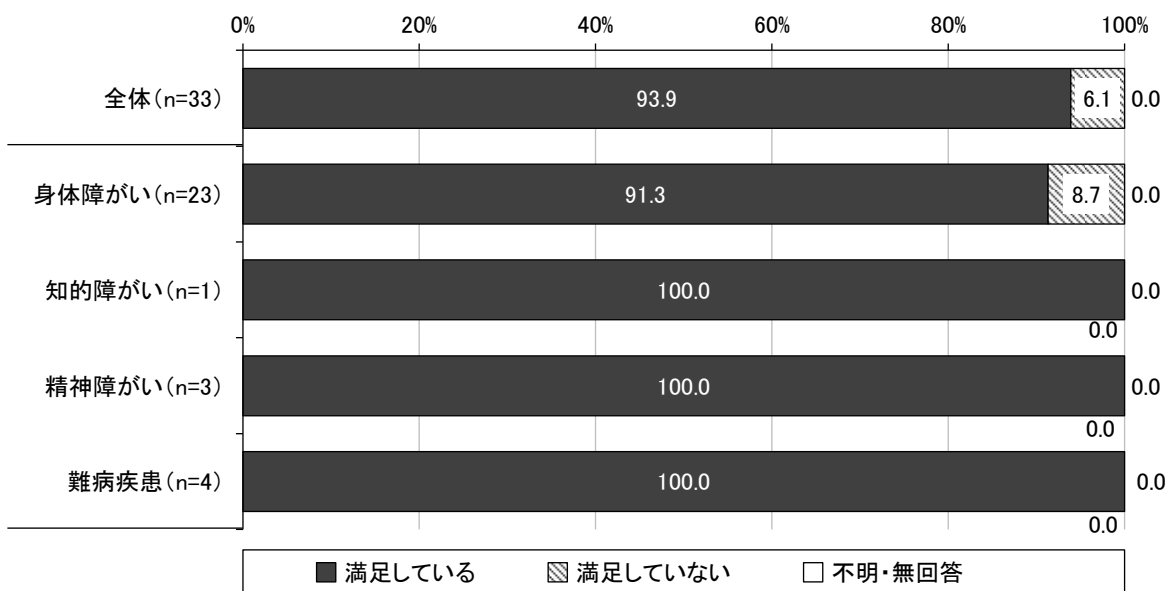
- ・入院中

(問 16 で「現在利用している」と答えた方へ)

問 18 あなたは現在利用しているホームヘルプサービスに満足していますか。(1つに○)

現在利用しているホームヘルプサービスの満足度についてみると、「満足している」が 93.9%、「満足していない」が 6.1%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「満足している」が多くなっています。



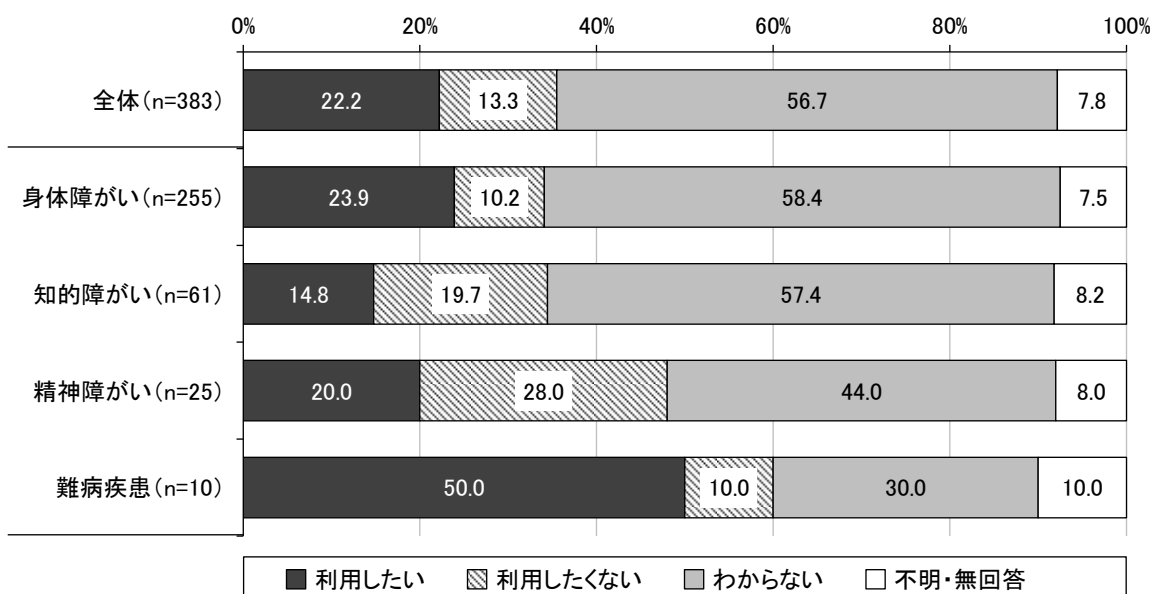
【その他回答】

- ・困っている作業をできない方が来られる (高い所の物を取る、灯油を入れる等)

問 19 あなたは今後、ホームヘルプサービスを利用したいと思いますか。(1つに○)

今後、ホームヘルプサービスを利用したいと思うかについてみると、「わからない」が 56.7%と最も多く、次いで「利用したい」が 22.2%、「利用したくない」が 13.3%となっています。

障がい種別にみると、難病疾患では「利用したい」、それ以外の区分では「わからない」が最も多くなっています。



(問 19 で「利用したい」と答えた方へ)

問 20 あなたは今後、どんな内容のサービスを利用したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

今後、どんな内容のサービスを利用したいと思うかについてみると、「掃除や洗濯、調理、買い物などの支援」が 61.2%と最も多く、次いで「入浴や食事、トイレなどの介助」が 41.2%、「通院への付き添い」が 34.1%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「掃除や洗濯、調理、買い物などの支援」が最も多くなっています。

単位：%	掃除や洗濯、調理、買い物などの支援	通院への付き添い	入浴や食事、トイレなどの介助	買い物への付き添い	ゴミ出し	お金の管理	家の中での見守り	話し相手	その他	不明・無回答
全体(n=85)	61.2	34.1	41.2	18.8	16.5	8.2	10.6	25.9	1.2	1.2
身体障がい(n=61)	62.3	31.1	44.3	11.5	13.1	4.9	9.8	19.7	1.6	0.0
知的障がい(n=9)	55.6	33.3	11.1	55.6	22.2	44.4	22.2	55.6	0.0	11.1
精神障がい(n=5)	60.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
難病疾患(n=5)	40.0	80.0	60.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

【その他回答】

(略)

問 21 (問 19 で「利用したくない」と答えた方へ)

利用したくない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

サービスを利用したくない理由についてみると、「自分でできるので必要ない」が 64.7%と最も多く、次いで「自分の家に他人に入ってほしくない」が 27.5%、「手続きが面倒」が 9.8%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「自分でできるので必要ない」、知的障がいでは「自分の家に他人に入ってほしくない」「自分でできるので必要ない」が最も多くなっています。

単位：%	手続きが面倒	自分の家に他人に入ってほしくない	以前利用したことがあるが、いやな思いをしたことがある	ホームヘルプサービスのかさねの制などを利用できるかどうか	自分でできるので必要ない	その他	不明・無回答
全体(n=51)	9.8	27.5	2.0	2.0	64.7	17.6	5.9
身体障がい(n=26)	7.7	23.1	0.0	0.0	80.8	7.7	3.8
知的障がい(n=12)	25.0	33.3	8.3	8.3	33.3	33.3	16.7
精神障がい(n=7)	0.0	42.9	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0
難病疾患(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

【その他回答】

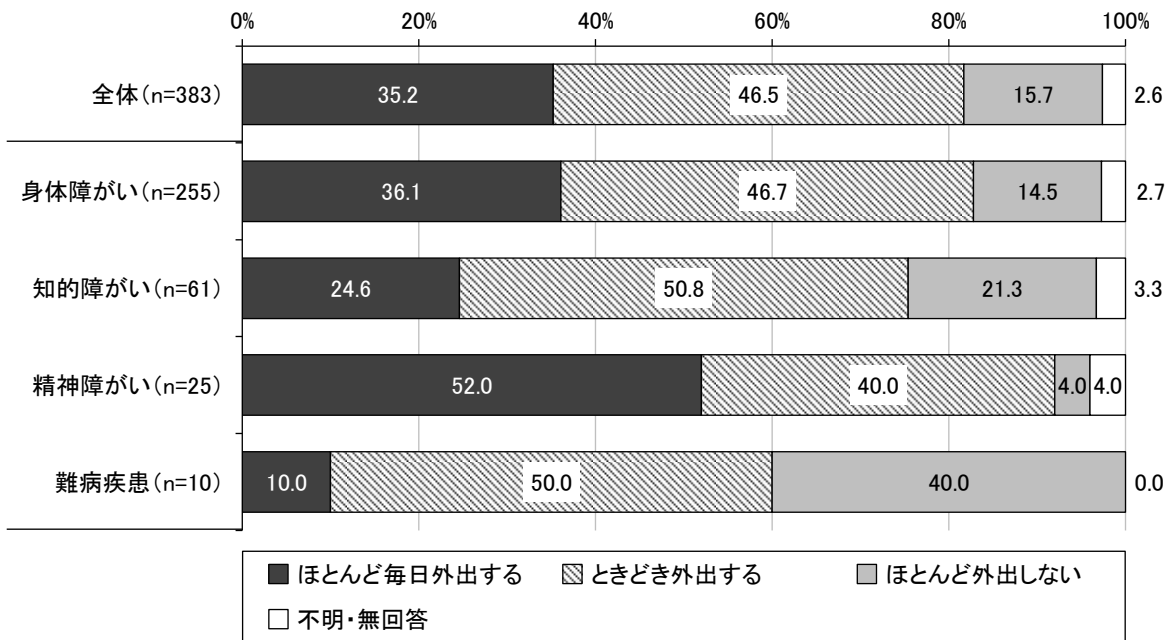
(略)

4 移動について

問 22 あなたは、通勤・通学・通所以外で、普段どれくらい外出しますか。(1つに○)

通勤・通学・通所以外での普段の外出頻度についてみると、「ときどき外出する」が 46.5%と最も多く、次いで「ほとんど毎日外出する」が 35.2%、「ほとんど外出しない」が 15.7%となっています。

障がい種別に見ると、精神障がいでは「ほとんど毎日外出する」、それ以外の区分では「ときどき外出する」が最も多くなっています。



問 23 その時の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時の移動手段についてみると、「自分で車を運転」が 45.4%と最も多く、次いで「家族・友人が車で送迎」が 31.6%、「徒歩」が 19.8%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「自分で車を運転」、知的障がいと難病疾患では「家族・友人が車で送迎」、精神障がいでは「徒歩」が最も多くなっています。

単位：%	自分で車を運転	家族・友人が車で送迎	自転車・バイク	バス	タクシー	車いす・電動車いす	電車	徒歩	移送サービス（福祉有償運送など）	その他	不明・無回答
全体(n=383)	45.4	31.6	17.0	15.9	8.1	3.9	4.2	19.8	3.4	1.0	5.0
身体障がい(n=255)	57.3	29.0	12.5	15.3	9.0	4.7	4.3	15.7	2.4	1.6	3.5
知的障がい(n=61)	4.9	47.5	36.1	23.0	4.9	0.0	6.6	27.9	4.9	0.0	9.8
精神障がい(n=25)	28.0	24.0	28.0	16.0	4.0	0.0	4.0	36.0	0.0	0.0	8.0
難病疾患(n=10)	20.0	30.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0

【その他回答】

(略)

問 24 あなたは移動する際に、どのようなことに不便や困難を感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

移動する際に、どのようなことに不便や困難を感じるかについてみると、「不便や困難は感じない」が 43.9%と最も多く、次いで「障がい者用の駐車場が少ない」が 15.9%、「歩道や公共施設に階段や段差が多い」が 14.6%となっています。

障がい種別にみると、難病疾患では「歩道や公共施設に階段や段差が多い」、それ以外の区分では「不便や困難は感じない」が最も多くなっています。

単位：%	不便や困難は感じない	付き添ってくれる人がいない	移動の手段が少ない	障がい者用の駐車場が少ない	歩道や公共施設に階段や段差が多い	車いすで利用できる交通機関が少ない	エレベーター、エスカレーターが設置されていない	視覚障害者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない	道路に自転車などの障害物が多い	音声案内、点字表記、手話通訳、要約筆記などのコミュニケーション支援がない	その他	不明・無回答
全体(n=383)	43.9	6.3	11.0	15.9	14.6	2.3	2.3	0.5	5.0	1.6	6.3	16.7
身体障がい(n=255)	41.6	4.3	11.4	21.2	17.3	2.4	3.1	0.4	5.5	2.4	5.9	15.7
知的障がい(n=61)	47.5	11.5	8.2	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	1.6	0.0	6.6	26.2
精神障がい(n=25)	52.0	12.0	20.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0
難病疾患(n=10)	20.0	10.0	20.0	10.0	50.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	20.0

【その他回答】

(略)

問 25 バス、タクシー、電車などの移動手段を利用して、あなたが困ったのはどんなときですか。
 (あてはまるものすべてに○)

バス、タクシー、電車などの移動手段を利用して困ったのはどんなときかについてみると、「特に困ることはない」が 31.3%と最も多く、次いで「乗り降りするとき」が 15.4%、「乗り場を探すとき」が 12.3%となっています。
 障がい種別にみると、いずれも「特に困ることはない」が最も多くなっています。

単位：%	乗り場を探すとき	乗り場で待つとき	乗り降りするとき	運賃を払うとき	示 示 乗 り 場 や 車 内 の 設 備 ・ 案 内 表	シ ョ ン 乗 務 員 の 応 対 、 コ ミ ュ ニ ケ ー	そ の 他	特 に 困 る こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=383)	12.3	10.2	15.4	8.9	5.0	6.5	8.1	31.3	30.5
身体障がい (n=255)	9.4	9.8	16.9	7.1	2.7	5.1	6.7	31.4	32.2
知的障がい (n=61)	23.0	11.5	13.1	14.8	9.8	11.5	9.8	24.6	31.1
精神障がい (n=25)	20.0	8.0	8.0	20.0	12.0	8.0	12.0	44.0	16.0
難病疾患 (n=10)	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	30.0	20.0

【その他回答】

(略)

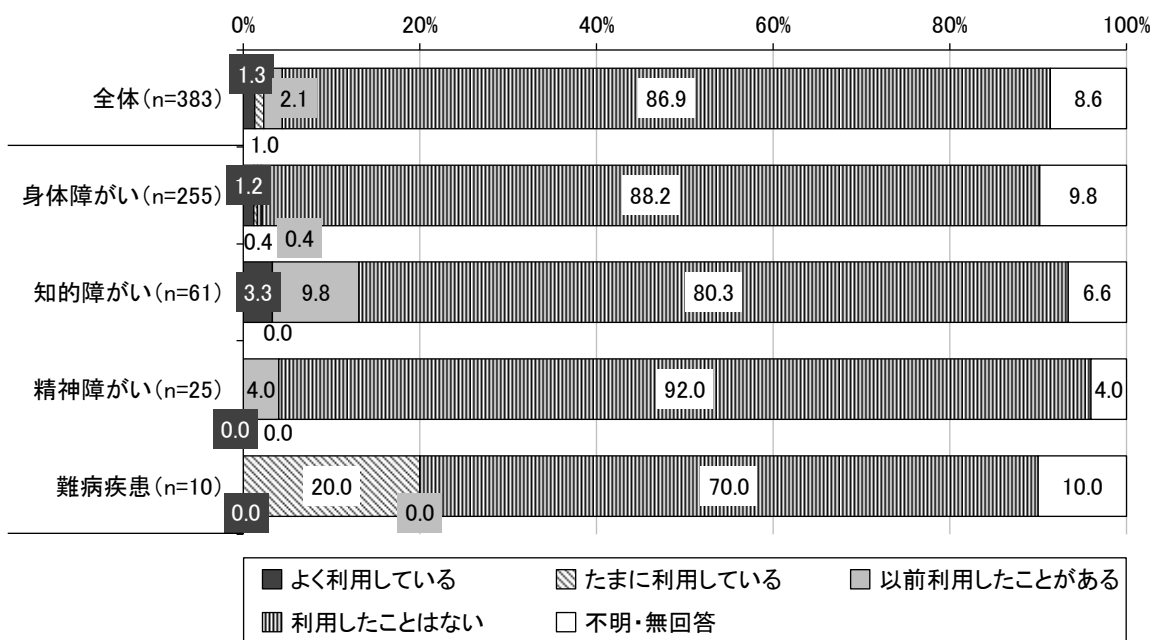
【その他回答】（続き）

（略）

問 26 あなたは「移動支援」のサービスを利用したことがありますか。（1つに○）

「移動支援」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が 86.9%と最も多く、次いで「以前利用したことがある」が 2.1%、「よく利用している」が 1.3%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も多くなっています。



(移動支援を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

問 27 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

移動支援を頻繁に利用しない理由についてみると、「なかなか予約が取れないから」が 50.0%と最も多く、次いで「利用目的が合わなかったから」が 25.0%、「他に付き添ってくれる人がいるから」が 16.7%となっています。

単位：%	他に付き添ってくれる人がいるから	利用目的が合わなかったから	なかなか予約が取れないから	その他	不明・無回答
全体 (n=12)	16.7	25.0	50.0	8.3	8.3
身体障がい (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
知的障がい (n=6)	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0
精神障がい (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
難病疾患 (n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0

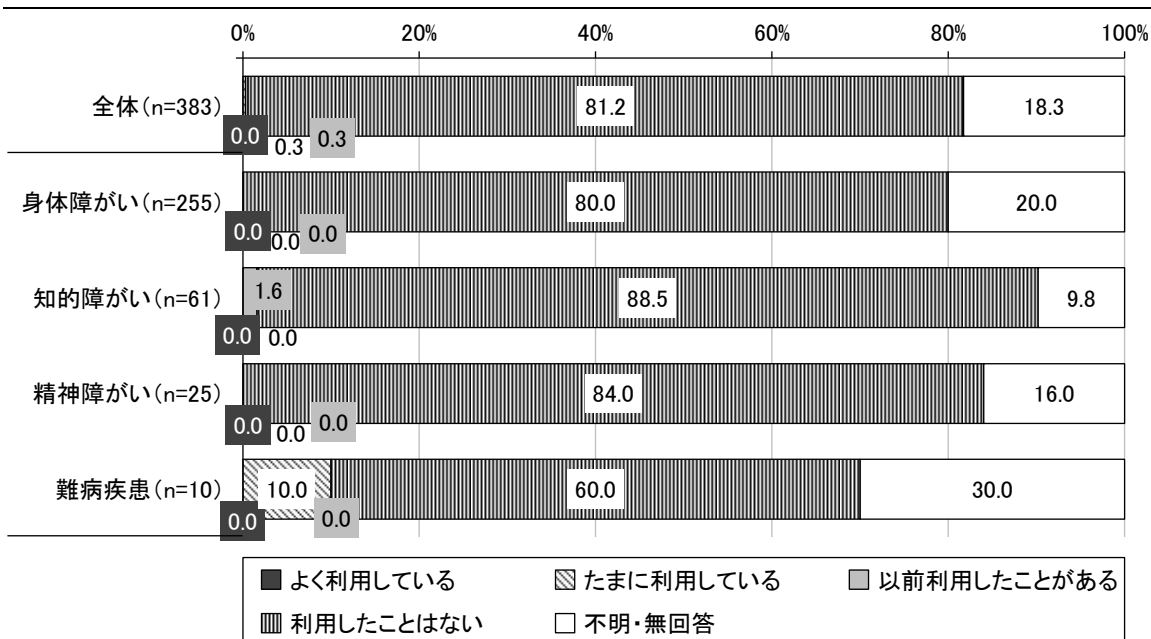
【その他回答】

- ・そんな支援があると知らなかった

問 28 あなたは「同行援護」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

「同行援護」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が 81.2%と最も多く、次いで「たまに利用している」「以前利用したことがある」が 0.3%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も多くなっています。



(同行援護を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

問 29 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

同行援護のサービスを頻繁に利用しない理由についてみると、以下の通りとなっています。

単位：%	他に から 付き 添っ てく れる 人が い	利 用 目 的 が 合 わ な か っ た か ら	な か な か 予 約 が 取 れ な い か ら	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
知的障がい (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
難病疾患 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

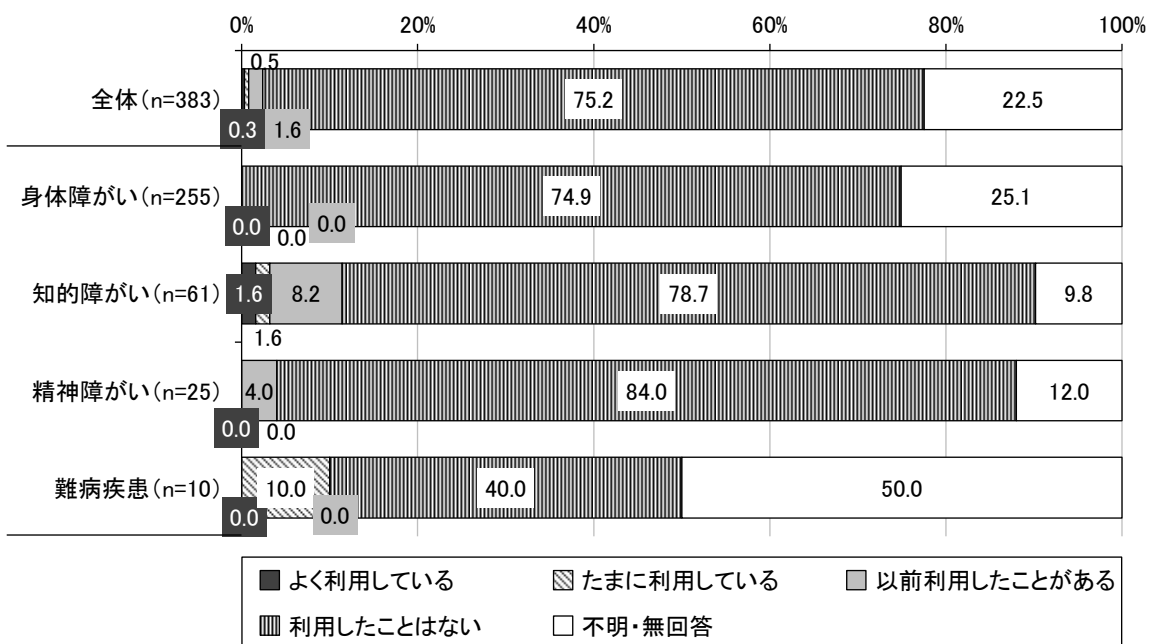
【その他回答】

(略)

問 30 あなたは「行動援護」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

「行動援護」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が 75.2%と最も多く、次いで「以前利用したことがある」が 1.6%、「たまに利用している」が 0.5%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も多くなっています。



(行動援護を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

問 31 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

行動援護のサービスを頻繁に利用しない理由についてみると、「なかなか予約が取れないから」が 37.5%と最も多く、次いで「他に付き添ってくれる人がいるから」「利用目的が合わなかったから」が 12.5%となっています。

単位：%	他に付き添ってくれる人がいるから	利用目的が合わなかったから	なかなか予約が取れないから	その他	不明・無回答
全体 (n=8)	12.5	12.5	37.5	37.5	12.5
知的障がい (n=6)	16.7	16.7	33.3	50.0	0.0
精神障がい (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
難病疾患 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【その他回答】

(略)

5 情報コミュニケーションについて

問 32 あなたは、普段どのような方法で情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

普段どのような方法で情報の取得や、他者とコミュニケーションを取っているかについてみると、「音声」が50.4%と最も多く、次いで「字幕」が9.7%、「写真・絵図・絵文字・記号」「身振り、手振り」が6.3%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「音声」が最も多くなっています。

単位：%	音声	手話	要約筆記	筆談	字幕	音訳	点字 (指点字を含む)	拡大文字	代読	代筆
全体(n=383)	50.4	1.3	1.0	3.7	9.7	0.0	0.0	1.0	0.5	1.8
身体障がい(n=255)	49.8	1.6	0.8	3.9	11.8	0.0	0.0	1.6	0.4	1.6
知的障がい(n=61)	37.7	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障がい(n=25)	72.0	0.0	4.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病疾患(n=10)	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0

単位：%	平易な表現	写真・絵図・絵文字・記号	身振り、手振り	口文字	透明文字盤	代替音声(喉頭摘出などにより使用するもの)	情報支援機器やアプリケーションの利用(音声文字に交換、音声読み上げなど)	その他	不明・無回答
全体(n=383)	2.9	6.3	6.3	0.5	0.0	0.0	2.6	5.7	34.5
身体障がい(n=255)	1.2	3.5	4.7	0.8	0.0	0.0	2.7	7.1	34.9
知的障がい(n=61)	9.8	14.8	8.2	0.0	0.0	0.0	1.6	4.9	39.3
精神障がい(n=25)	0.0	12.0	16.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	24.0
難病疾患(n=10)	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	40.0

【その他回答】

(略)

問 33 あなたは、情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取るときに、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の取得や他者とコミュニケーションを取るときに困っていることについてみると、「特に困ることはない」が43.3%と最も多く、次いで「外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある」が17.2%、「介助者がいないと判断できないことがある」が7.3%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「特に困ることはない」、知的障がいと精神障がいでは「外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある」、難病疾患では「通訳者や介助者の確保」「介助者がいないと判断できないことがある」が最も多くなっています。

単位：%	段が必要なコミュニケーション手	入ってくる情報量が少ない	重要な情報や危険に気づかない	通訳者や介助者の確保	の外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある	介助者がいないと判断できない	費用がかかる情報支援機器の購入や利用に	特に困ることはない	その他	不明・無回答
全体(n=383)	5.5	5.0	5.2	1.3	17.2	7.3	2.3	43.3	2.9	30.0
身体障がい(n=255)	3.1	4.3	3.1	0.4	12.9	2.0	3.1	52.2	2.4	30.6
知的障がい(n=61)	11.5	6.6	9.8	1.6	31.1	27.9	0.0	21.3	1.6	27.9
精神障がい(n=25)	4.0	4.0	12.0	0.0	40.0	12.0	0.0	28.0	8.0	20.0
難病疾患(n=10)	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0	20.0	40.0

【その他回答】

(略)

問 34 情報の取得や他者とのコミュニケーションを円滑に行うためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の取得や他者とのコミュニケーションを円滑に行うために必要だと思うことについてみると、「障がいの特性への理解啓発」が 28.2%と最も多く、次いで「多様なコミュニケーション手段を利用するための環境整備」が 16.4%、「支援者の育成」が 15.7%となっています。

障がい種別にみると、難病疾患では「支援者の育成」、それ以外の区分では「障がいの特性への理解啓発」が最も多くなっています。

単位：%	障がいの特性への理解啓発	さまざまな媒体での情報発信	支援者の育成	障がいの場 交流のある人 とない人との	多様なコミュニケーション 手段を利用する ための環境整備	情報支援機器や アプリの講習会 の開催	その他	不明・無回答
全体(n=383)	28.2	10.4	15.7	10.7	16.4	3.1	3.7	47.5
身体障がい(n=255)	23.9	12.2	12.9	8.2	15.7	3.5	4.3	50.6
知的障がい(n=61)	37.7	0.0	23.0	19.7	16.4	0.0	1.6	42.6
精神障がい(n=25)	60.0	8.0	20.0	16.0	24.0	4.0	4.0	32.0
難病疾患(n=10)	30.0	20.0	40.0	10.0	30.0	10.0	10.0	30.0

【その他回答】

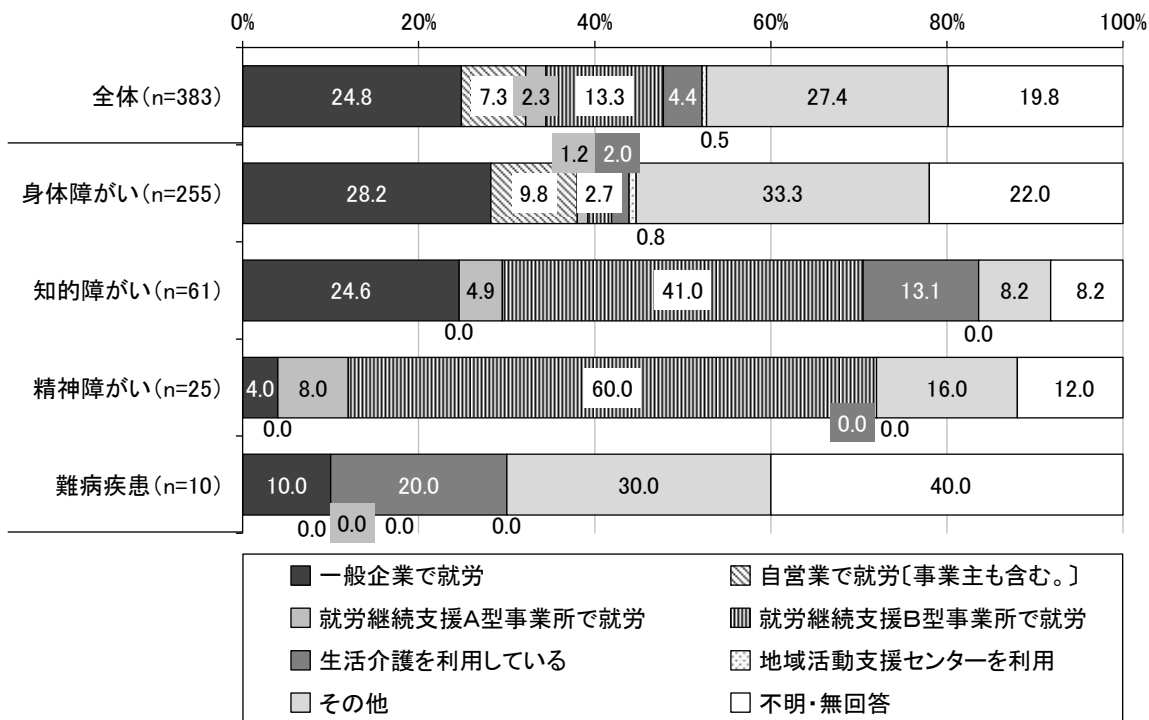
(略)

6 日中の過ごし方について

問 35 あなたは普段、日中をどう過ごしていますか。(1つに○)

普段の日中の過ごし方についてみると、「その他」を除いて「一般企業で就労」が 24.8%と最も多く、次いで「就労継続支援B型事業所で就労」が 13.3%、「自営業で就労〔事業主も含む。〕」が 7.3%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「一般企業で就労」、知的障がいと精神障がいでは「就労継続支援B型事業所で就労」、難病疾患では「生活介護を利用している」が最も多くなっています。



【その他回答】

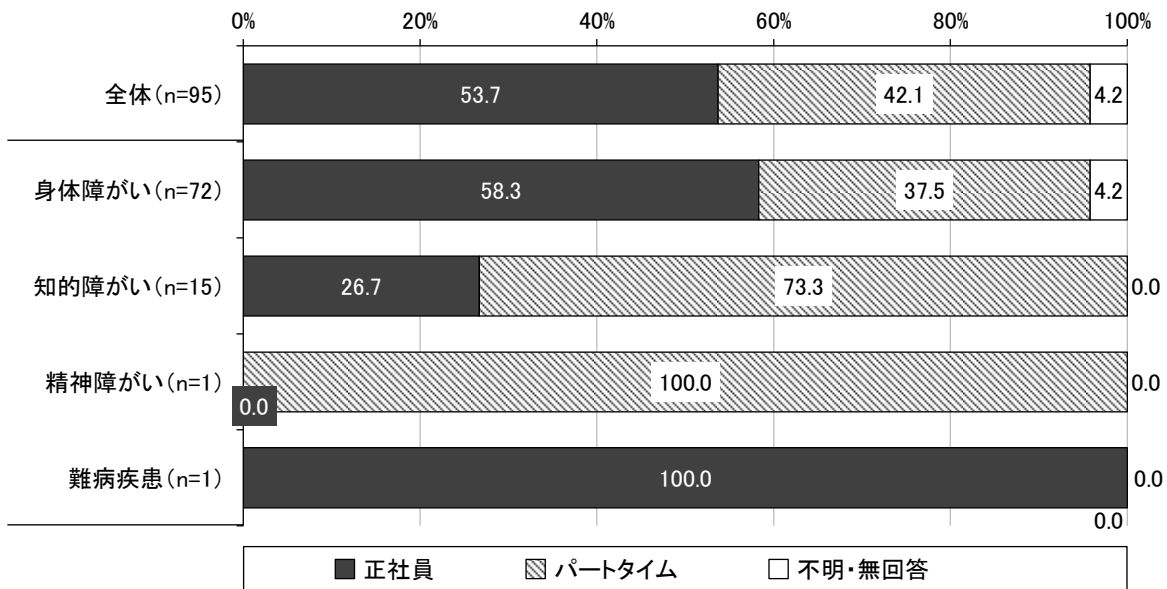
(略)

(問 35 で「一般企業で就労」を選んだ方へ)

問 35: 1 就労形態 (どちらかに○)

一般企業で就労している方の就労形態についてみると、「正社員」が 53.7%、「パートタイム」が 42.1%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「正社員」、知的障がいでは「パートタイム」が多くなっています。



(問 35 で「その他」を選んだ方へ)

問 36 普段の日中の過ごし方 (あてはまるものすべてに○)

「その他」を選んだ方の日中の過ごし方についてみると、「自宅にすることが多い」が 66.7%と最も多く、次いで「リハビリに行っている」が 15.2%、「介護保険のサービスを利用している」が 11.4%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「自宅にすることが多い」が最も多くなっています。

単位: %	学校に行っている	求職活動中	リハビリに行っている	職業訓練を受けている	介護保険のサービスを利用している	家族の介護、家事、子育て	自宅にすることが多い	その他	不明・無回答
全体 (n=105)	4.8	4.8	15.2	1.0	11.4	7.6	66.7	11.4	1.0
身体障がい (n=85)	4.7	3.5	16.5	0.0	9.4	8.2	67.1	11.8	1.2
知的障がい (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
精神障がい (n=4)	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
難病疾患 (n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0

【その他回答】

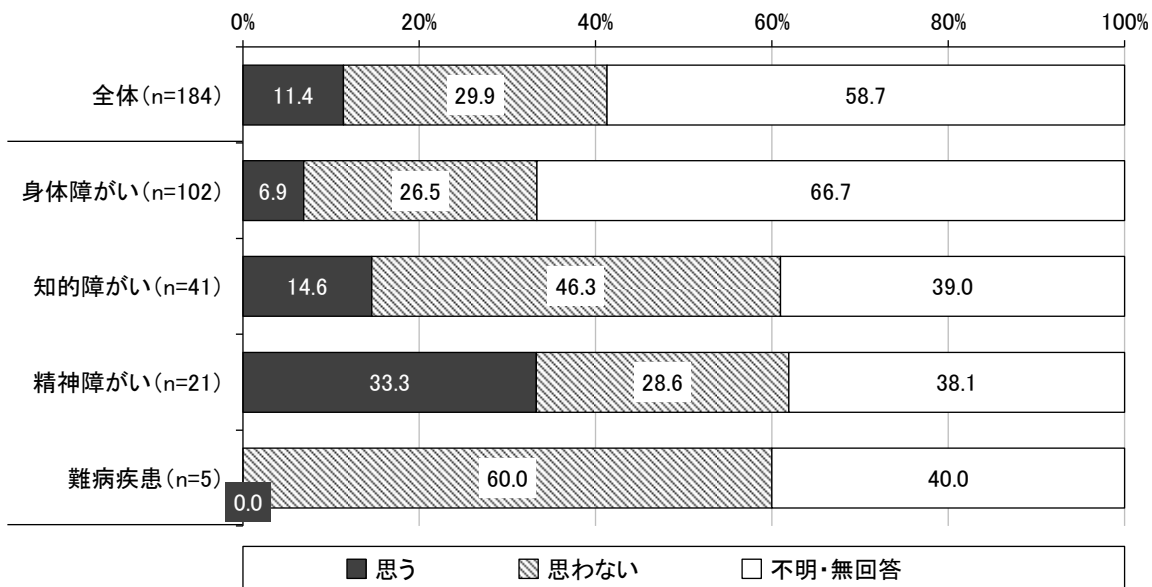
(略)

(問 35 で「一般企業で就労」「自営業で就労」以外を選んだ方へ)

問 37 将来、一般企業で働きたいと思いますか。(1つに○)

一般企業や自営業で就労していない方が将来、一般企業で働きたいと思うかについてみると、「思う」が11.4%、「思わない」が29.9%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「思う」、それ以外の区分では「思わない」が多くなっています。



問 38 あなたは障がい者が働くうえで、どのような条件が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がい者が働くうえでの必要な条件についてみると、「周囲の理解がある」が 53.8%と最も多く、次いで「自分の障がいに合った仕事である」が 45.2%、「障がいに配慮された環境整備である」が 33.4%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「周囲の理解がある」「自分の障がいに合った仕事である」、それ以外の区分では「周囲の理解がある」が最も多くなっています。

単位：%	周囲の理解がある	自分の障がいに合った仕事である	通勤手段がある	障がいに配慮した勤務時間や日数である	自宅で仕事ができる	障がいに配慮された環境整備である	通院などの保障がある	適正な給与・賃金である	就労についての相談相手がいる	その他	不明・無回答
全体 (n=383)	53.8	45.2	22.7	30.3	13.6	33.4	16.7	26.9	18.3	2.1	28.5
身体障がい (n=255)	49.4	41.2	18.0	25.9	14.1	31.4	16.5	20.4	14.9	2.7	31.8
知的障がい (n=61)	65.6	60.7	37.7	34.4	8.2	41.0	9.8	41.0	26.2	1.6	18.0
精神障がい (n=25)	64.0	64.0	40.0	48.0	20.0	48.0	36.0	56.0	40.0	0.0	20.0
難病疾患 (n=10)	70.0	60.0	40.0	50.0	30.0	50.0	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0

【その他回答】

(略)

問 39 あなたはお休みのときなど、どのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

休日などの過ごし方についてみると、「テレビ、パソコン、ゲーム」が 59.8%と最も多く、次いで「買い物」が 45.4%、「旅行・観光・ドライブ」が 18.5%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「テレビ、パソコン、ゲーム」が最も多くなっています。

単位：%	買 い 物	ス ポ ー ツ (散 歩 ・ ジ ョ ギ ン グ 含 む)	テ レ ビ 、 パ ソ コ ン 、 ゲ ー ム	旅 行 ・ 観 光 ・ ド ラ イ ブ	文 化 活 動 (映 画 、 音 楽 、 読 書 な ど)	内 職 ・ 自 営 業 の 手 伝 い	地 域 の イ ベ ン ト に 参 加	趣 味 の 集 ま り に 参 加	当 事 者 活 動 に 参 加	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	特 に 何 も し て い な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=383)	45.4	18.0	59.8	18.5	17.8	1.8	7.0	8.9	0.8	2.3	16.2	6.0	10.7
身体障がい(n=255)	44.7	17.6	54.9	18.8	15.7	2.4	7.1	10.6	0.8	2.0	16.9	6.3	12.5
知的障がい(n=61)	52.5	18.0	85.2	27.9	23.0	0.0	4.9	4.9	1.6	1.6	13.1	4.9	3.3
精神障がい(n=25)	56.0	32.0	60.0	16.0	24.0	0.0	4.0	4.0	0.0	4.0	16.0	16.0	12.0
難病疾患(n=10)	10.0	0.0	70.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0

【その他回答】

(略)

7 相談支援について

問 40 あなたは今の生活の中で、困っていることや将来に対する不安、悩みなどがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

今の生活の中で困っていることや将来に対する不安、悩みなどがあるかについてみると、「身体の病気の心配、悩み」が 41.8%と最も多く、次いで「経済的な不安」が 36.8%、「将来介護してくれる人がいなくなる不安」が 17.0%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいと難病疾患では「身体の病気の心配、悩み」、知的障がいでは「経済的な不安」「将来介護してくれる人がいなくなる不安」、精神障がいでは「経済的な不安」が最も多くなっています。

単位：%	経済的な不安	身体の病気の心配、悩み	住まいの不満、悩み	仕事に関する不安、悩み	結婚問題の不安、悩み	友達との関係	家庭関係	社会の理解がない	身辺の介護の不安	財産の管理が心配	将来介護してくれる人がいなくなる不安	不安や悩みはない	その他	不明・無回答
全体(n=383)	36.8	41.8	15.1	15.1	4.2	2.9	7.3	3.7	10.7	7.6	17.0	14.4	2.9	17.5
身体障がい(n=255)	33.7	46.3	12.9	12.5	3.9	1.6	7.1	2.4	9.0	5.5	12.5	16.1	2.7	18.4
知的障がい(n=61)	29.5	27.9	21.3	16.4	4.9	6.6	4.9	9.8	16.4	18.0	29.5	13.1	1.6	23.0
精神障がい(n=25)	76.0	12.0	16.0	44.0	12.0	12.0	20.0	8.0	0.0	8.0	12.0	8.0	12.0	8.0
難病疾患(n=10)	40.0	70.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【その他回答】

(略)

問 41 あなたは心配ごとや不安、悩みなど困ったときに気軽に相談できる人がいますか。

(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや不安、悩みなど困ったときに気軽に相談できる人についてみると、「家族、親せき」が 67.6%と最も多く、次いで「友人、知人」が 26.6%、「医療関係者」が 12.8%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「医療関係者」、それ以外の区分では「家族、親せき」が最も多くなっています。

単位：%	障がい者総合相談窓口の相談員	家族、親せき	友人、知人	計画相談専門員の担当の相談支援	医療関係者	福祉施設の職員	市役所の職員	ホームヘルパー	民生委員、自治会長	成年後見人、保佐人、補佐人	身体障害者相談員
全体(n=383)	4.4	67.6	26.6	7.0	12.8	9.4	1.8	2.9	1.8	1.0	0.5
身体障がい(n=255)	2.7	69.8	31.4	3.1	11.8	2.7	1.6	4.3	1.6	0.0	0.8
知的障がい(n=61)	4.9	72.1	13.1	19.7	8.2	24.6	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0
精神障がい(n=25)	20.0	40.0	24.0	20.0	48.0	40.0	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0
難病疾患(n=10)	0.0	70.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

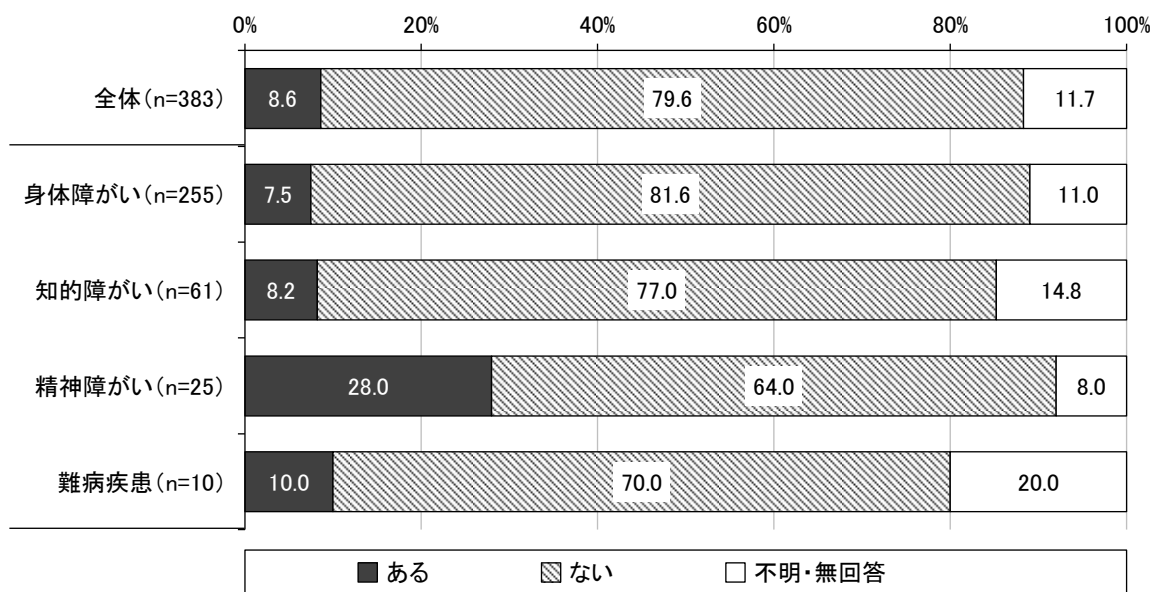
単位：%	知的障害者相談員	障害者団体の役員・会員	佐賀県難病相談支援センターの相談員	家族会	佐賀県保健福祉事務所の職員	佐賀県総合福祉センターの職員	障害者110番	その他	だれもない	不明・無回答
全体(n=383)	0.5	0.8	0.5	1.6	0.0	0.0	0.3	3.4	5.7	10.4
身体障がい(n=255)	0.0	0.4	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	3.5	6.7	10.2
知的障がい(n=61)	3.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	1.6	11.5
精神障がい(n=25)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0	8.0
難病疾患(n=10)	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0

【その他回答】

(略)

問 42 あなたは障がい者総合相談窓口に相談したことがありますか。(1つに○)

障がい者総合相談窓口への相談経験についてみると、「ある」が8.6%、「ない」が79.6%となっています。障がい種別にみると、いずれも「ない」が多くなっています。

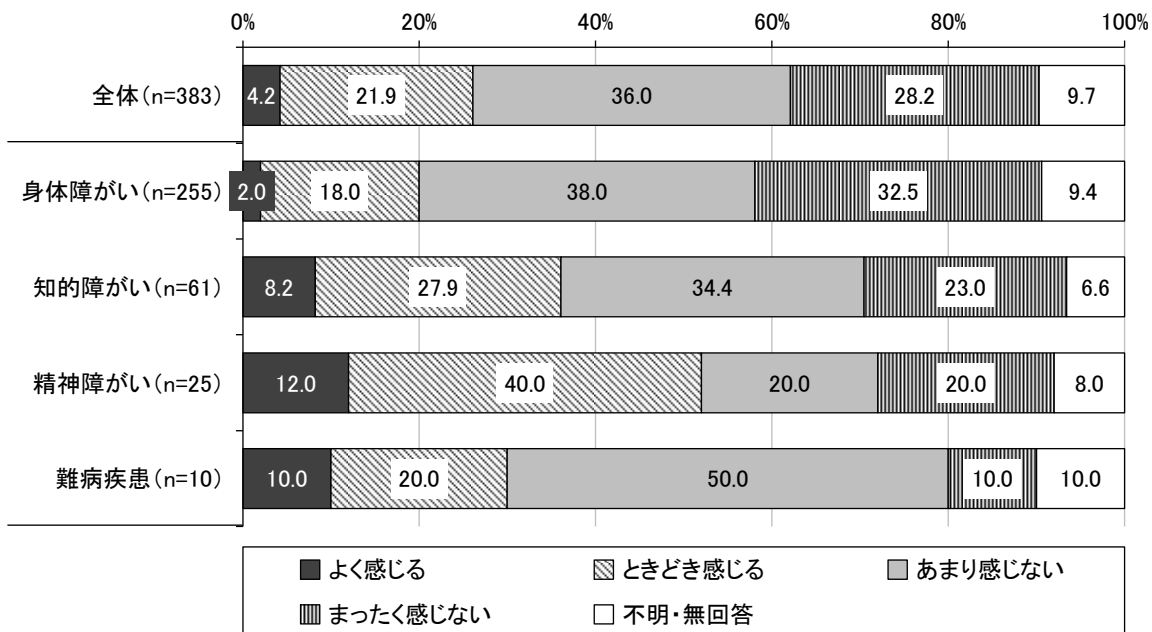


8 障がい者への差別や偏見について

問 43 あなたは普段の生活の中で、差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。(1つに○)

普段の生活の中で、差別や偏見、疎外感を感じることがあるかについてみると、「あまり感じない」が 36.0% と最も多く、次いで「まったく感じない」が 28.2%、「ときどき感じる」が 21.9%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「ときどき感じる」、それ以外の区分では「あまり感じない」が最も多くなっています。



(問 43 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 44 その時、どのような場所で、差別や偏見、疎外感を感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

差別や偏見、疎外感を感じた場所についてみると、「商業施設」が 24.0%と最も多く、次いで「職場」が 23.0%、「公共施設」が 21.0%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「商業施設」、精神障がいでは「家族・親せきの集まり」が最も多くなっています。知的障がいでは「職場」「公共交通機関」「公共施設」「商業施設」が多くなっています。

単位：%	職場	学校	公共交通機関	公共施設	商業施設	医療機関	インターネット	家族・親せきの集まり	その他	不明・無回答
全体 (n=100)	23.0	9.0	16.0	21.0	24.0	13.0	6.0	16.0	15.0	10.0
身体障がい (n=51)	27.5	7.8	19.6	27.5	29.4	7.8	2.0	9.8	15.7	11.8
知的障がい (n=22)	18.2	4.5	18.2	18.2	18.2	13.6	4.5	9.1	22.7	4.5
精神障がい (n=13)	23.1	15.4	0.0	0.0	23.1	15.4	23.1	61.5	15.4	7.7
難病疾患 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

【その他回答】

(略)

(問 43 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 45 その時、だれに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

疎外感等を感じた時の相談先についてみると、「だれにも相談していない」が 41.0%と最も多く、次いで「家族、親せき」が 36.0%、「友人、知人」が 12.0%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「だれにも相談していない」、知的障がいでは「家族、親せき」「だれにも相談していない」が最も多くなっています。

単位：%	市役所の職員	福祉施設の職員	家族、親せき	友人、知人	学校の先生	職場の上司、同僚	障がい者総合相談窓口	インターネット	その他	だれにも相談していない	不明・無回答
全体(n=100)	3.0	8.0	36.0	12.0	0.0	4.0	3.0	3.0	3.0	41.0	7.0
身体障がい(n=51)	3.9	0.0	41.2	15.7	0.0	5.9	0.0	2.0	3.9	45.1	5.9
知的障がい(n=22)	0.0	13.6	36.4	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	36.4	9.1
精神障がい(n=13)	0.0	23.1	30.8	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	38.5	0.0
難病疾患(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

【その他回答】

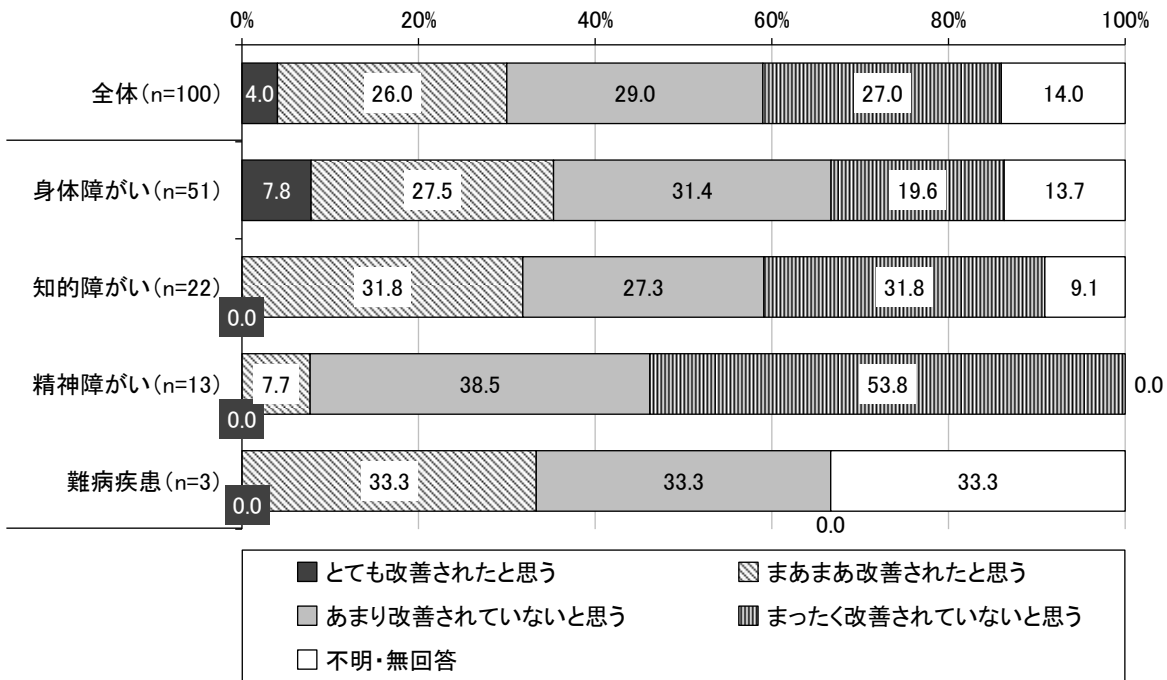
(略)

(問 43 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 46 あなたに対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。(1つに○)

自身への差別や偏見は改善されてきたと思うかについてみると、「あまり改善されていないと思う」が 29.0%と最も多く、次いで「まったく改善されていないと思う」が 27.0%、「まあまあ改善されたと思う」が 26.0%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「あまり改善されていないと思う」、知的障がいでは「まあまあ改善されたと思う」「まったく改善されていないと思う」、精神障がいでは「まったく改善されていないと思う」が最も多くなっています。

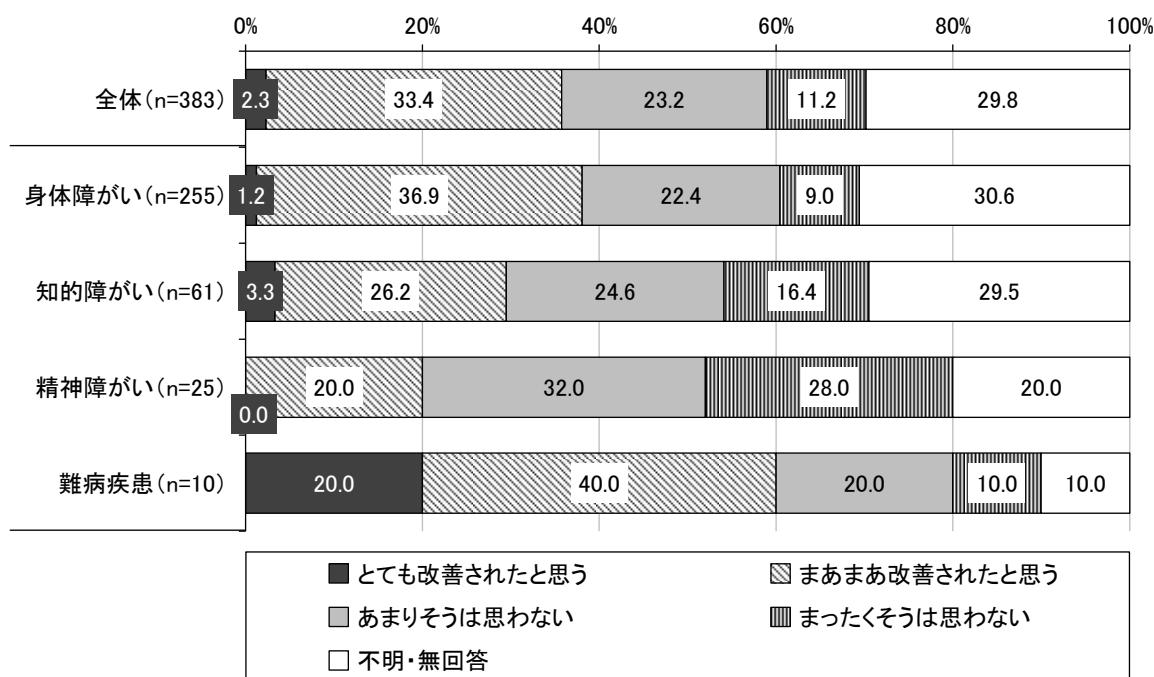


問 47 あなたは普段の生活の中で、これまで困っていたことが改善されてきたと思いますか。

(1つに○)

普段の生活の中で、これまで困っていたことが改善されてきたと思うかについてみると、「まあまあ改善されたと思う」が33.4%と最も多く、次いで「あまりそうは思わない」が23.2%、「まったくそうは思わない」が11.2%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「あまりそうは思わない」、それ以外の区分では「まあまあ改善されたと思う」が最も多くなっています。



問 48 お互いを理解して助け合える社会、困りごとが少なくなる社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

お互いを理解して助け合える社会、困りごとが少なくなる社会にするために、必要だと思うことについてみると、「理解啓発の促進」が 32.4%と最も多く、次いで「こどもの頃からの教育」「障がい者の雇用の場の拡大」が 30.8%、「障がいの理解を深めるための交流の場」が 21.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと難病疾患では「理解啓発の促進」、知的障がいでは「障がいの理解を深めるための交流の場」、精神障がいでは「障がい者の雇用の場の拡大」が最も多くなっています。

単位：%	理解啓発の促進	障がいの理解を深めるための交流の場	こどもの頃からの教育	心のバリアフリーを推進する	障がい者の雇用の場の拡大	その他	不明・無回答
全体 (n=383)	32.4	21.7	30.8	19.3	30.8	3.7	28.7
身体障がい (n=255)	35.3	18.0	32.5	20.4	31.0	3.5	29.8
知的障がい (n=61)	21.3	42.6	32.8	21.3	29.5	4.9	26.2
精神障がい (n=25)	20.0	16.0	20.0	20.0	44.0	4.0	16.0
難病疾患 (n=10)	50.0	20.0	10.0	20.0	30.0	10.0	20.0

【その他回答】

(略)

9 非常災害時の対応について

問 49 あなたは地震などの災害が起きた時に、どのようにして情報を取得しますか。

(あてはまるものすべてに○)

災害発生時の情報の取得方法についてみると、「テレビ」が 79.1%と最も多く、次いで「携帯メール」が 52.2%、「家族からの連絡」が 31.9%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「テレビ」が最も多くなっています。

単位：%	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	家族からの連絡	近所の人からの連絡	民生委員や自治会長からの連絡	佐賀市緊急防災情報さがんメール	防災無線（屋外放送）	その他	何もない	不明・無回答
全体(n=383)	79.1	21.9	23.0	52.2	31.9	5.7	6.8	9.9	4.7	1.8	1.0	4.4
身体障がい(n=255)	81.2	26.3	25.9	58.4	29.8	5.9	7.5	12.9	5.9	1.2	0.8	4.3
知的障がい(n=61)	72.1	9.8	13.1	41.0	45.9	4.9	1.6	4.9	1.6	1.6	3.3	3.3
精神障がい(n=25)	72.0	16.0	40.0	40.0	20.0	4.0	0.0	4.0	4.0	8.0	0.0	8.0
難病疾患(n=10)	90.0	0.0	10.0	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

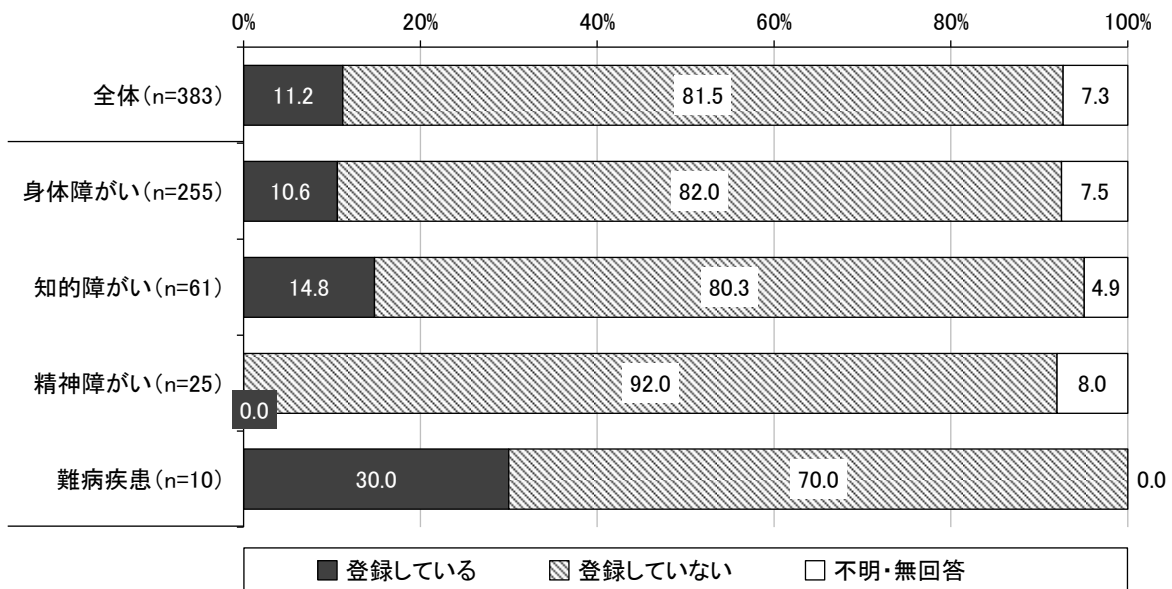
【その他回答】

(略)

問 50 あなたは「避難行動要支援者名簿」の登録をしていますか。(1つに○)

避難行動要支援者名簿の登録状況についてみると、「登録している」が 11.2%、「登録していない」が 81.5%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「登録していない」が多くなっています。

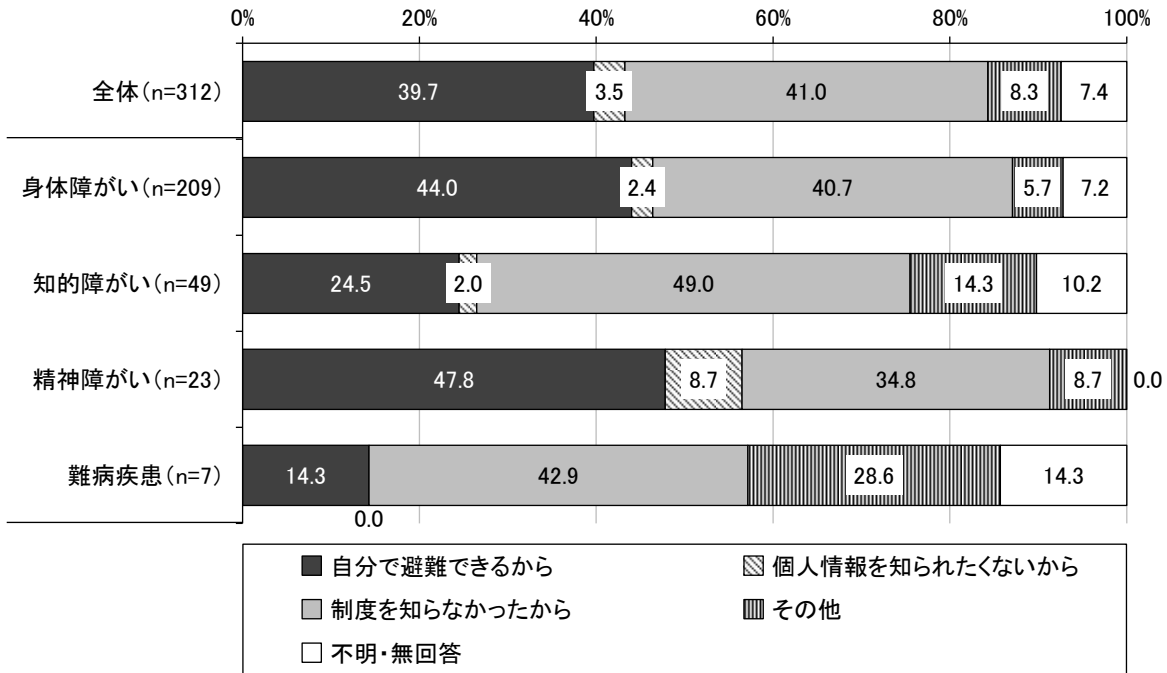


(問 50 で「登録していない」と答えた方へ)

問 51 理由を教えてください。(1つに〇)

避難行動要支援者名簿に登録していない理由についてみると、「制度を知らなかったから」が 41.0%と最も多く、次いで「自分で避難できるから」が 39.7%、「個人情報を知られたくないから」が 3.5%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「自分で避難できるから」、知的障がいでは「制度を知らなかったから」が最も多くなっています。



【その他回答】

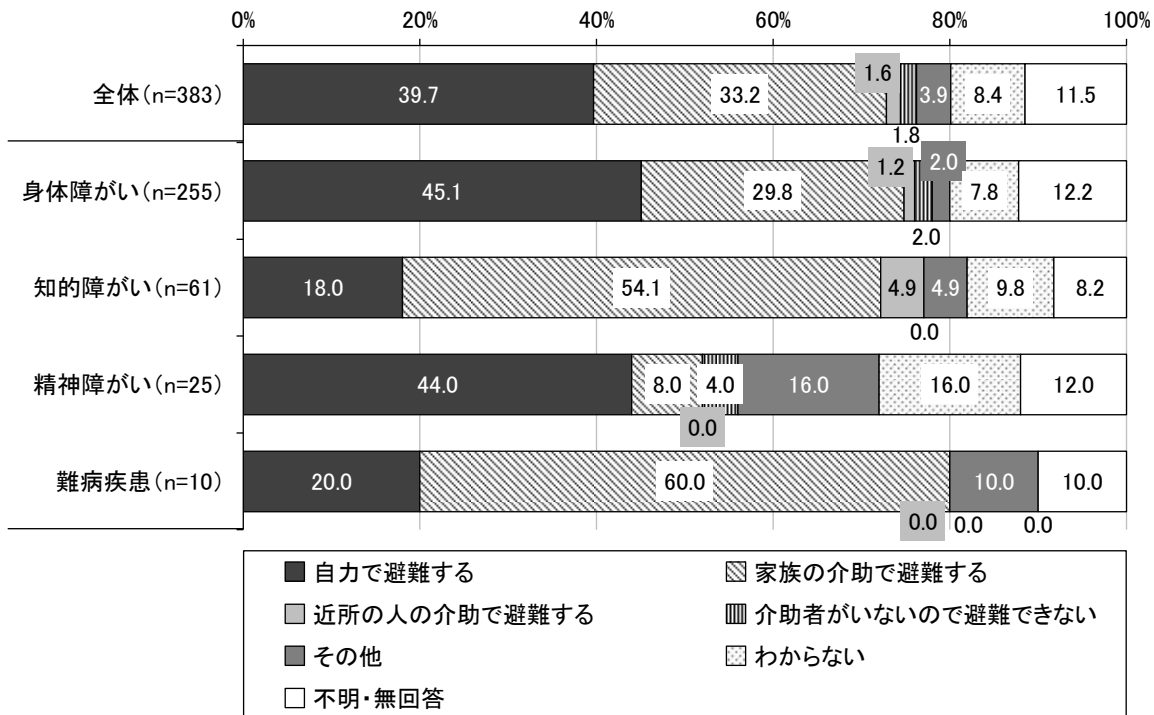
(略)

問 52 もし大規模な災害が起きたとして、あなたはどのようにして避難所へ行きますか。

(1つに○)

大規模な災害発生時に避難所へ行く方法についてみると、「自力で避難する」が 39.7%と最も多く、次いで「家族の介助で避難する」が 33.2%、「わからない」が 8.4%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと精神障がいでは「自力で避難する」、知的障がいと難病疾患では「家族の介助で避難する」が最も多くなっています。



【その他回答】

(略)

問 53 あなたに関して、避難先で特に必要な配慮などがあれば教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

避難先で特に必要な自身への配慮についてみると、「食料・飲料水の配給」が 38.1%と最も多く、次いで「仕切り、個室」が 36.3%、「障がいに配慮したトイレ」が 33.2%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「食料・飲料水の配給」、精神障がいでは「仕切り、個室」、難病疾患では「障がいに配慮したトイレ」「仕切り、個室」が最も多くなっています。

単位：%	情報収集	移動などの介助	障がいに配慮したトイレ	声かけ	仕切り、個室	食料・飲料水の配給	意思疎通支援（手話、要約筆記、筆談など）	人工呼吸器などの電源確保	機材など	その他必要な配慮、設備、資	不明・無回答
全体 (n=383)	31.6	20.1	33.2	25.6	36.3	38.1	5.2	3.1	6.8	18.3	
身体障がい (n=255)	31.8	21.2	36.1	19.6	35.3	36.9	5.5	3.9	8.2	17.3	
知的障がい (n=61)	27.9	21.3	21.3	47.5	36.1	49.2	3.3	0.0	0.0	16.4	
精神障がい (n=25)	40.0	4.0	24.0	36.0	48.0	44.0	0.0	4.0	8.0	24.0	
難病疾患 (n=10)	40.0	50.0	60.0	40.0	60.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0	

【その他回答】

(略)

問 54 災害が起きた時に、不安なことをご記入ください。(自由記述)

(略)

(略)

(略)

(略)

10 福祉サービスについて

問 55 あなたが現在、利用されているサービスを下の表から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

現在、利用している福祉サービスについてみると、「何も利用していない」が 42.8%と最も多く、次いで「就労継続支援(B型)」が 13.6%、「その他のサービス(介護保険のサービスを含む)」が 7.8%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「何も利用していない」、知的障がいと精神障がいでは「就労継続支援(B型)」、難病疾患では「短期入所」が最も多くなっています。

単位:%	生活介護	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	移動支援	同行支援	行動支援	地域活動支援センター	日中一時支援	短期入所	その他のサービス (介護保険を含む)	何も利用していない	不明・無回答
全体(n=383)	6.5	3.7	0.8	2.9	13.6	1.6	0.0	1.0	1.3	1.0	3.4	7.8	42.8	23.8
身体障がい(n=255)	3.9	2.4	0.8	0.8	3.1	0.8	0.0	0.4	0.0	0.4	2.0	9.4	54.5	26.3
知的障がい(n=61)	13.1	4.9	0.0	8.2	42.6	3.3	0.0	3.3	1.6	3.3	6.6	1.6	16.4	14.8
精神障がい(n=25)	8.0	8.0	0.0	12.0	52.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	4.0	4.0	4.0	12.0
難病疾患(n=10)	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0

【その他のサービス】

(略)

【利用していない理由】

(略)

【利用していない理由】（続き）

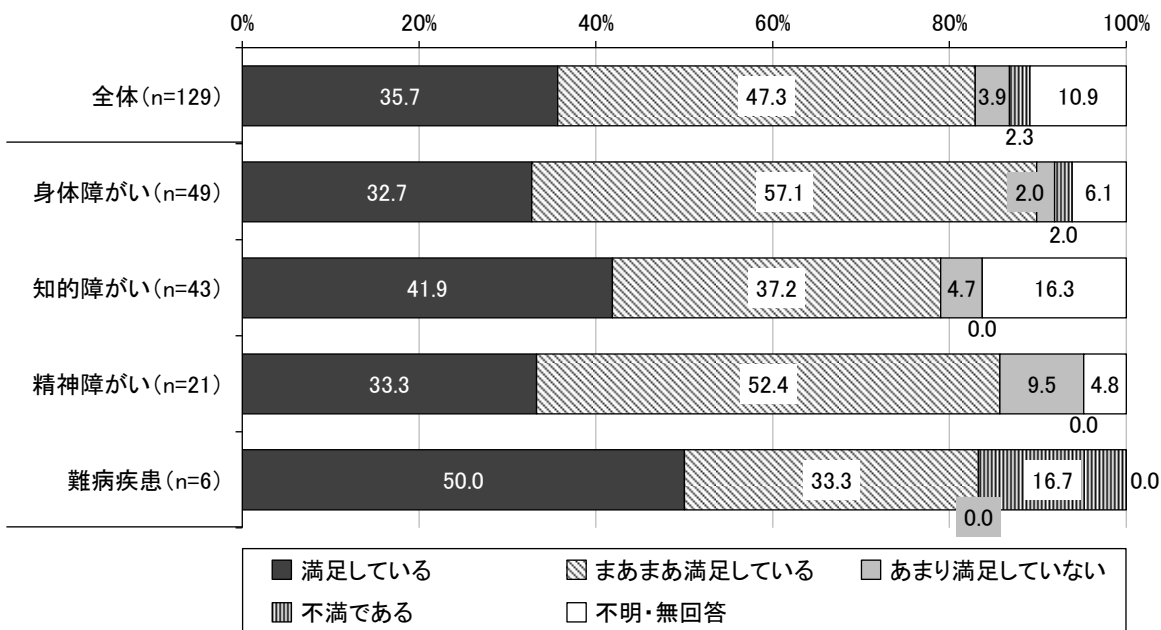
（略）

（福祉サービスを利用している方へ）

問 56 あなたは現在利用している福祉サービスに満足していますか。（1つに○）

利用している福祉サービスの満足度についてみると、「まあまあ満足している」が 47.3%と最も多く、次いで「満足している」が 35.7%、「あまり満足していない」が 3.9%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと精神障がいでは「まあまあ満足している」、知的障がいでは「満足している」が最も多くなっています。



（問 56 で「あまり満足していない」「不満である」と答えた方へ）

問 57 その理由を教えてください。（自由記述）

（略）

問 58 あなたが今後、利用したいと思うサービスを下の表から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

今後、利用したいと思うサービスについてみると、「短期入所」が 10.4%と最も多く、次いで「療養介護」が 7.8%、「移動支援」が 7.0%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「療養介護」、知的障がいでは「共同生活援助(グループホーム)」、難病疾患では「短期入所」が最も多く、精神障がいでは「就労移行支援」「就労継続支援(A型)」「就労継続支援(B型)」「地域活動支援センター」が多くなっています。

単位：%	施設入所支援	療養介護	共同生活援助(グループホーム)	生活介護	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援
全体(n=383)	6.5	7.8	5.2	4.7	5.2	3.1	3.1	4.2	2.9
身体障がい(n=255)	5.5	8.2	1.2	4.7	5.5	2.4	1.2	1.6	2.4
知的障がい(n=61)	9.8	6.6	26.2	4.9	6.6	4.9	8.2	13.1	4.9
精神障がい(n=25)	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	8.0	8.0	8.0	4.0
難病疾患(n=10)	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

単位：%	移動支援	同行援護	行動援護	地域活動支援センター	日中一時支援	短期入所	その他のサービスを含む(介護保険)	不明・無回答
全体(n=383)	7.0	0.8	1.3	3.7	2.3	10.4	5.7	61.4
身体障がい(n=255)	6.3	0.8	0.4	3.5	1.6	7.8	7.1	65.9
知的障がい(n=61)	6.6	0.0	6.6	4.9	1.6	16.4	3.3	44.3
精神障がい(n=25)	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0	0.0	0.0	60.0
難病疾患(n=10)	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	40.0	10.0	40.0

【その他回答】

(略)

11 今後の市の施策について

問 59 あなたが暮らしやすくなるために、もっと充実してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

自身が暮らしやすくなるために、もっと充実してほしいことについてみると、「入院・通院にかかる医療費の助成」が 33.4%と最も多く、次いで「年金や手当など扶助制度」が 31.3%、「障がい者のための相談窓口」が 21.7%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいと難病疾患では「入院・通院にかかる医療費の助成」、知的障がいでは「障がい者が気軽に立ち寄って交流できる場所」、精神障がいでは「年金や手当など扶助制度」が最も多くなっています。

単位：%	障がい者のための相談窓口	地域との交流の場	障がい者が気軽に立ち寄って交流できる場所	障がい者や家族が悩みを語り合ったり、病気や障がいを学ぶ機会を学べる場	障がい者の社会参加	スポーツ・文化活動を通じた障がい者の社会参加	行政からの福祉サービスや制度に関する情報提供	字幕、点字、音声案内、電光掲示板などの情報保障	意思疎通支援、要約筆記などの手話通訳	災害時の障がい者の援護対策	移動支援、同行支援、行動支援などの外出支援	ホームヘルパーの派遣やショートステイ（短期入所）などの生活支援	公営住宅への障がい者の優先入居などの住宅施策
全体(n=383)	21.7	5.5	14.9	12.8	7.8	19.1	3.9	3.7	18.0	9.1	9.9	6.5	
身体障がい(n=255)	20.0	4.3	11.8	10.6	7.1	20.8	4.7	4.7	16.9	8.2	9.8	7.1	
知的障がい(n=61)	24.6	13.1	31.1	23.0	14.8	16.4	1.6	0.0	19.7	16.4	14.8	8.2	
精神障がい(n=25)	20.0	4.0	12.0	12.0	12.0	12.0	0.0	0.0	8.0	4.0	4.0	8.0	
難病疾患(n=10)	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0	40.0	0.0	10.0	40.0	10.0	10.0	0.0	

単位：%	グループホームなどの住宅施策	重度障がい、児童（療育的ケア）の在宅支援	一般就労の場の確保	職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援	就労継続支援B型事業所など福祉的就労の場	年金や手当など扶助制度	入院・通院にかかる医療費の助成	ボランティアの育成と活動の支援	その他	特に必要ない	不明・無回答
全体(n=383)	6.3	4.4	14.1	8.1	5.0	31.3	33.4	4.4	2.9	7.6	25.1
身体障がい(n=255)	2.0	3.9	11.8	5.5	2.0	30.2	34.5	2.7	3.1	8.6	25.9
知的障がい(n=61)	24.6	1.6	14.8	18.0	14.8	27.9	26.2	8.2	1.6	3.3	27.9
精神障がい(n=25)	4.0	0.0	44.0	20.0	8.0	48.0	40.0	12.0	4.0	0.0	16.0
難病疾患(n=10)	10.0	40.0	10.0	10.0	10.0	40.0	60.0	10.0	0.0	0.0	20.0

【その他回答】

(略)

必要な福祉サービスなど、障がい者福祉についてご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答

(略)

(略)

(略)

(略)

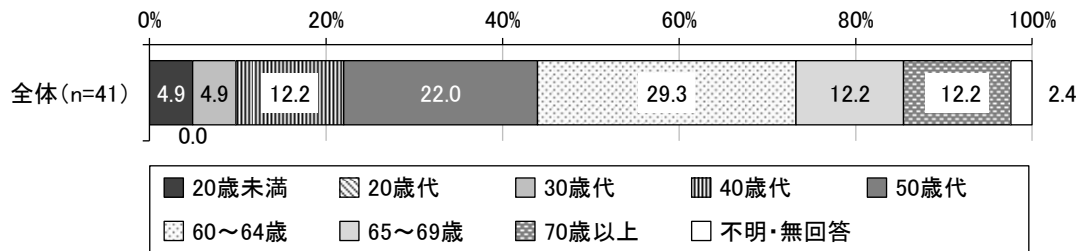
(略)

Ⅱ 難病患者

Ⅰ あなたのことについて

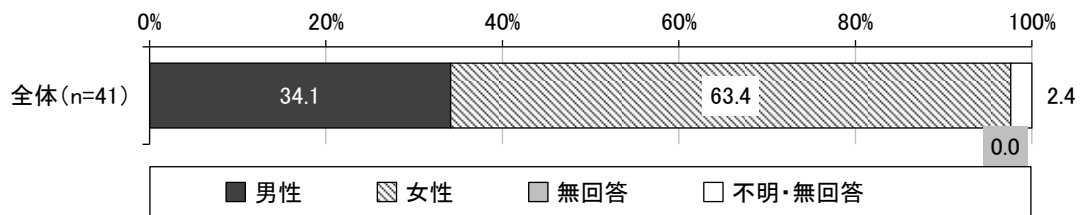
問1 あなたの年齢は。(1つに○)

回答者の年齢についてみると、「60～64歳」が29.3%と最も多く、次いで「50歳代」が22.0%、「40歳代」「65～69歳」「70歳以上」が12.2%となっています。



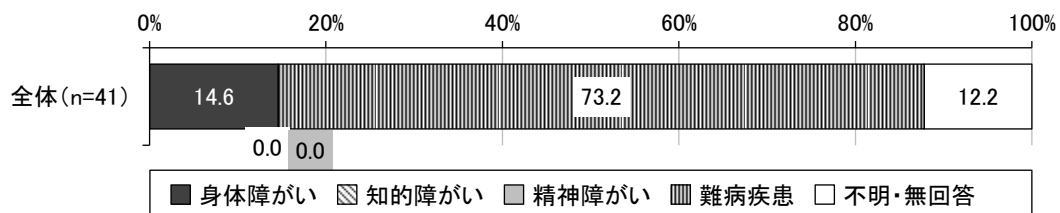
問2 あなたの性別は。(1つに○)

回答者の性別についてみると、「女性」が63.4%と最も多く、次いで「男性」が34.1%となっています。



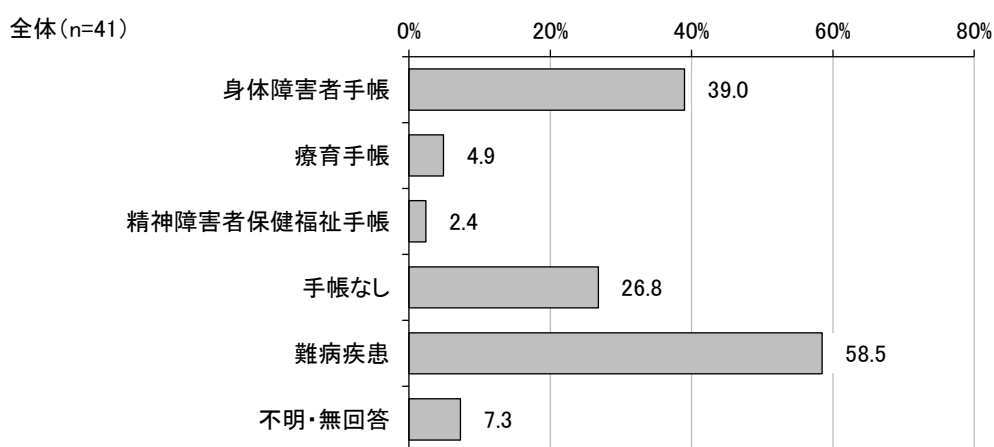
問3 あなたの主な障がいは何ですか。(1つに○)

回答者の主な障がいについてみると、「難病疾患」が73.2%と最も多く、次いで「身体障がい」が14.6%となっています。



問4 あなたは障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

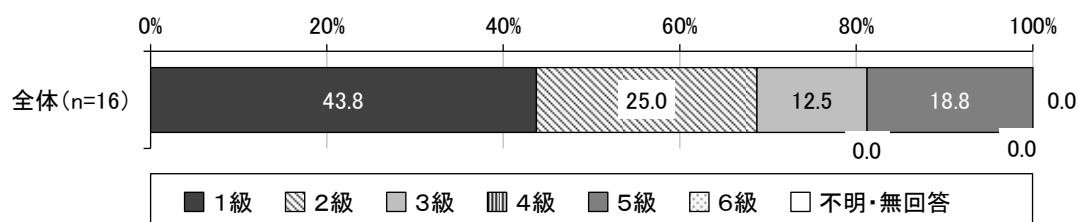
回答者の障害者手帳の所持状況についてみると、「難病疾患」が58.5%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が39.0%、「手帳なし」が26.8%となっています。



(問4で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問4：1-1 身体障害者手帳所持者の等級

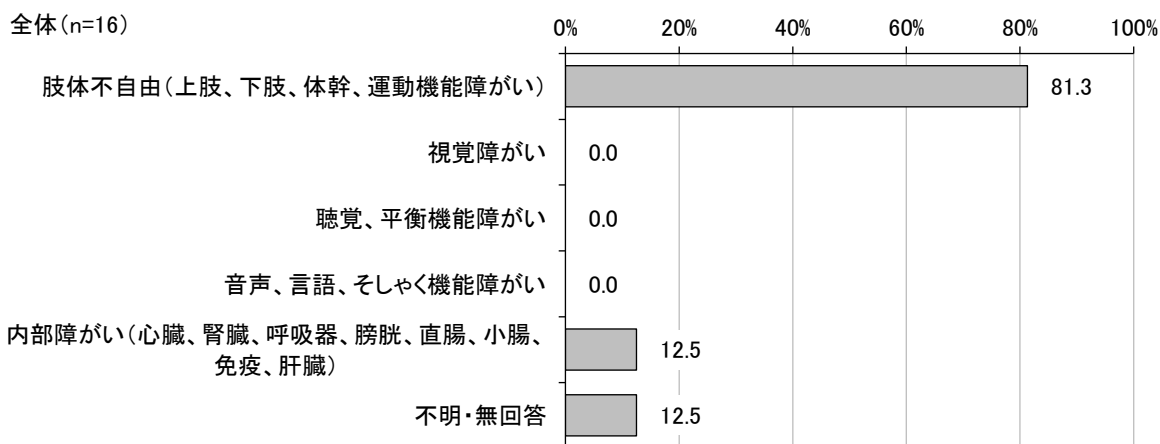
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が43.8%と最も多く、次いで「2級」が25.0%、「5級」が18.8%となっています。



(問4で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問4：1-2 身体障害者手帳所持者の障がい種別

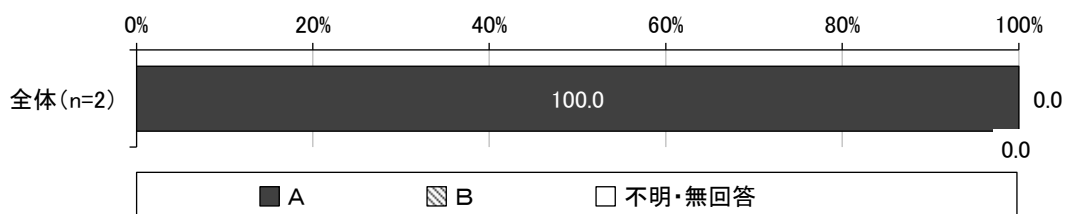
身体障害者手帳所持者の障がい種別についてみると、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障がい)」が81.3%と最も多く、次いで「内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫、肝臓)」が12.5%となっています。



(問4で「療育手帳」を選んだ方へ)

問4:2 療育手帳所持者の判定

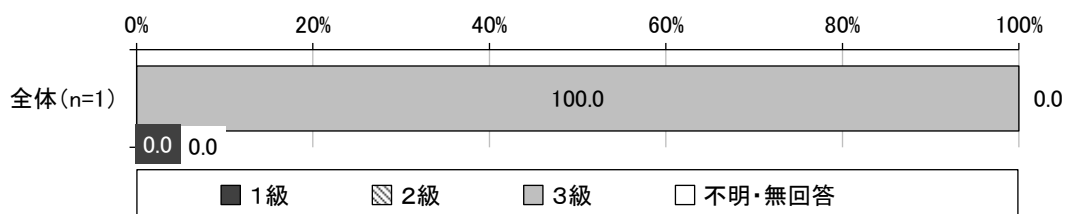
療育手帳所持者の判定状況についてみると、「A」が100.0%となっています。



(問4で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問4:3-1 精神障害者保健福祉手帳所持者の等級

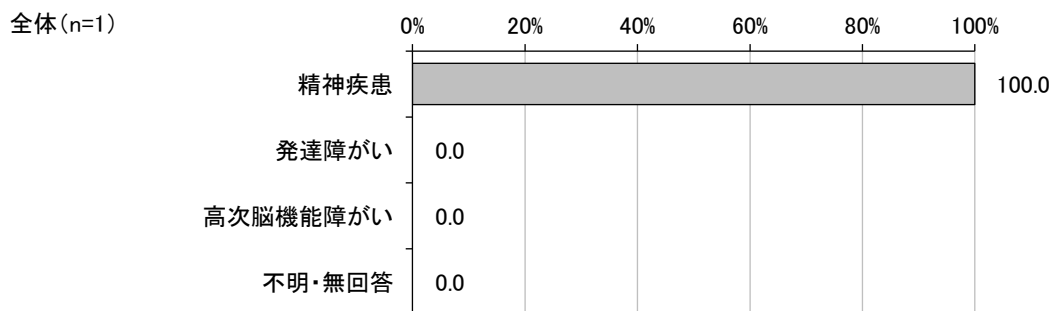
精神障害者保健福祉手帳所持者の等級についてみると、「3級」が100.0%となっています。



(問4で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問4:3-2 精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別

精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別についてみると、「精神疾患」が100.0%となっています。



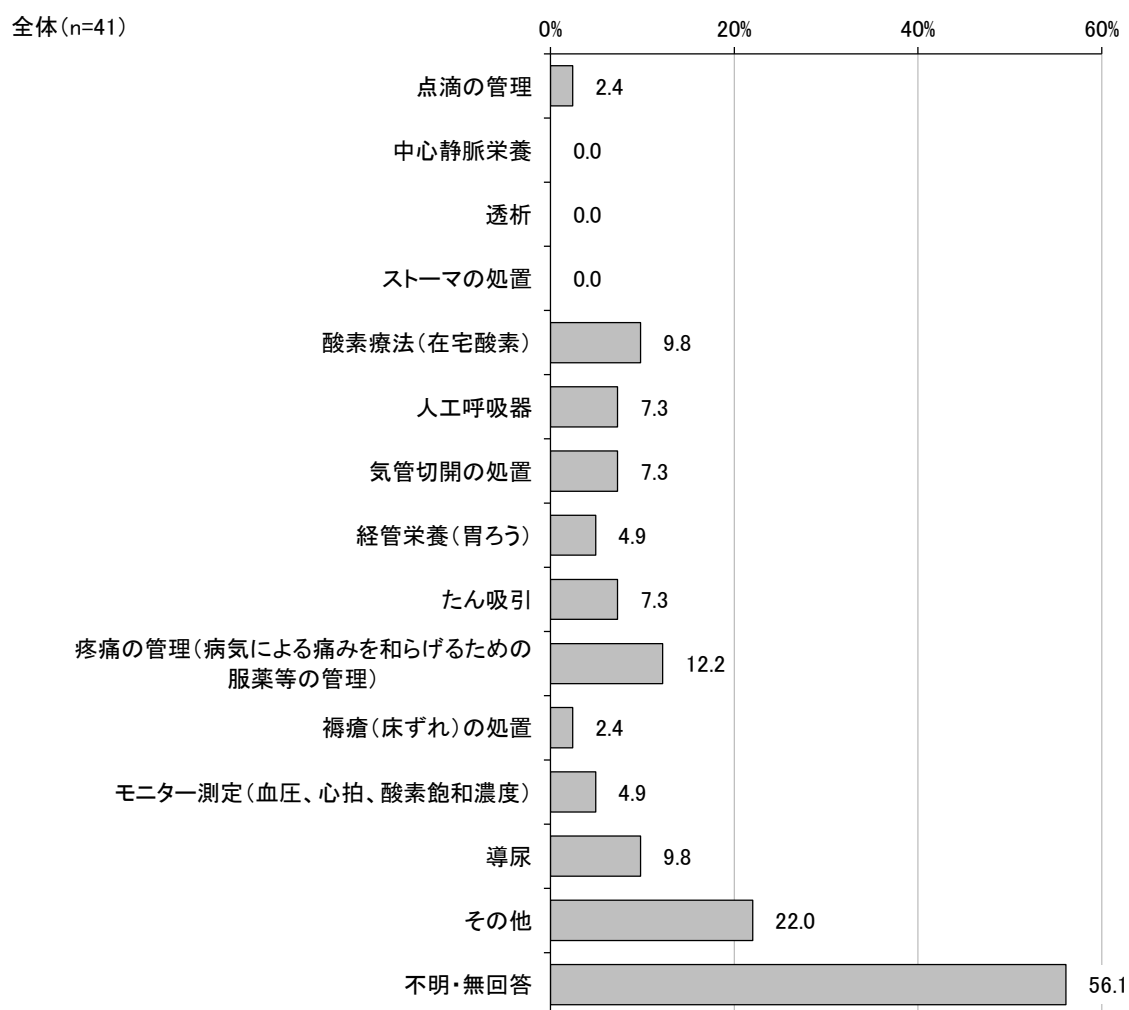
(問4で「手帳なし」を選んだ方へ)

問4:4 障害者手帳を所持していない方の診断名 (1つに○)

障害者手帳を所持していない方の診断名についてみると、回答はありませんでした。

問5 あなたは医療的ケアが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアが必要かについてみると、「その他」を除いて、「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」が12.2%と最も多く、次いで「酸素療法(在宅酸素)」「導尿」が9.8%となっています。

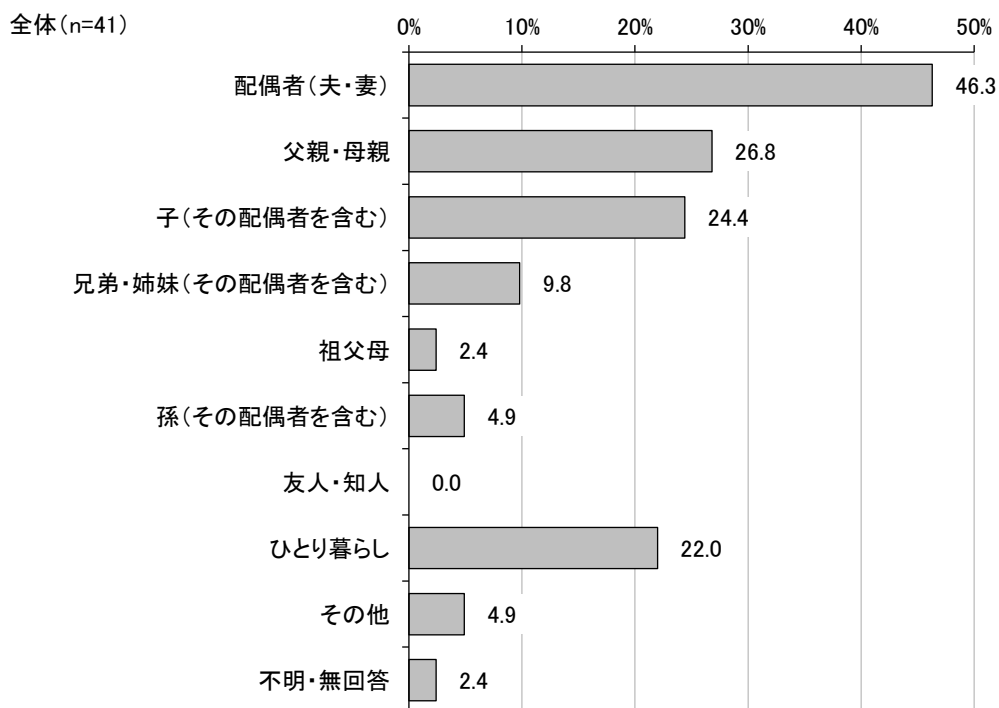


【その他回答】

(略)

問6 あなたは今、どなたと暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

同居者についてみると、「配偶者(夫・妻)」が 46.3%と最も多く、次いで「父親・母親」が 26.8%、「子(その配偶者を含む)」が 24.4%となっています。



【その他回答】

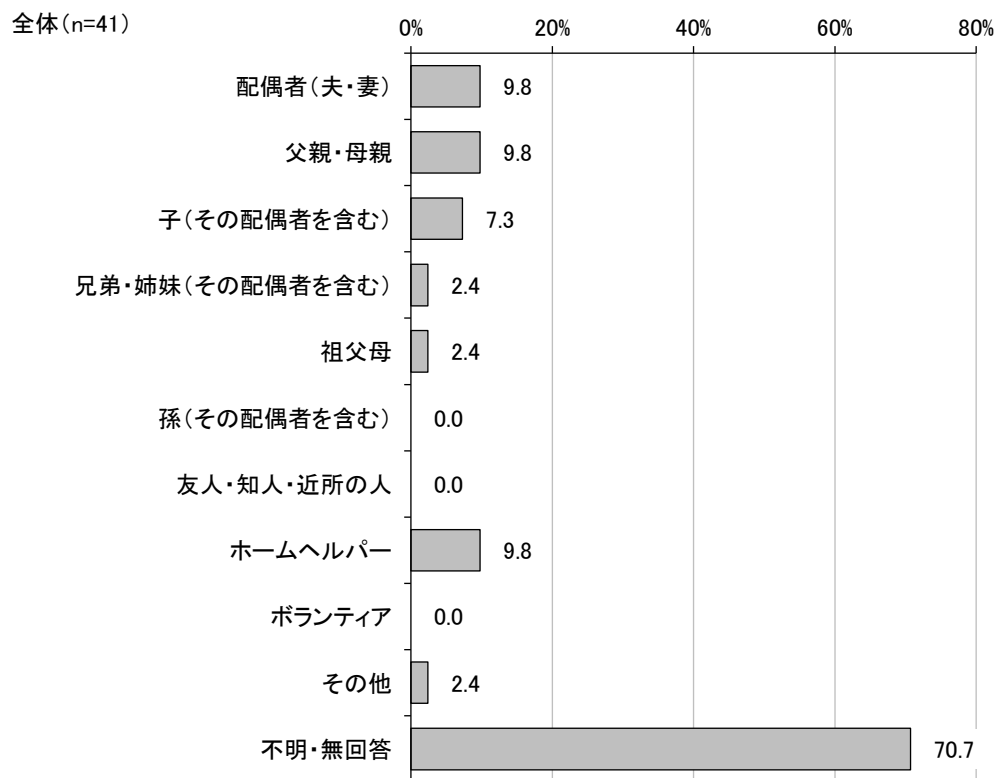
・伯父の妻

・甥、姪

(普段の生活で「介助」が必要な方へ)

問7 あなたの身の回りのお世話は、どなたがしていますか。(あてはまるものすべてに○)

身の回りの世話をする方についてみると、「配偶者(夫・妻)」「父親・母親」「ホームヘルパー」が 9.8%、「子(その配偶者を含む)」が 7.3%、「兄弟・姉妹(その配偶者を含む)」「祖父母」が 2.4%となっています。

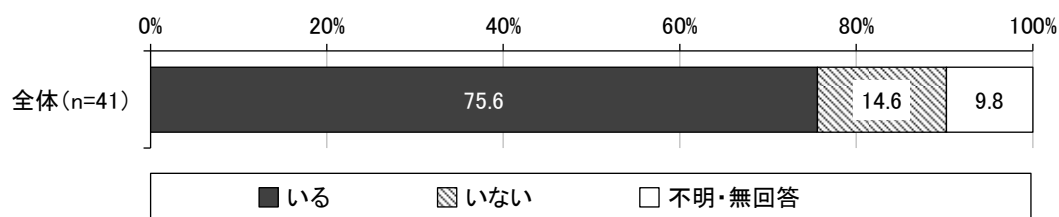


【その他回答】

・学校登校時は先生、学校Ns、訪問Ns、放課後デイスタッフ

問8 緊急時にあなたを支援してくれる人がいますか。(1つに○)

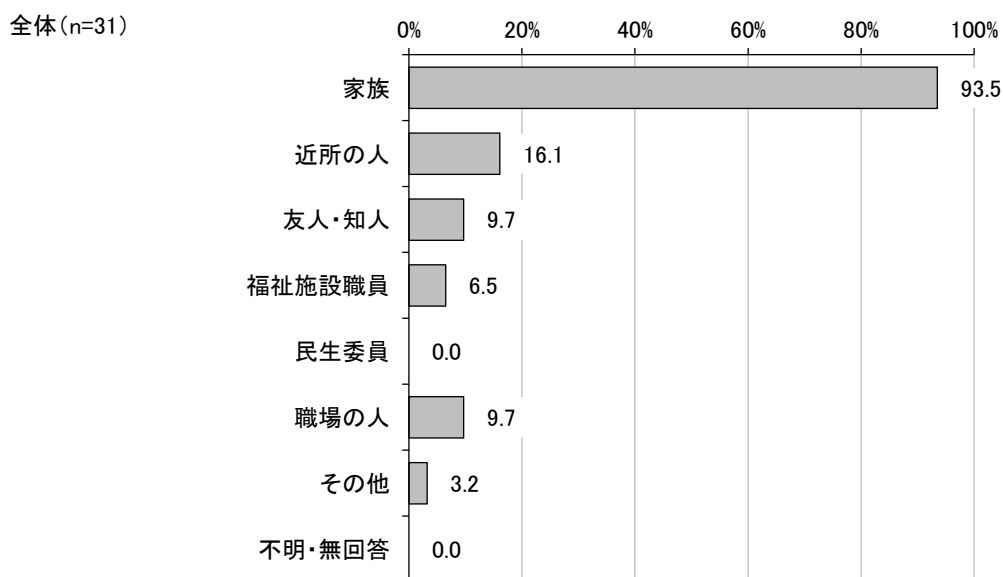
緊急時の支援者の有無についてみると、「いる」が75.6%、「いない」が14.6%となっています。



(問8で「いる」と答えた方へ)

問9 それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

支援してくれる相手についてみると、「家族」が93.5%と最も多く、次いで「近所の人」が16.1%、「友人・知人」「職場の人」が9.7%となっています。



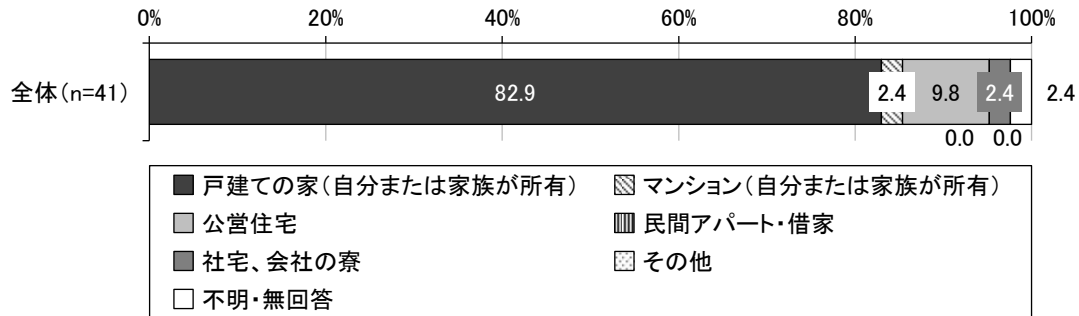
【その他回答】

- ・ヘルパー

2 住まいについて

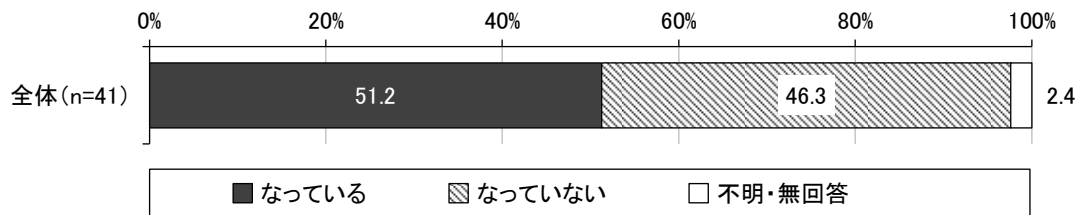
問 10 現在あなたはどのようなところにお住まいですか。(1つに○)

現在の居住形態についてみると、「戸建ての家(自分または家族が所有)」が 82.9%と最も多く、次いで「公営住宅」が 9.8%、「マンション(自分または家族が所有)」「社宅、会社の寮」が 2.4%となっています。



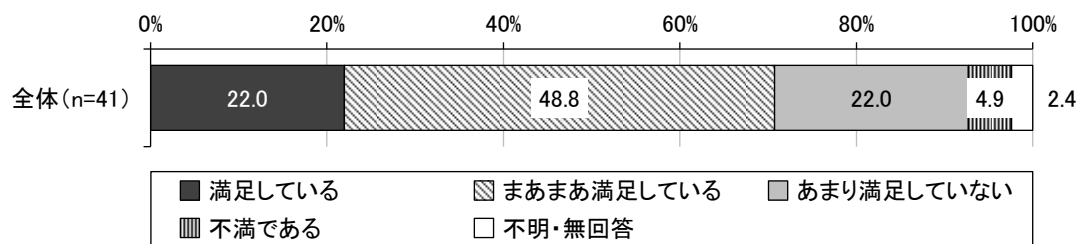
問 11 あなたのお住まいは、年齢や障がいのあるなしに関係なく、誰もが暮らしやすいデザインになっていますか。(トイレ、風呂場、玄関など)(1つに○)

住居は誰もが暮らしやすいデザインになっているかについてみると、「なっている」が 51.2%、「なっていない」が 46.3%となっています。



問 12 あなたは現在のお住まいに満足していますか。(1つに○)

現在の住居の満足度についてみると、「まあまあ満足している」が 48.8%と最も多く、次いで「満足している」「あまり満足していない」が 22.0%、「不満である」が 4.9%となっています。



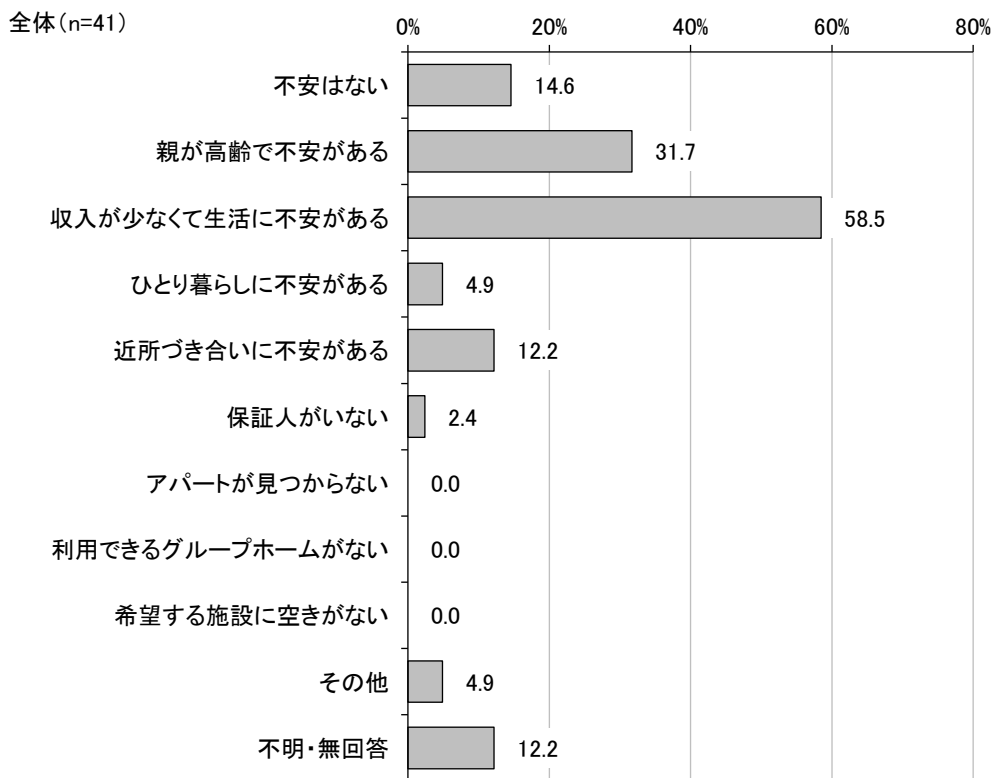
(問 12 で「あまり満足していない」「不満である」と答えた方へ)

問 13 その理由を教えてください。(記述回答)

(略)

問 14 あなたは今の暮らし方に不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

今の暮らし方に不安はあるかについてみると、「収入が少なくて生活に不安がある」が 58.5%と最も多く、次いで「親が高齢で不安がある」が 31.7%、「不安はない」が 14.6%となっています。

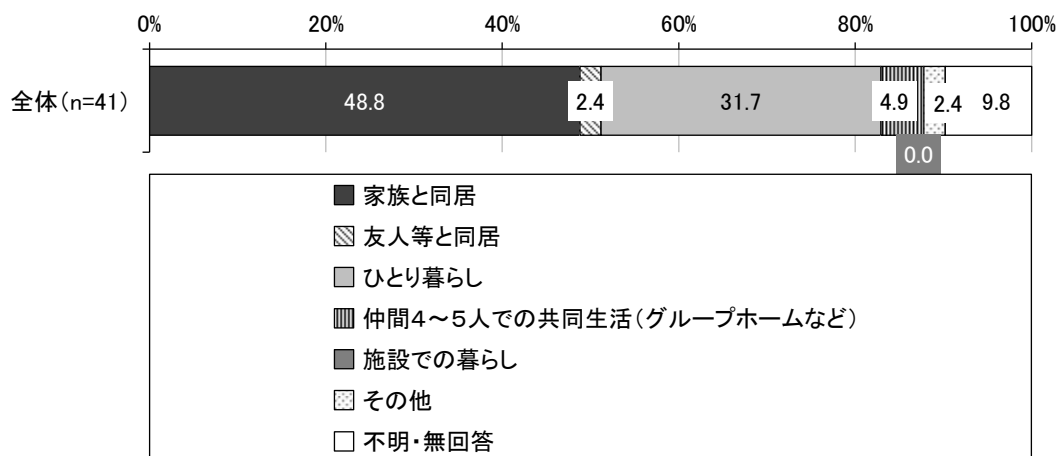


【その他回答】

- ・ 家族の予定に振り回される
- ・ 自分の体調等に不安

問 15 これからのあなたが望む暮らし方はどれですか。(1つに○)

今後望む暮らし方についてみると、「家族と同居」が 48.8%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が 31.7%、「仲間 4～5 人での共同生活(グループホームなど)」が 4.9%となっています。



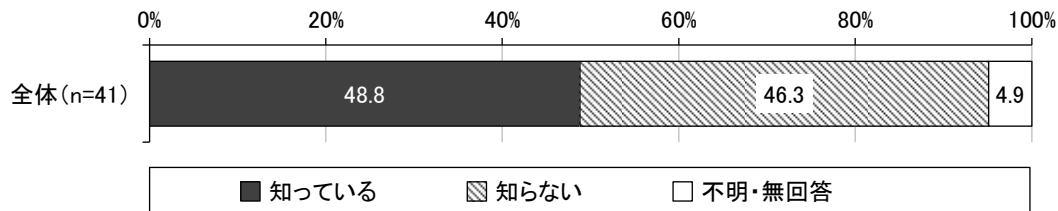
【その他回答】

(略)

3 福祉サービスについて

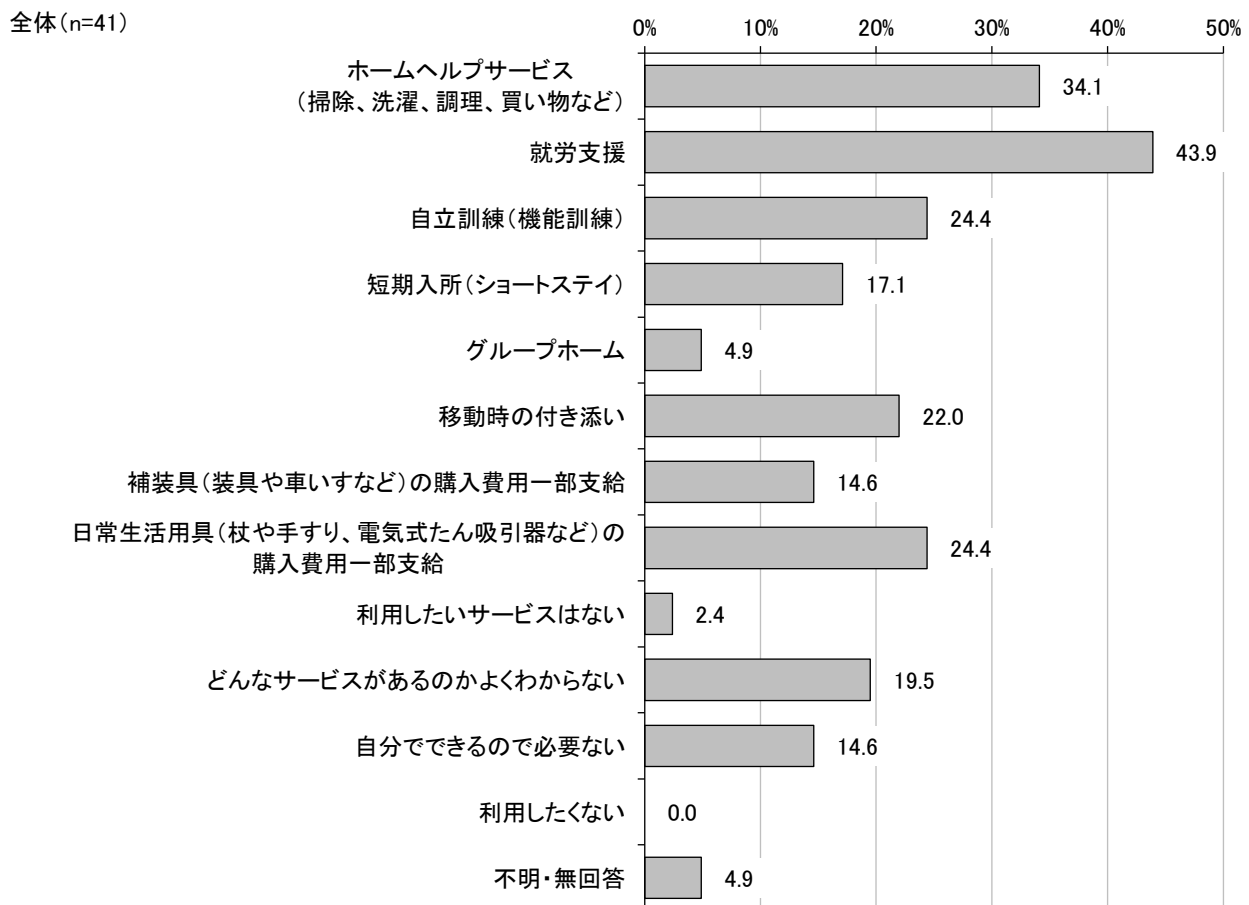
問 16 あなたは、対象の難病患者の方であれば、手帳の有無にかかわらず障がい福祉サービスが利用できることをご存知ですか。(1つに○)

対象の難病患者の方であれば、手帳の有無にかかわらず障がい福祉サービスが利用できることを知っているかについてみると、「知っている」が48.8%、「知らない」が46.3%となっています。



問 17 あなたが、障がい福祉サービスを利用するとしたら、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

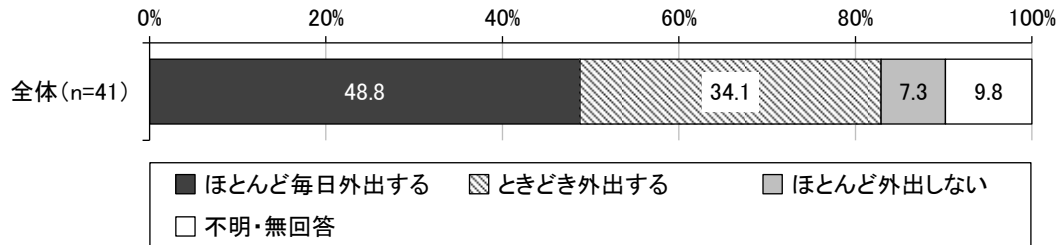
どのような障がい福祉サービスを利用したいと思うかについてみると、「就労支援」が43.9%と最も多く、次いで「ホームヘルプサービス(掃除、洗濯、調理、買い物など)」が34.1%、「自立訓練(機能訓練)」「日常生活用具(杖や手すり、電気式たん吸引器など)の購入費用一部支給」が24.4%となっています。



4 移動について

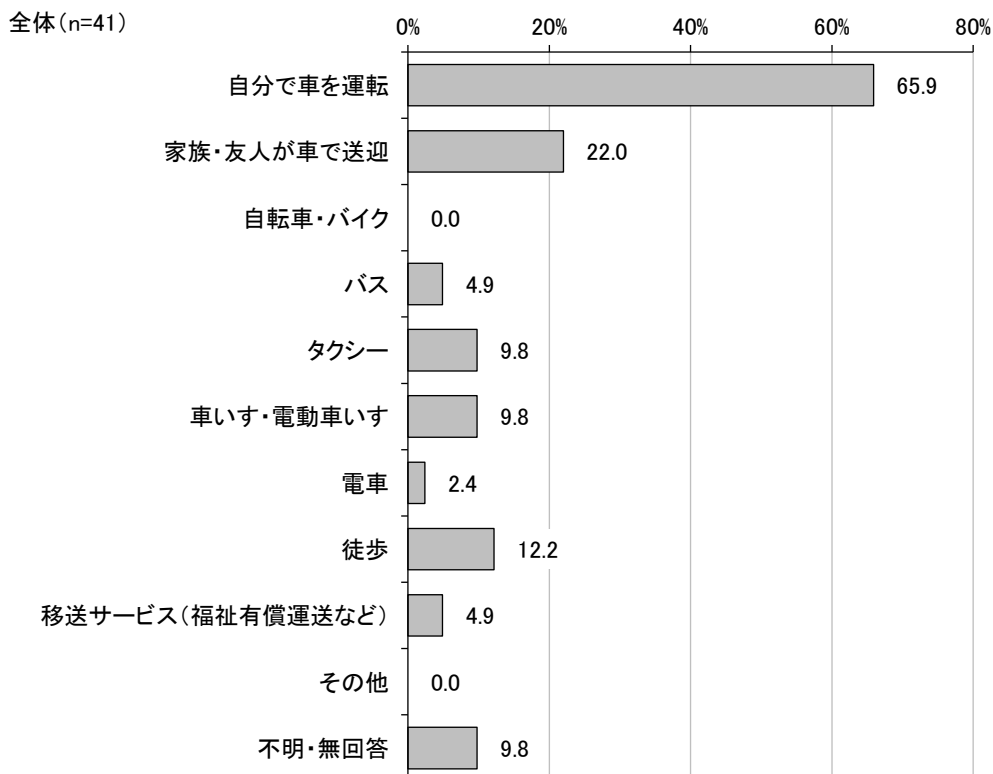
問 18 あなたは、通勤・通学・通所以外で、普段どれくらい外出しますか。(1つに○)

通勤・通学・通所以外での普段の外出頻度についてみると、「ほとんど毎日外出する」が 48.8%と最も多く、次いで「ときどき外出する」が 34.1%、「ほとんど外出しない」が 7.3%となっています。



問 19 その時の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

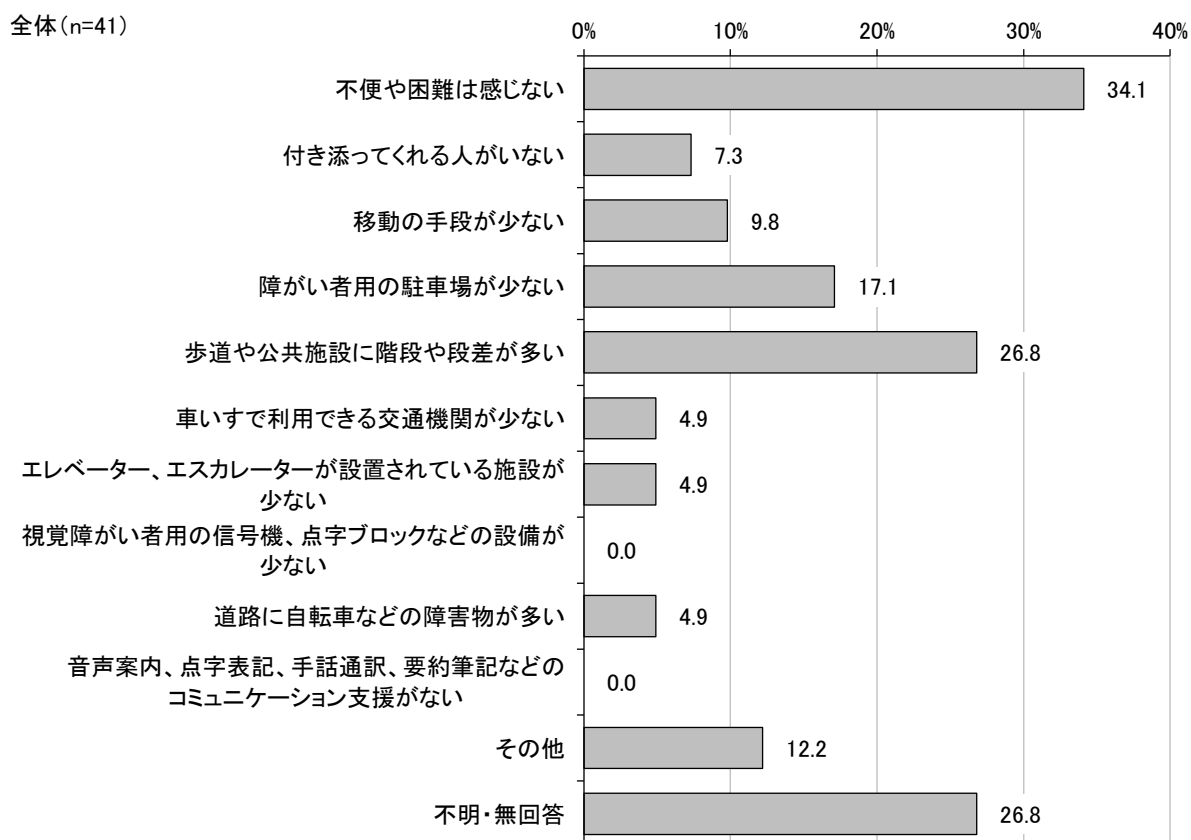
外出時の移動手段についてみると、「自分で車を運転」が 65.9%と最も多く、次いで「家族・友人が車で送迎」が 22.0%、「徒歩」が 12.2%となっています。



問 20 あなたは移動する際に、どのようなことに不便や困難を感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

移動する際に、どのようなことに不便や困難を感じるかについてみると、「不便や困難は感じない」が 34.1%と最も多く、次いで「歩道や公共施設に階段や段差が多い」が 26.8%、「障がい者用の駐車場が少ない」が 17.1%となっています。

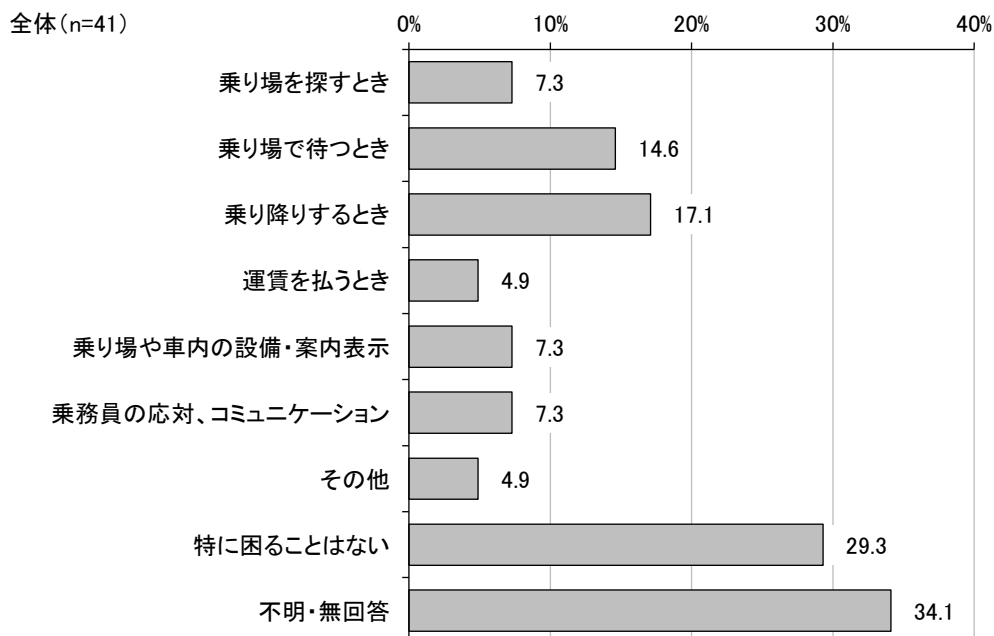


【その他回答】

(略)

問 21 バス、タクシー、電車などの移動手段を利用して、あなたが困ったのはどんなときですか。
 (あてはまるものすべてに○)

バス、タクシー、電車などの移動手段を利用して困ったのはどんなときかについてみると、「特に困ることはない」が 29.3%と最も多く、次いで「乗り降りするとき」が 17.1%、「乗り場で待つとき」が 14.6%となっています。

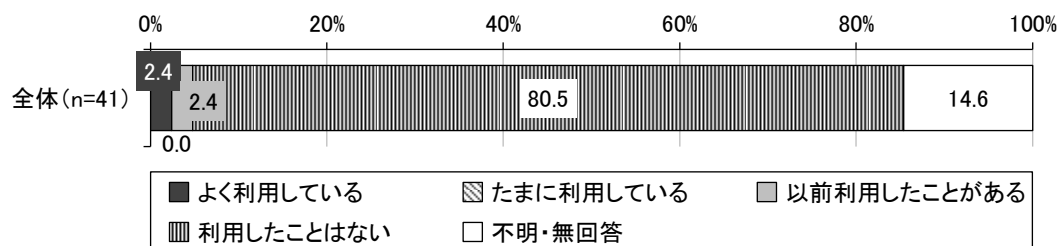


【その他回答】

- ・バスの本数が少ない
- ・乗車拒否

問 22 あなたは「移動支援」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

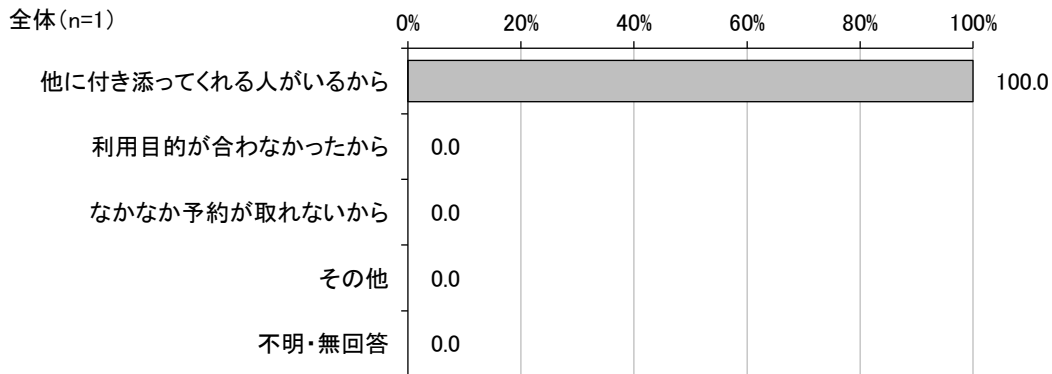
「移動支援」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が 80.5%と最も多く、次いで「よく利用している」「以前利用したことがある」が 2.4%となっています。



(移動支援を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

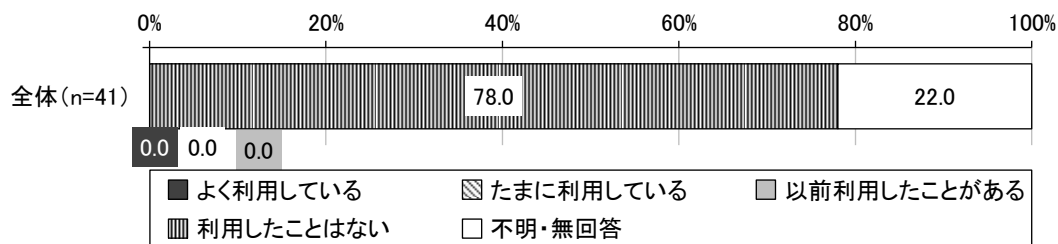
問 23 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

移動支援を頻繁に利用しない理由についてみると、「他に付き添ってくれる人がいるから」が 100.0%となっています。



問 24 あなたは「同行援護」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

「同行援護」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が 78.0%と最も多くなっています。



(同行援護を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

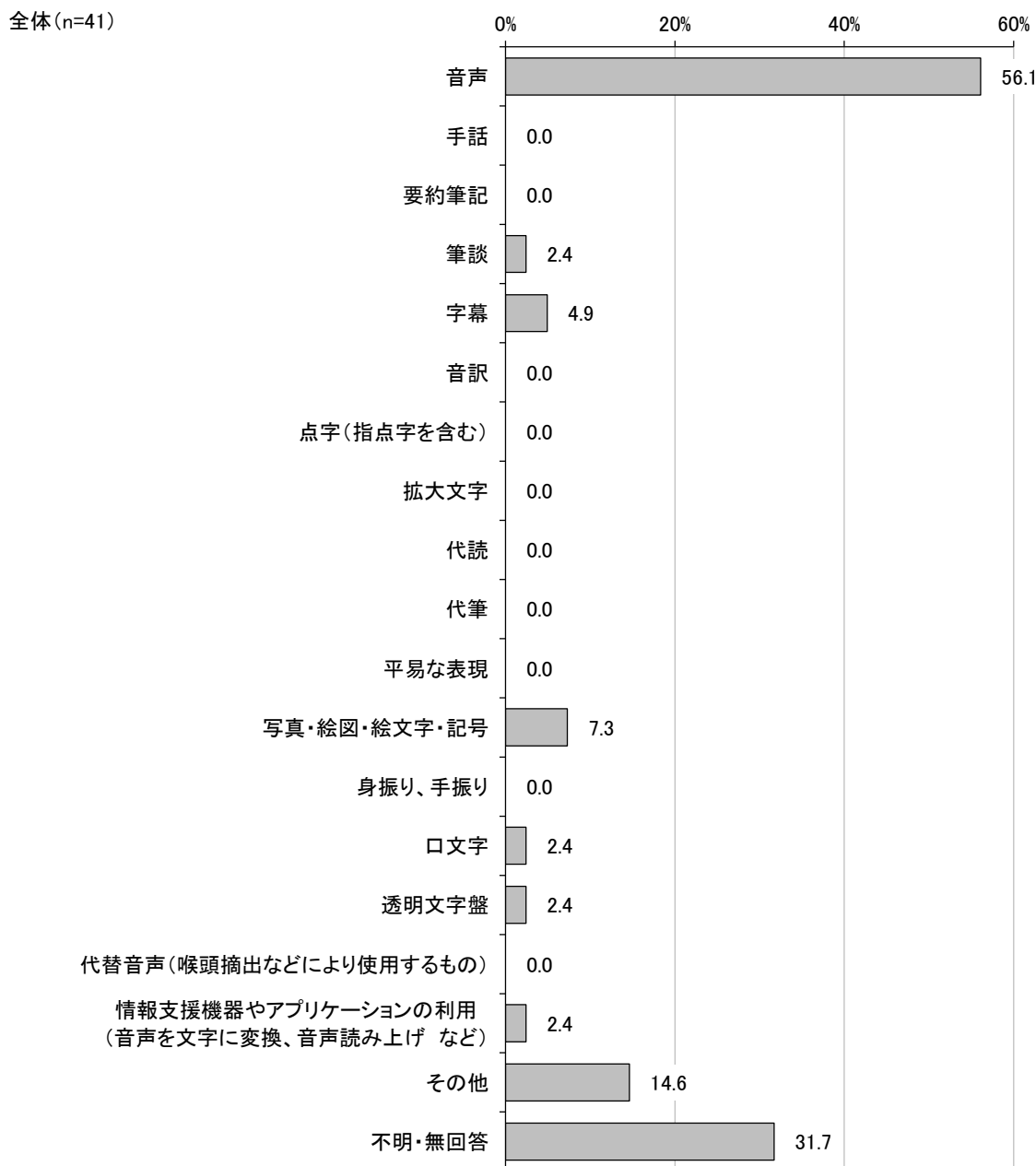
問 25 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

回答者はありませんでした。

5 情報コミュニケーションについて

問 26 あなたは、普段どのような方法で情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

普段どのような方法で情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取っているかについてみると、「音声」が56.1%と最も多く、次いで「写真・絵図・絵文字・記号」が7.3%、「字幕」が4.9%となっています。

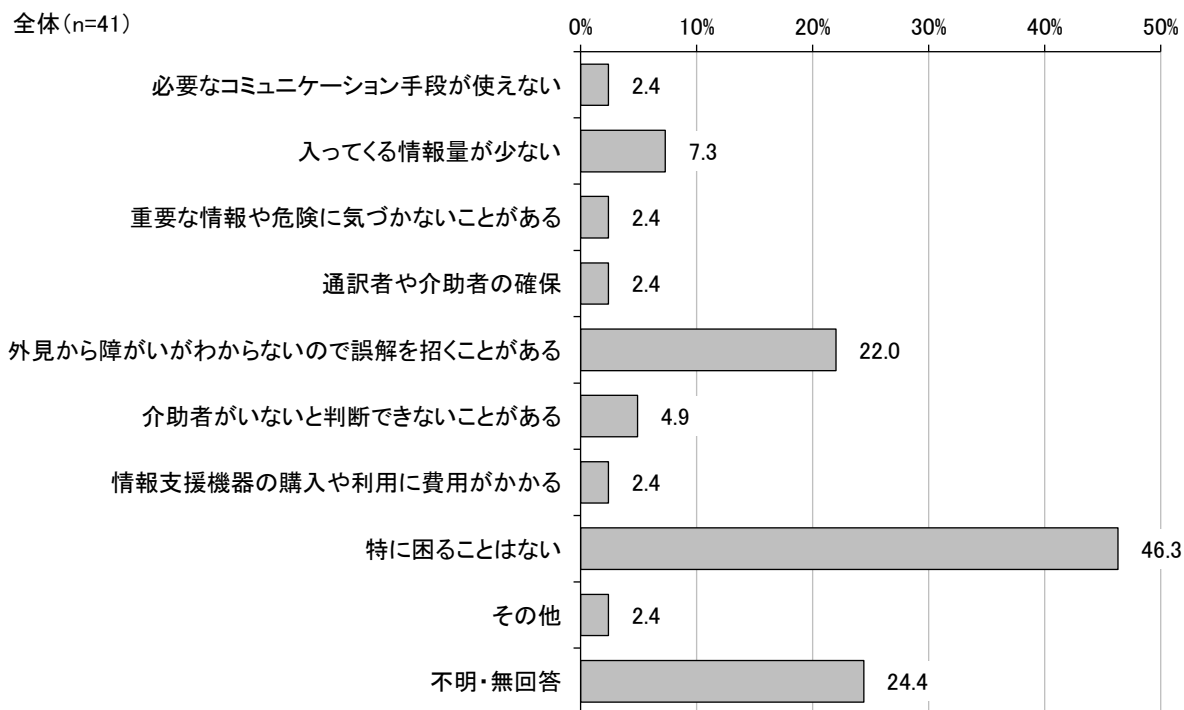


【その他回答】

- ・表情を読み取ってもらうのみでのコミュニケーション
- ・目の動きによる YES、NO を伝える方法
- ・ネット
- ・会話

問 27 あなたは、情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取るときに、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取るときに、困っていることについてみると、「特に困ることはない」が 46.3%と最も多く、次いで「外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある」が 22.0%、「入ってくる情報量が少ない」が 7.3%となっています。

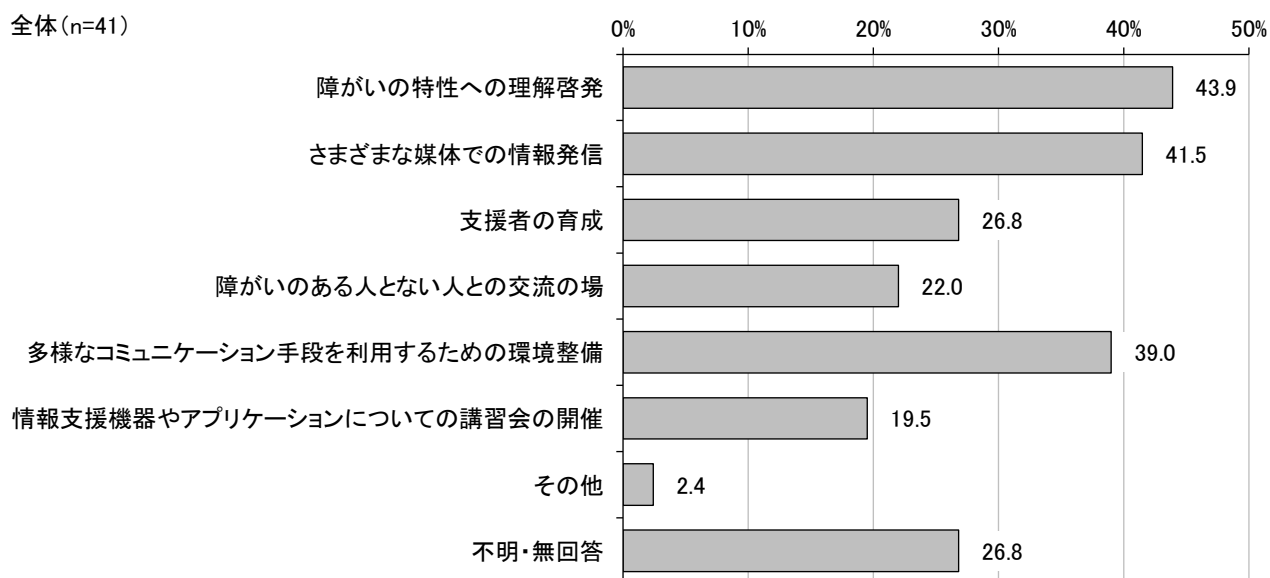


【その他回答】

- ・聴力低下により、聞き取れないことが多い
- ・表情でうまく伝わらないことが多い

問 28 情報の取得や他者とのコミュニケーションを円滑に行うためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の取得や他者とのコミュニケーションを円滑に行うために必要だと思うことについてみると、「障がいの特性への理解啓発」が43.9%と最も多く、次いで「さまざまな媒体での情報発信」が41.5%、「多様なコミュニケーション手段を利用するための環境整備」が39.0%となっています。



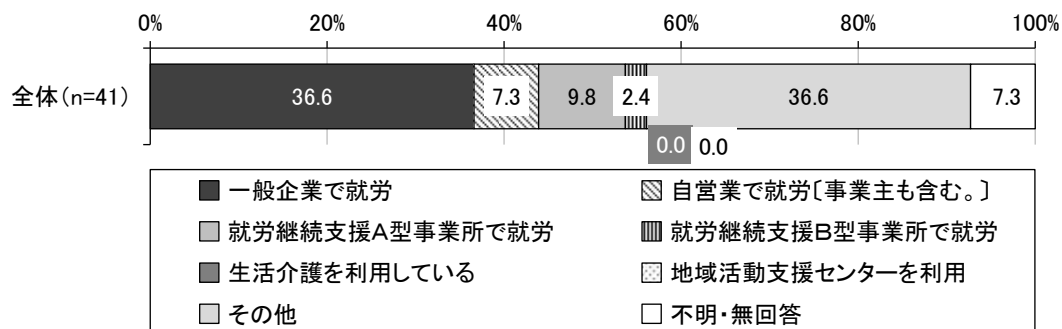
【その他回答】

- ・コミュニケーションは相手を知りたいと思うことから始まると思うが、社会のスピードが早く、ゆっくりコミュニケーションを取る時間が一般の人の間でもないので、そこから変えないと情報ややり方だけ伝えても難しいのでは？必要なのは社会のそれぞれの心の豊かさ、ゆとりだと思います

6 日中の過ごし方について

問 29 あなたは普段、日中をどう過ごしていますか。(1つに○)

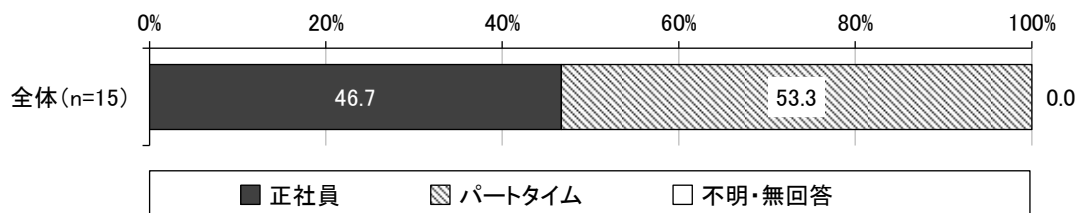
普段の日中の過ごし方についてみると、「一般企業で就労」が 36.6%と最も多く、次いで「就労継続支援A型事業所で就労」が 9.8%、「自営業で就労〔事業主も含む。〕」が 7.3%となっています。



(問 29 で「一般企業で就労」を選んだ方へ)

問 29: 1 就労形態 (どちらかに○)

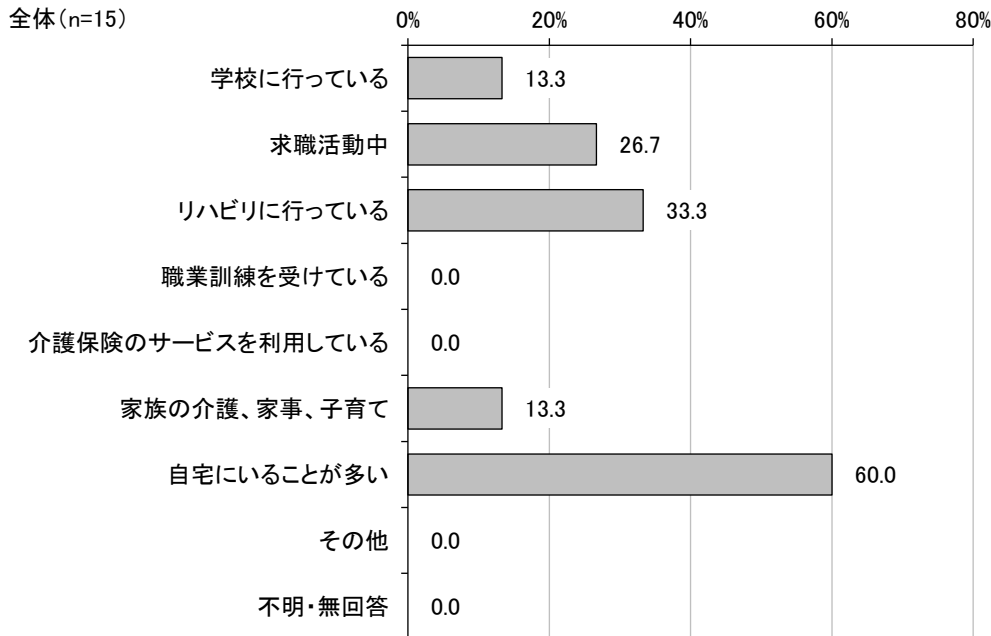
一般企業で就労している方の就労形態についてみると、「正社員」の 46.7%、「パートタイム」が 53.3%となっています。



(問 29 で「その他」を選んだ方へ)

問 30 普段の日中の過ごし方 (あてはまるものすべてに○)

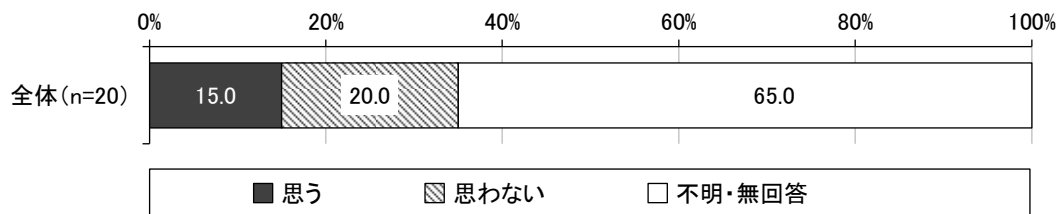
「その他」を選んだ方の日中の過ごし方についてみると、「自宅にすることが多い」が 60.0%と最も多く、次いで「リハビリに行っている」が 33.3%、「求職活動中」が 26.7%となっています。



(問 29 で「一般企業で就労」「自営業で就労」以外を選んだ方へ)

問 31 将来、一般企業で働きたいと思えますか。(1つに○)

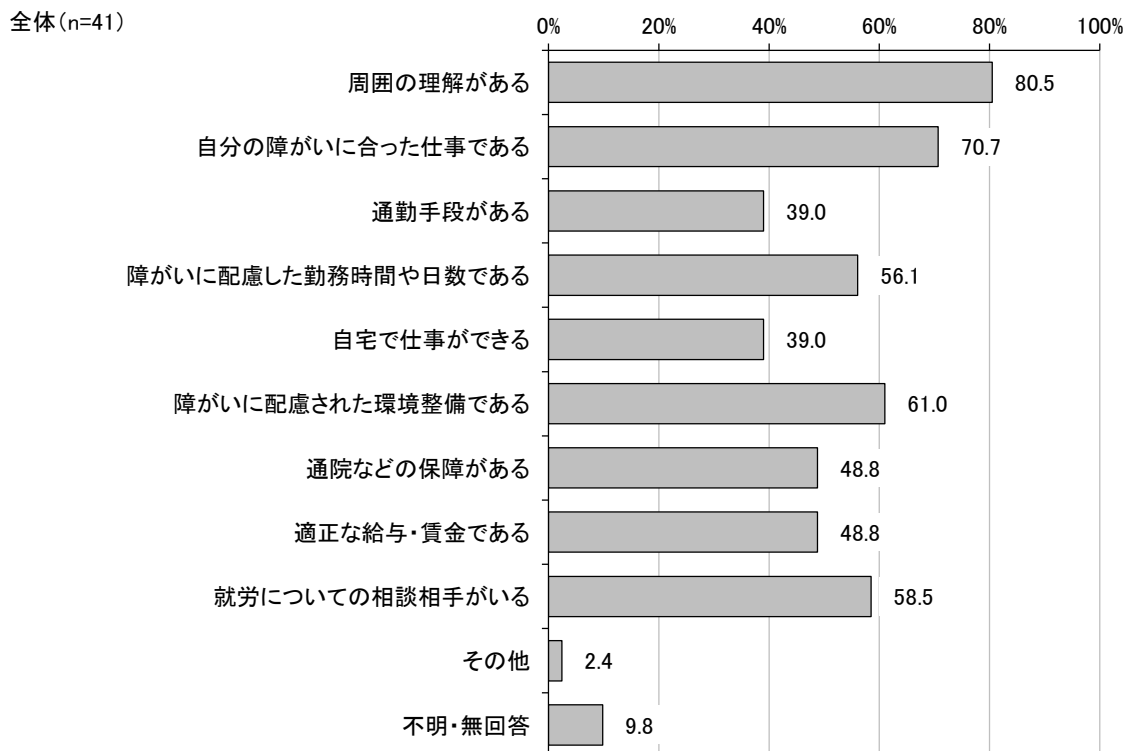
一般企業や自営業で就労していない方が将来、一般企業で働きたいと思うかについてみると、「思う」が 15.0%、「思わない」が 20.0%となっています。



問 32 あなたは障がい者が働くうえで、どのような条件が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がい者が働くうえで必要な条件についてみると、「周囲の理解がある」が 80.5%と最も多く、次いで「自分の障がいに合った仕事である」が 70.7%、「障がいに配慮された環境整備である」が 61.0%となっています。

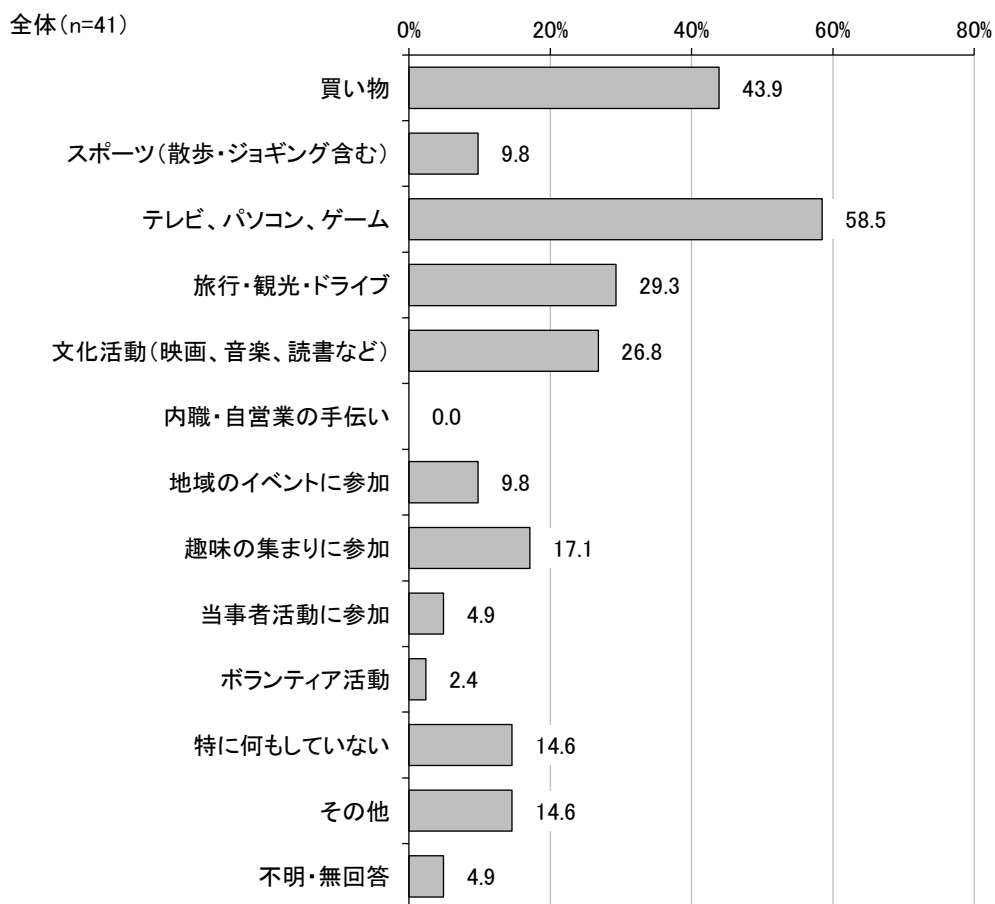


【その他回答】

- ・就労先からの相談を受けられ橋渡しがしやすい状況

問 33 あなたはお休みのときなど、どのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

休日などの過ごし方についてみると、「テレビ、パソコン、ゲーム」が 58.5%と最も多く、次いで「買い物」が 43.9%、「旅行・観光・ドライブ」が 29.3%となっています。



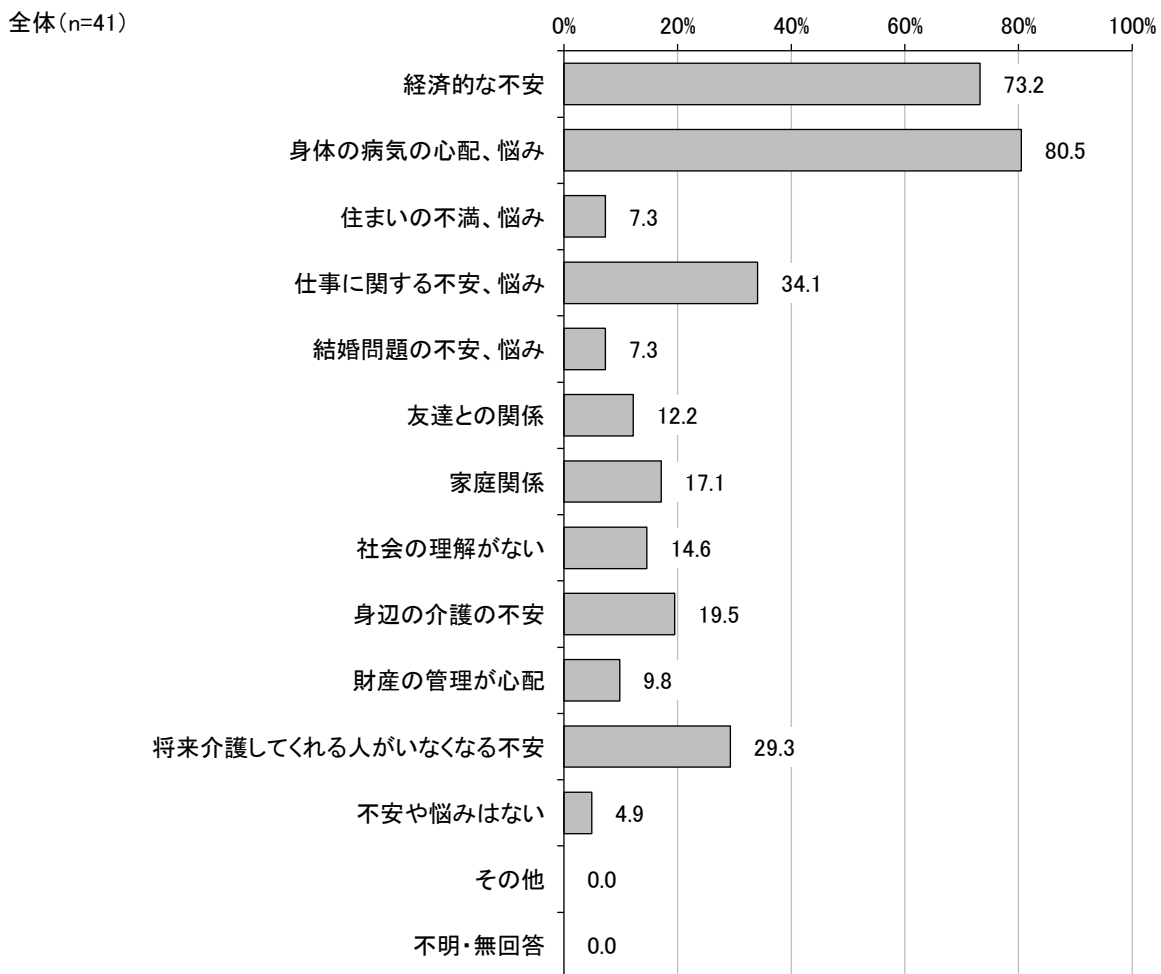
【その他回答】

- ・スポーツ観戦
- ・体を休める
- ・家で趣味
- ・図書館

7 相談支援について

問 34 あなたは今の生活の中で、困っていることや将来に対する不安、悩みなどがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

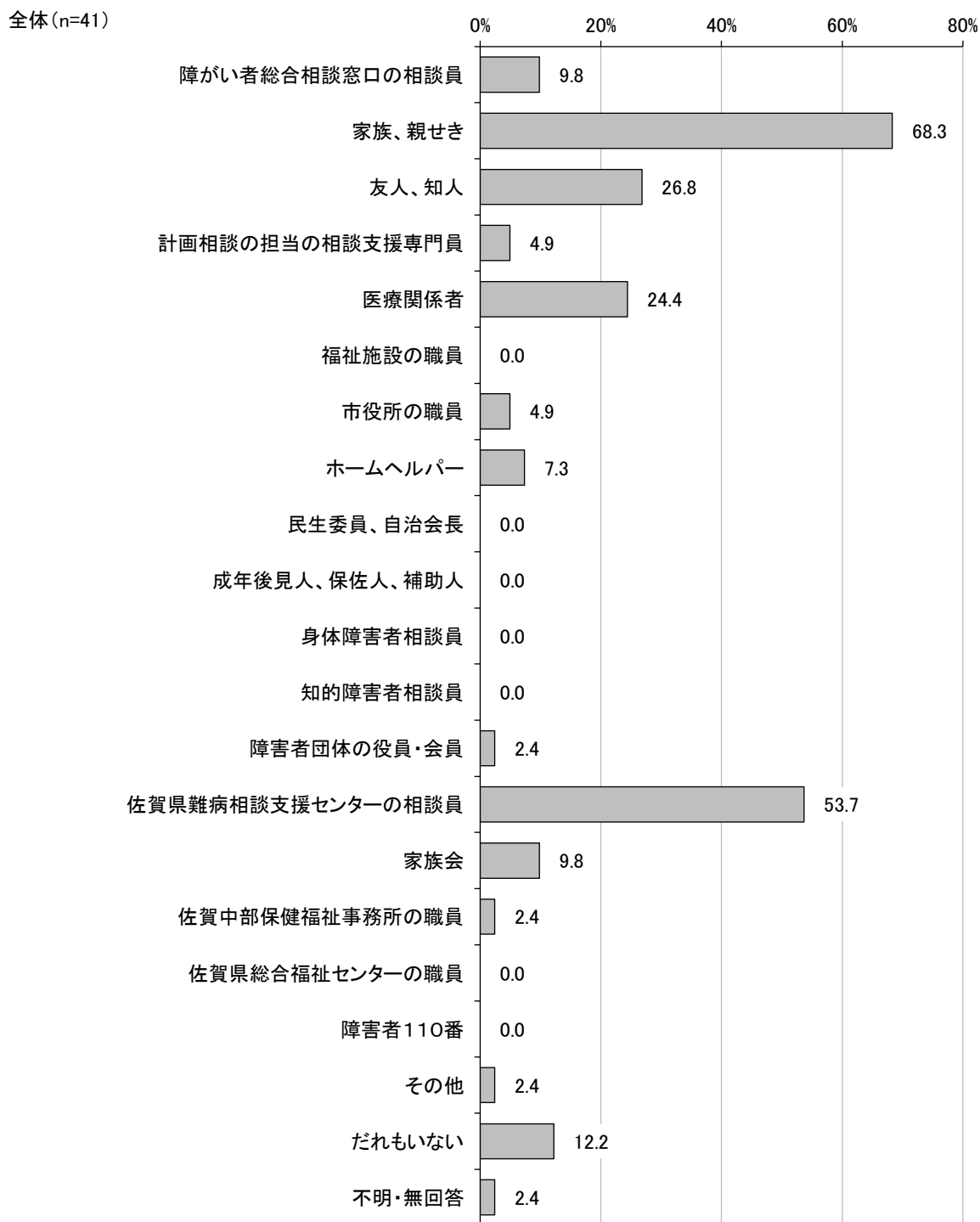
今の生活の中で、困っていることや将来に対する不安、悩みなどがあるかについてみると、「身体の病気の心配、悩み」が 80.5%と最も多く、次いで「経済的な不安」が 73.2%、「仕事に関する不安、悩み」が 34.1%となっています。



問 35 あなたは心配ごとや不安、悩みなど困ったときに気軽に相談できる人がいますか。

(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや不安、悩みなど困ったときに気軽に相談できる人がいるかについてみると、「家族、親せき」が68.3%と最も多く、次いで「佐賀県難病相談支援センターの相談員」が53.7%、「友人、知人」が26.8%となっています。

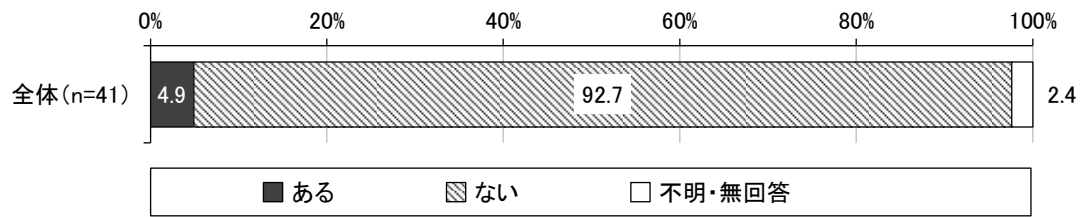


【その他回答】

- ・学校の先生

問 36 あなたは障がい者総合相談窓口に相談したことがありますか。(1つに○)

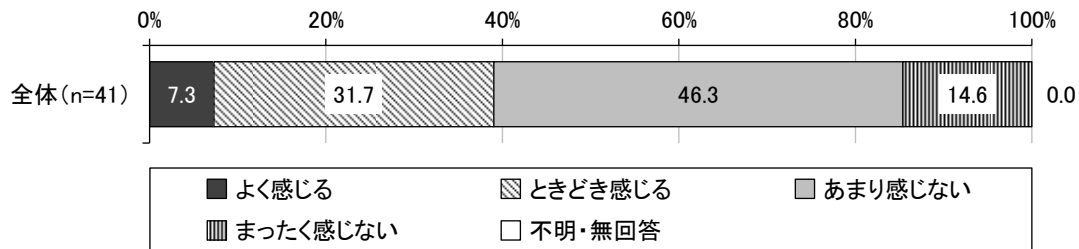
障がい者総合相談窓口への相談経験についてみると、「ある」が4.9%、「ない」が92.7%となっています。



8 障がい者・難病患者の方への差別や偏見について

問 37 あなたは普段の生活の中で、差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。(1つに○)

普段の生活の中で、差別や偏見、疎外感を感じることがあるかについてみると、「あまり感じない」が 46.3%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が 31.7%、「まったく感じない」が 14.6%となっています。

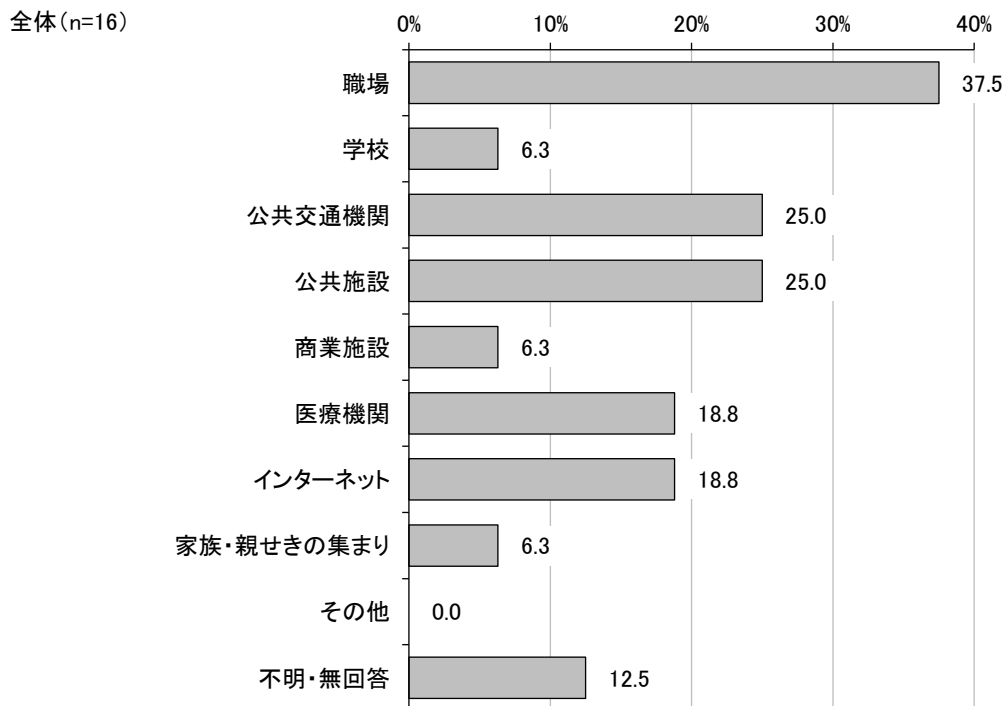


(問 37 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 38 その時、どのような場所で、差別や偏見、疎外感を感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

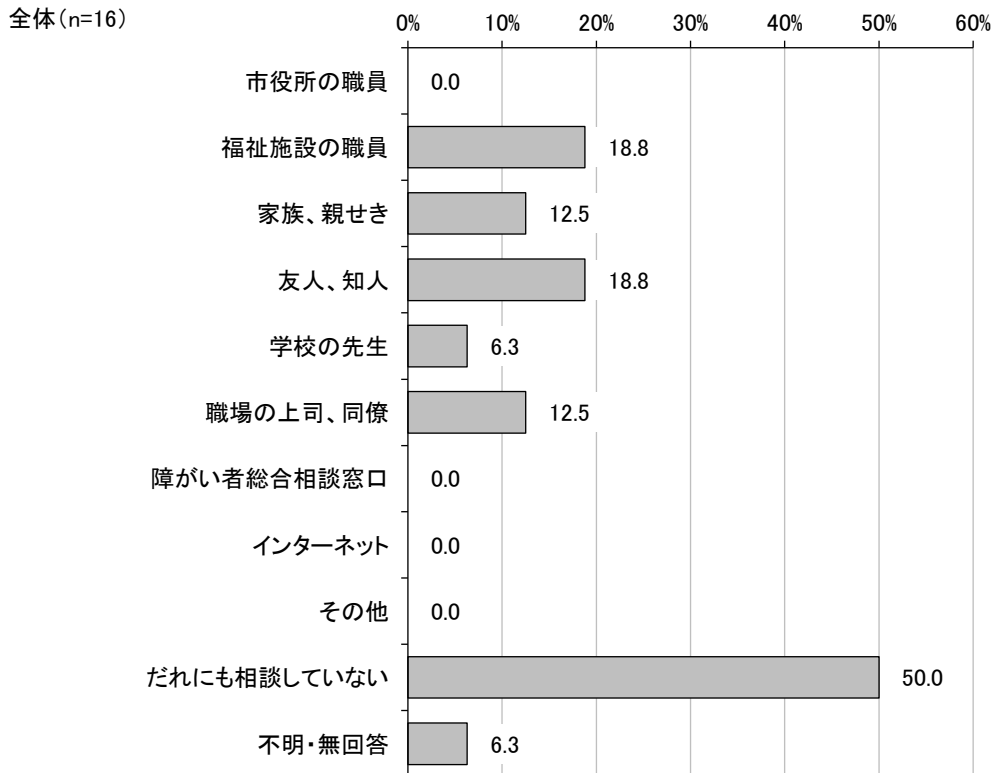
差別や偏見、疎外感を感じた場所についてみると、「職場」が 37.5%と最も多く、次いで「公共交通機関」「公共施設」が 25.0%、「医療機関」「インターネット」が 18.8%となっています。



(問 37 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 39 その時、だれに相談されましたか。(あてはまるものすべてに○)

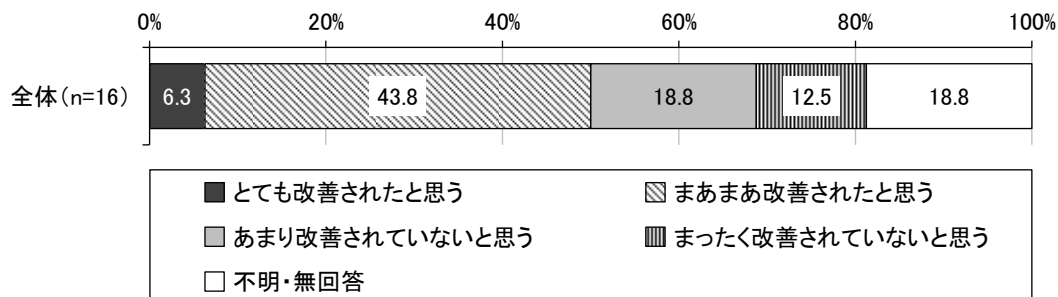
差別や偏見、疎外感を感じた時、だれに相談したかについてみると、「だれにも相談していない」が 50.0%と最も多く、次いで「福祉施設の職員」「友人、知人」が 18.8%、「家族、親せき」「職場の上司、同僚」が 12.5%となっています。



(問 37 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 40 あなたに対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。(1つに○)

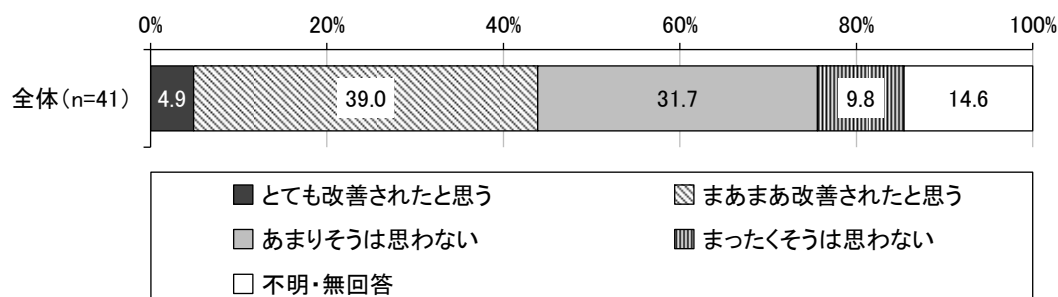
自身への差別や偏見は改善されてきたと思うかについてみると、「まあまあ改善されたと思う」が 43.8%と最も多く、次いで「あまり改善されていないと思う」が 18.8%、「まったく改善されていないと思う」が 12.5%となっています。



問 41 あなたは普段の生活の中で、これまで困っていたことが改善されてきたと思いますか。

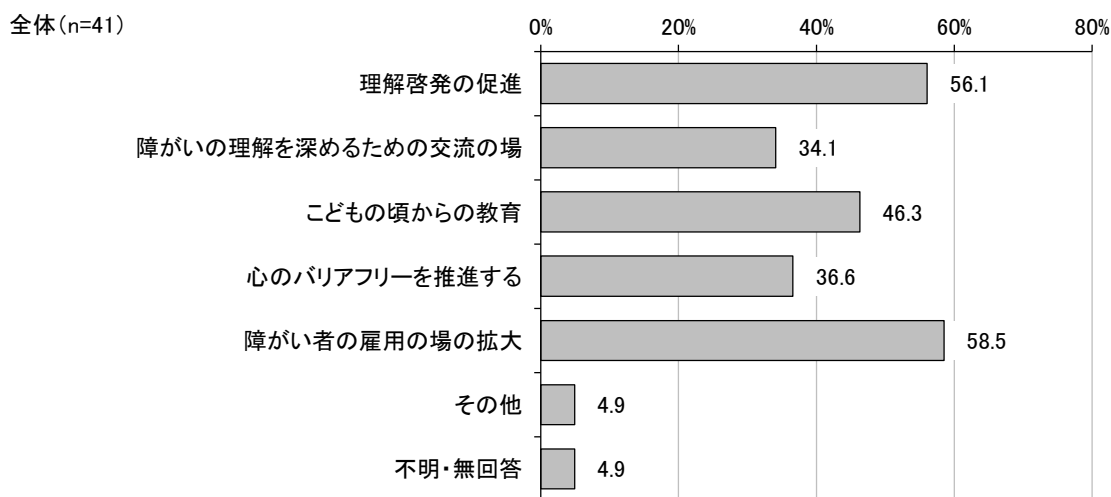
(1つに○)

普段の生活の中で、これまで困っていたことが改善されてきたと思うかについてみると、「まあまあ改善されたと思う」が 39.0%と最も多く、次いで「あまりそうは思わない」が 31.7%、「まったくそうは思わない」が 9.8%となっています。



問 42 お互いを理解して助け合える社会、困りごとが少なくなる社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

お互いを理解して助け合える社会、困りごとが少なくなる社会にするためには、どのようなことが必要だと思うかについてみると、「障がい者の雇用の場の拡大」が 58.5%と最も多く、次いで「理解啓発の促進」が 56.1%、「こどもの頃からの教育」が 46.3%となっています。



【その他回答】

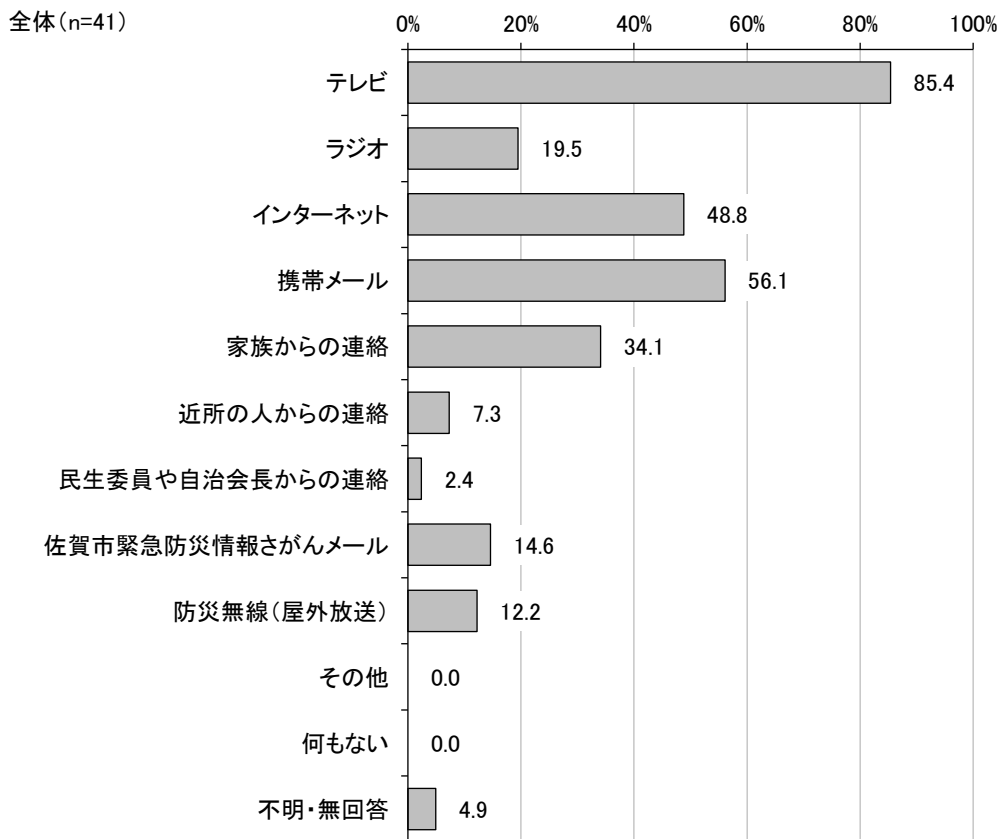
- ・生活不安がなくなること

9 非常災害時の対応について

問 43 あなたは地震などの災害が起きた時に、どのようにして情報を取得しますか。

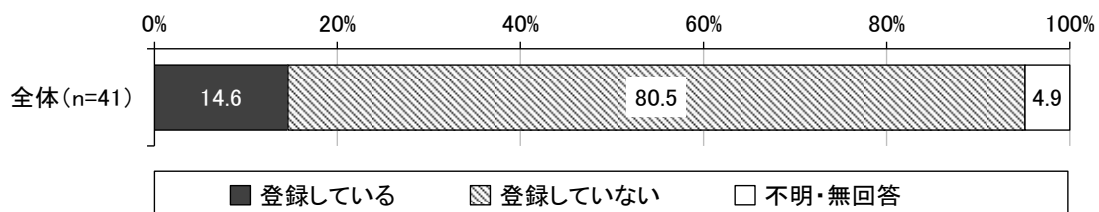
(あてはまるものすべてに○)

地震などの災害発生時に、どのようにして情報を取得するかについてみると、「テレビ」が 85.4%と最も多く、次いで「携帯メール」が 56.1%、「インターネット」が 48.8%となっています。



問 44 あなたは「避難行動要支援者名簿」の登録をしていますか。(1つに○)

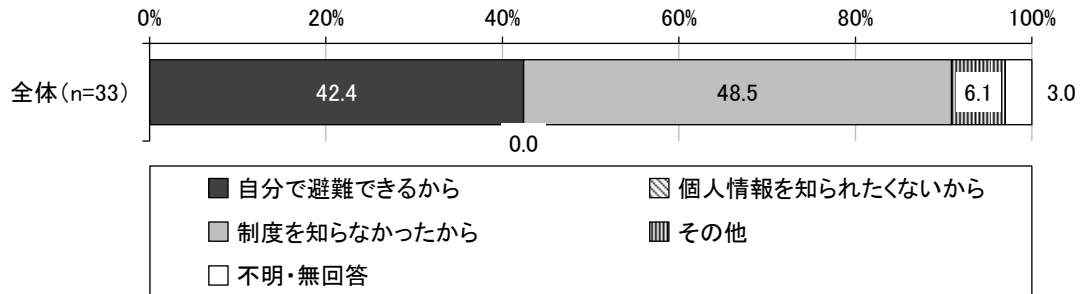
避難行動要支援者名簿に登録しているかについてみると、「登録している」が 14.6%、「登録していない」が 80.5%となっています。



(問 44 で「登録していない」と答えた方へ)

問 45 理由を教えてください。(1つに○)

避難行動要支援者名簿に登録していない理由についてみると、「制度を知らなかったから」が 48.5%と最も多く、次いで「自分で避難できるから」が 42.4%となっています。

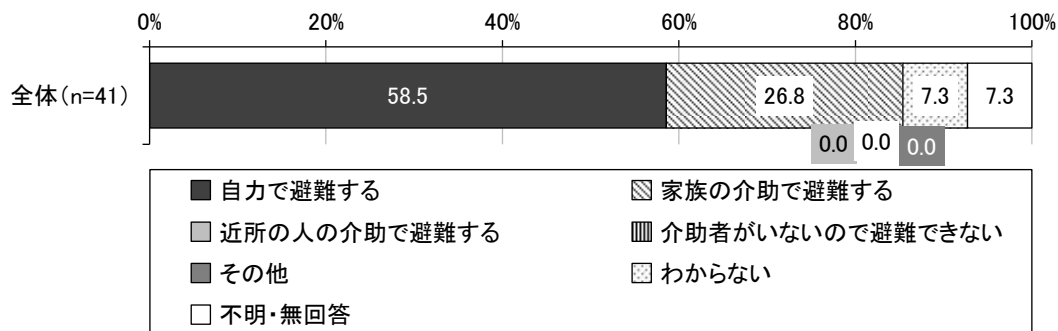


【その他回答】

- ・役所から来ていたけれど返事をしなかった

問 46 もし大規模な災害が起きたとして、あなたはどのようにして避難所へ行きますか。(1つに○)

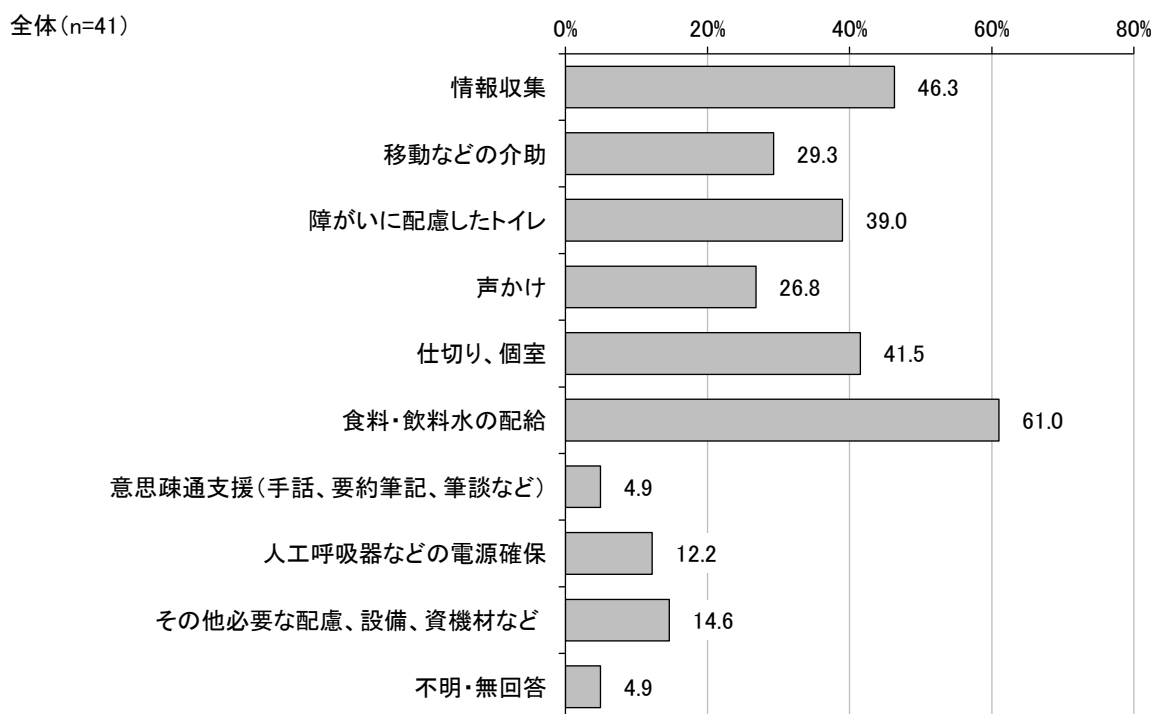
大規模な災害発生時に、どのようにして避難所へ行くかについてみると、「自力で避難する」が 58.5%と最も多く、次いで「家族の介助で避難する」が 26.8%、「わからない」が 7.3%となっています。



問 47 あなたに関して、避難先で特に必要な配慮などがあれば教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

避難先で特に必要な自身への配慮についてみると、「食料・飲料水の配給」が 61.0%と最も多く、次いで「情報収集」が 46.3%、「仕切り、個室」が 41.5%となっています。



【その他回答】

- ・パニックにならない環境づくり
- ・服薬

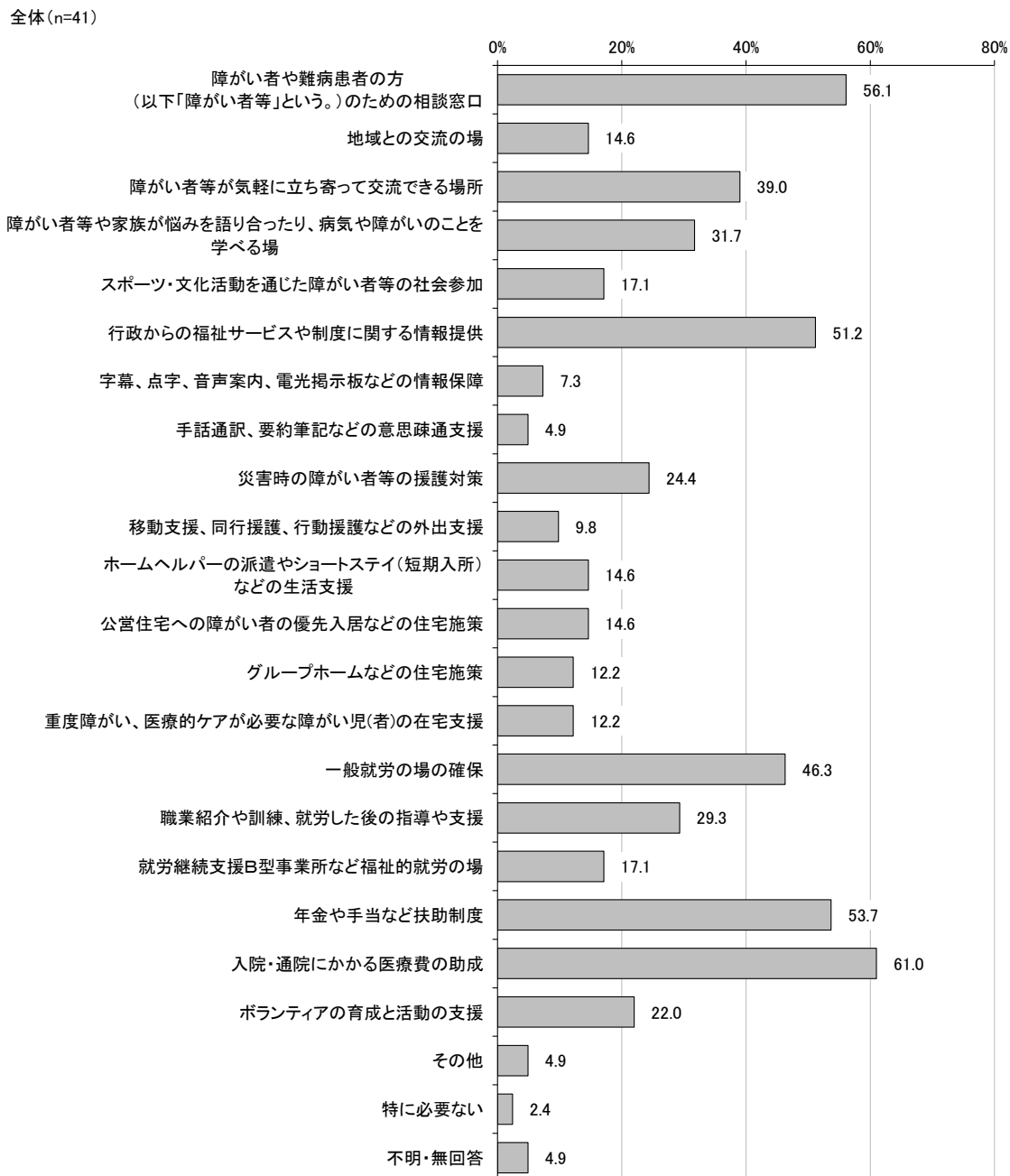
問 48 災害が起きた時に、不安なことをご記入ください。(自由記述)
(略)

10 今後の市の施策について

問 49 あなたが暮らしやすくなるために、もっと充実してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

暮らしやすくなるために、もっと充実してほしいことについてみると、「入院・通院にかかる医療費の助成」が61.0%と最も多く、次いで「障がい者や難病患者の方(以下「障がい者等」という。)のための相談窓口」が56.1%、「年金や手当など扶助制度」が53.7%となっています。



【その他回答】

- ・医療的ケアコーディネーターが担当としてライフステージの変化にも対応して伴走してくれること
- ・市の職員の障がい者の生活の実状の理解

必要な福祉サービスなど、障がい者福祉についてご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答

(略)

回答

(略)

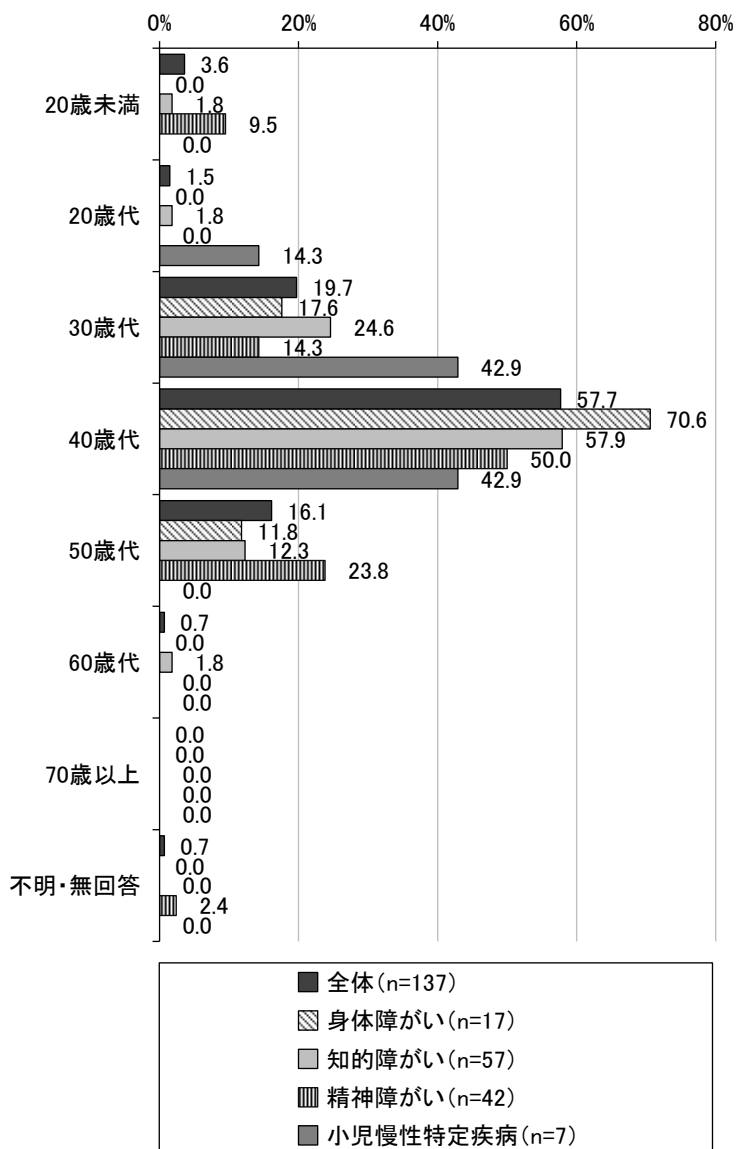
Ⅲ 障がい児（18歳未満の子どもがいるご家族）

Ⅰ ご家族・介助者の方ご自身のことについて

問1 あなたの年齢は。（1つに○）

ご家族又は介助者の年齢についてみると、「40歳代」が57.7%と最も多く、次いで「30歳代」が19.7%、「50歳代」が16.1%となっています。

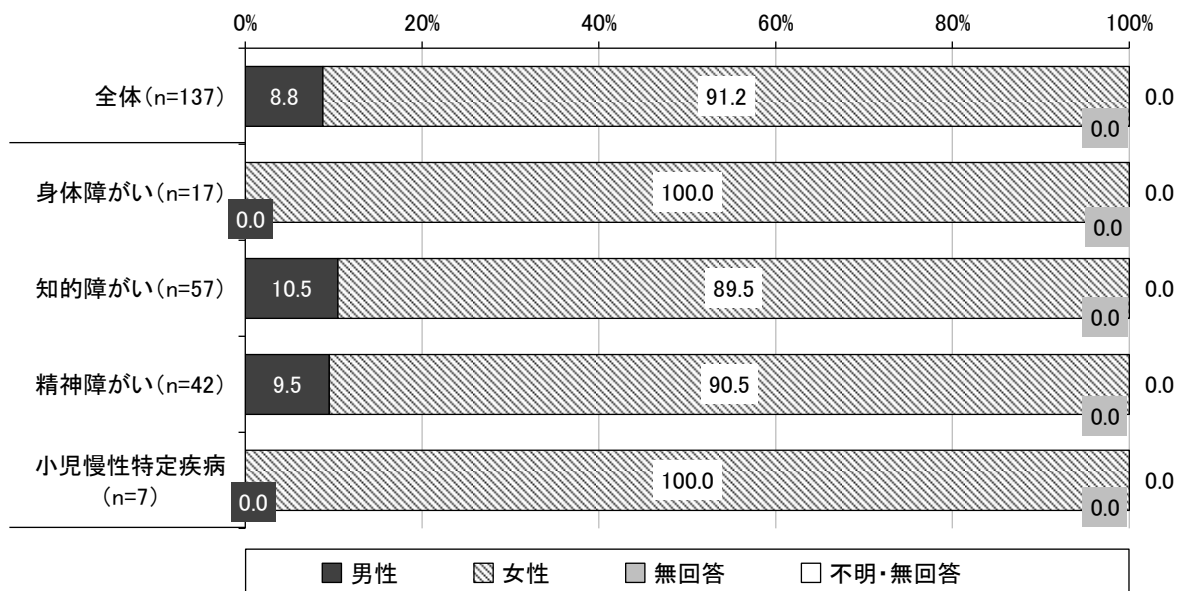
障がい種別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がいでは「40歳代」が最も多くなっています。



問2 あなたの性別は。(1つに○)

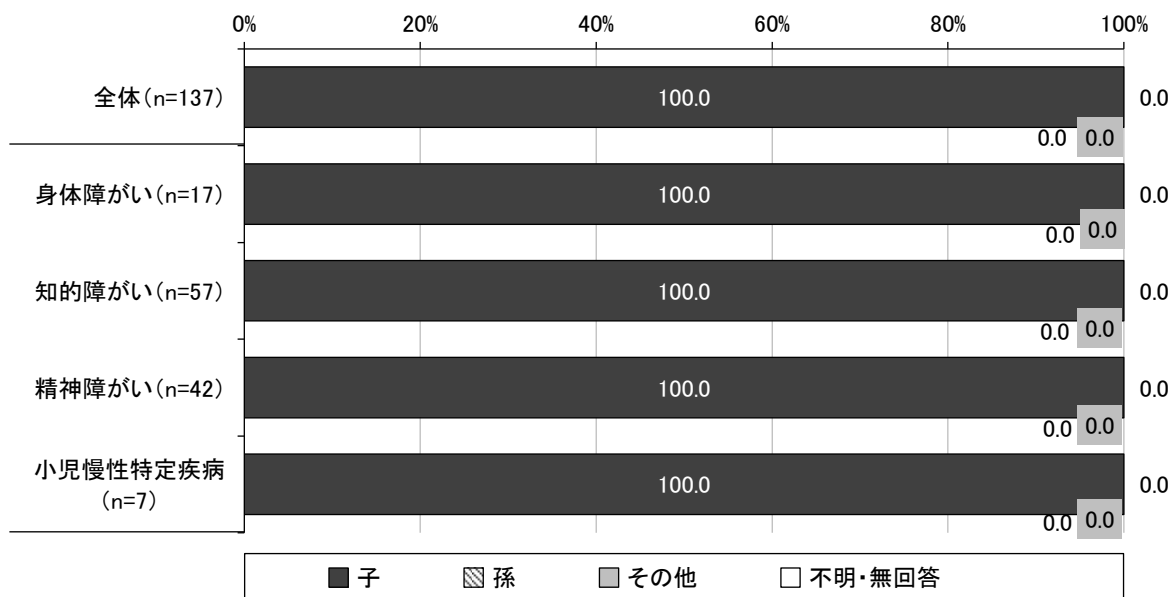
ご家族又は介助者の性別についてみると、「女性」が91.2%と最も多く、次いで「男性」が8.8%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「女性」が最も多くなっています。



問3 ご本人との関係はあなたから見てどれにあたりますか。(1つに○)

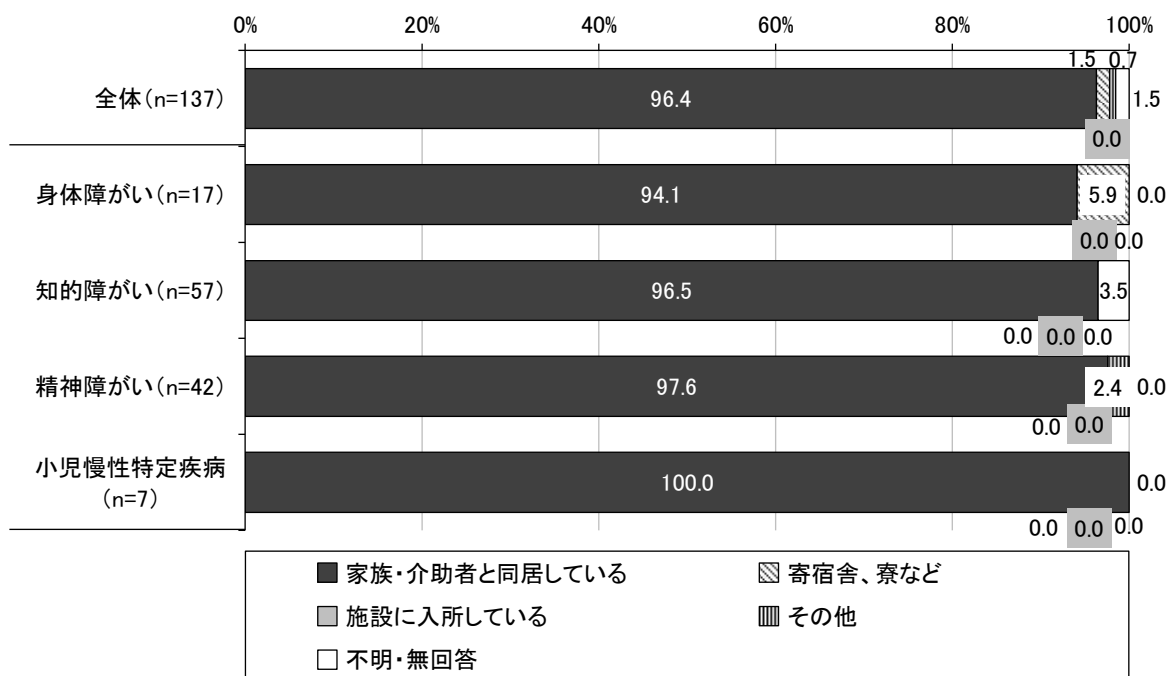
ご家族又は介助者から見た障がいのある方本人との関係についてみると、「子」が100.0%となっています。障がい種別にみると、いずれも「子」が最も多くなっています。



問4 ご本人は、どこで暮らしていますか。(1つに○)

障がいのある方本人は、どこで暮らしているかについてみると、「家族・介助者と同居している」が96.4%と最も多く、次いで「寄宿舍、寮など」が1.5%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「家族・介助者と同居している」が最も多くなっています。



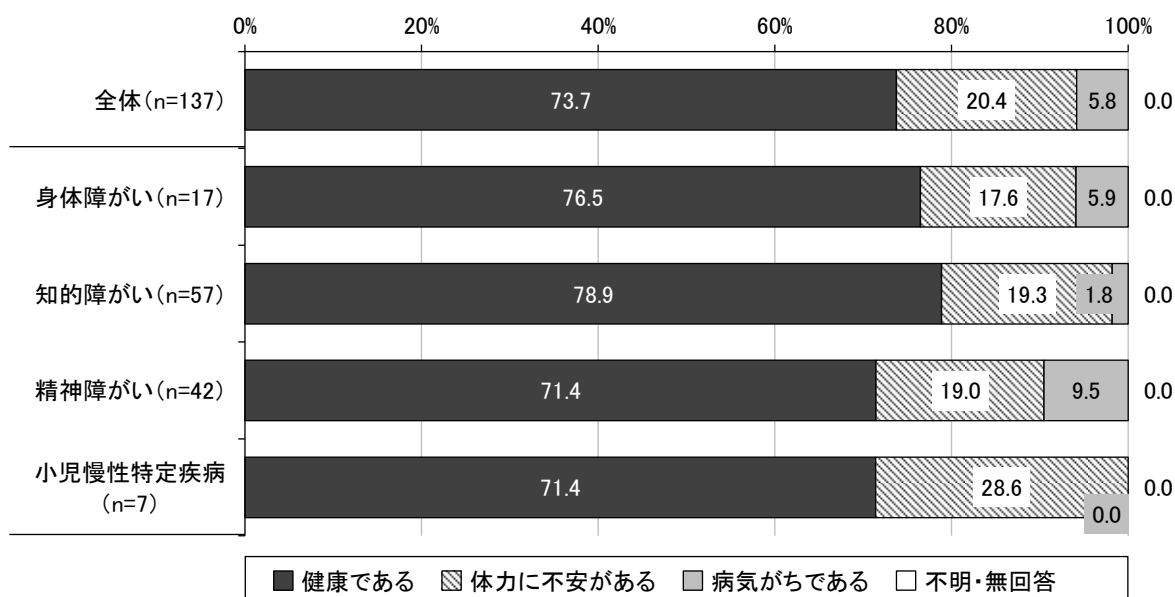
【その他回答】

(略)

問5 あなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

ご家族又は介助者の健康状態についてみると、「健康である」が73.7%と最も多く、次いで「体力に不安がある」が20.4%、「病気がちである」が5.8%となっています。

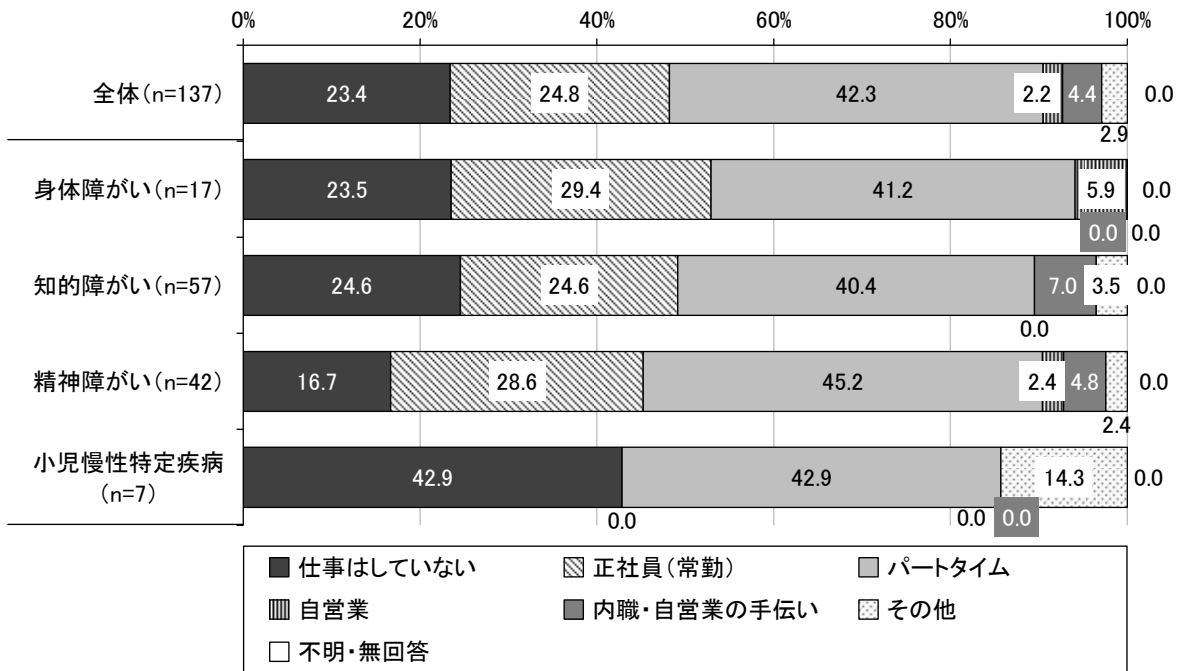
障がい種別にみると、いずれも「健康である」が最も多くなっています。



問6 あなたは現在、仕事をしていますか。(1つに○)

ご家族又は介助者の仕事の状況についてみると、「パートタイム」が42.3%と最も多く、次いで「正社員(常勤)」が24.8%、「仕事はしていない」が23.4%となっています。

障がい種別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がいでは「パートタイム」が最も多くなっています。



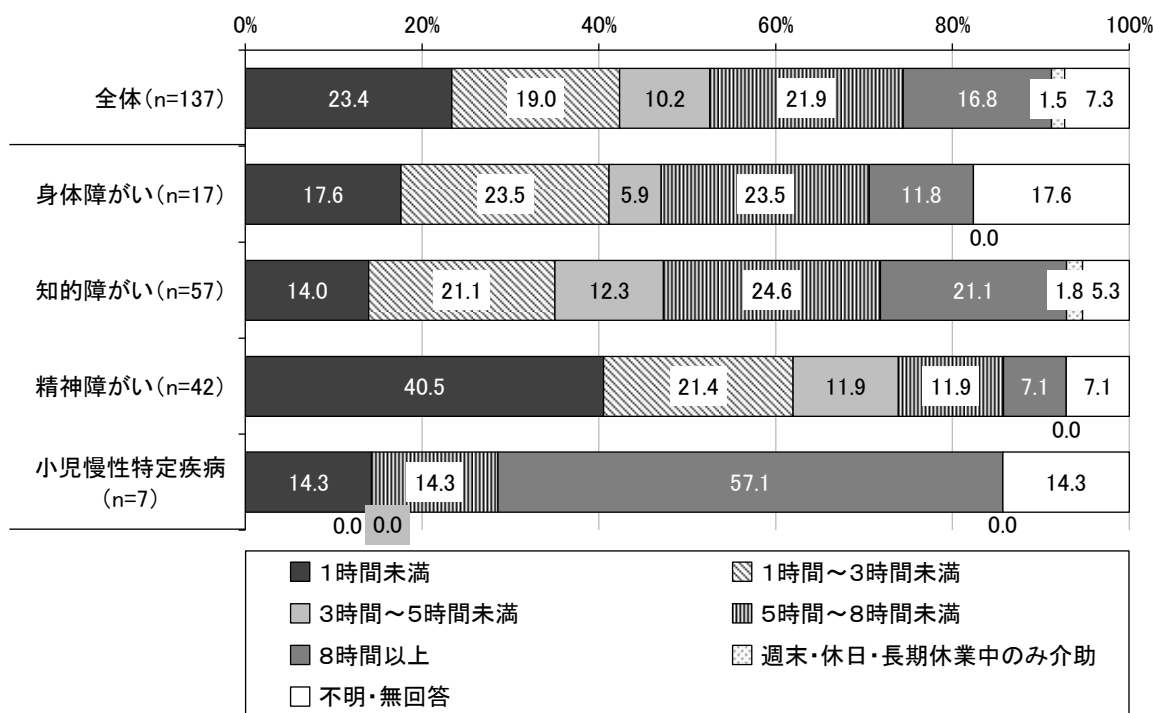
【その他回答】

(略)

問7 あなたが1日のうち介助をしている時間はどのくらいですか。(1つに○)

1日の介助時間についてみると、「1時間未満」が23.4%と最も多く、次いで「5時間～8時間未満」が21.9%、「1時間～3時間未満」が19.0%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「1時間～3時間未満」「5時間～8時間未満」、知的障がいでは「5時間～8時間未満」、精神障がいでは「1時間未満」が最も多くなっています。



問8 あなたが介助していて困ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助していて困ることについてみると、「精神的に疲れる」が 53.3%と最も多く、次いで「自分の時間が持てない」が 29.2%、「経済的な負担がかかる」が 28.5%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「腰痛など身体が疲れる」「精神的に疲れる」、知的障がいと精神障がいでは「精神的に疲れる」が最も多くなっています。

単位：%	腰痛など身体が疲れる	睡眠不足になりがち	精神的に疲れる	他の家族の世話ができない	買い物など外出ができない	仕事に出たいが出られない	自分の時間が持てない	経済的な負担がかかる	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=137)	18.2	19.0	53.3	13.9	16.1	25.5	29.2	28.5	5.8	21.9	3.6
身体障がい(n=17)	35.3	5.9	35.3	0.0	5.9	5.9	17.6	23.5	0.0	29.4	11.8
知的障がい(n=57)	10.5	17.5	56.1	15.8	21.1	31.6	28.1	21.1	7.0	22.8	1.8
精神障がい(n=42)	11.9	19.0	64.3	11.9	14.3	23.8	31.0	35.7	7.1	21.4	4.8
小児慢性特定疾病(n=7)	42.9	28.6	28.6	42.9	14.3	42.9	42.9	14.3	0.0	28.6	0.0

【その他回答】

- ・仕事をしているが、長い時間働けない
- ・本人の気持ちが 100%わからない
- ・本人の力が強くなってきている
- ・困るときは家族に相談する
- ・家事ができづらい
- ・将来への不安

問9 あなたがしている介助のなかで、家族以外の人に手伝ってもらったり、代わってもらえると助かるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助のなかで、家族以外の人に手伝ってもらったり、代わってもらえると助かるものについてみると、「特にない」が37.2%と最も多く、次いで「食事の支度」が20.4%、「留守番」が19.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がいでは「特にない」が最も多くなっています。

単位:%	食事の支度	掃除・洗濯	買い物	留守番	他の家族の世話	食事の介助	排せつの介助
全体(n=137)	20.4	16.1	15.3	19.7	8.0	5.8	5.8
身体障がい(n=17)	5.9	0.0	17.6	0.0	0.0	11.8	17.6
知的障がい(n=57)	19.3	21.1	17.5	28.1	8.8	1.8	3.5
精神障がい(n=42)	26.2	16.7	11.9	16.7	7.1	0.0	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	28.6	0.0	28.6	28.6	14.3	28.6	0.0

単位:%	着替えの介助	入浴の介助	室内移動の介助	外出の介助	特にない	その他	不明・無回答
全体(n=137)	3.6	10.9	2.9	19.0	37.2	8.8	2.9
身体障がい(n=17)	5.9	11.8	5.9	29.4	35.3	11.8	5.9
知的障がい(n=57)	1.8	8.8	0.0	24.6	31.6	8.8	3.5
精神障がい(n=42)	0.0	2.4	2.4	7.1	47.6	7.1	2.4
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0

【その他回答】

- ・学校への送迎（3）
- ・家族が休日などのとき、変わって送迎などしている
- ・子どもの心の（イライラ）対応
- ・私が仕事のときの食事作り
- ・本人の趣味の時間の介助
- ・薬の服用の手伝い
- ・本人の相手

問 10 あなたが何らかの理由で介助できなくなった場合はどうしますか。

(あてはまるものすべてに○)

何らかの理由で介助できなくなった場合の対処方法についてみると、「家族または親せきに協力を依頼する」が67.9%と最も多く、次いで「わからない」が22.6%、「通所サービスを利用する」が21.9%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「家族または親せきに協力を依頼する」が最も多くなっています。

単位：%	施設に入所させる	通所サービスを利用する	ヘルパーに援助を依頼する	家族または親せきに協力を依頼する	短期入所を利用する	市役所の職員に相談する	わからない	その他	不明・無回答
全体(n=137)	15.3	21.9	9.5	67.9	14.6	19.7	22.6	1.5	0.0
身体障がい(n=17)	5.9	35.3	17.6	88.2	29.4	11.8	0.0	0.0	0.0
知的障がい(n=57)	19.3	26.3	10.5	61.4	17.5	22.8	24.6	1.8	0.0
精神障がい(n=42)	14.3	11.9	9.5	66.7	4.8	23.8	28.6	0.0	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	28.6	0.0	85.7	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0

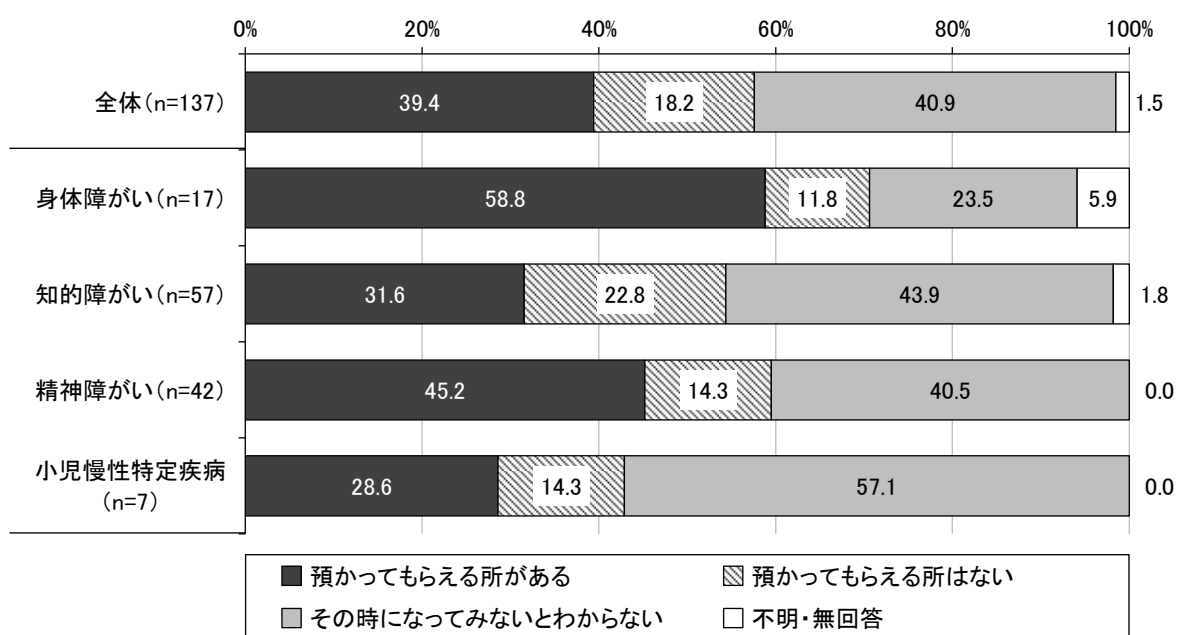
【その他回答】

- ・何ができるのかわからない

問 11 あなたが入院や親類の葬儀などで急に介助できなくなった場合に、ご本人を預かってもらえる所がありますか。(1つに○)

入院や親類の葬儀などで急に介助できなくなった場合に、障がいのある方本人を預かってもらえる所はあるかについてみると、「その時になってみないとわからない」が 40.9%と最も多く、次いで「預かってもらえる所がある」が 39.4%、「預かってもらえる所はない」が 18.2%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと精神障がいでは「預かってもらえる所はない」、それ以外の区分では「その時になってみないとわからない」が最も多くなっています。



問 12 ご本人のことで困ったときはだれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人のことで困ったときの相談先についてみると、「家族、親せき」が 71.5%と最も多く、次いで「医療関係者」が 51.1%、「友人、知人」が 29.2%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「家族、親せき」が最も多くなっています。

単位：%	障がい者総合相談窓口の相談	家族、親せき	友人、知人	計画相談の担当の相談支援専門員	医療関係者	福祉施設の職員	市役所などの行政職員	ホームヘルパー
全体(n=137)	13.1	71.5	29.2	21.9	51.1	15.3	15.3	0.7
身体障がい(n=17)	11.8	88.2	29.4	35.3	41.2	17.6	5.9	0.0
知的障がい(n=57)	14.0	64.9	28.1	19.3	43.9	15.8	19.3	0.0
精神障がい(n=42)	14.3	69.0	21.4	11.9	61.9	7.1	16.7	2.4
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	85.7	42.9	42.9	42.9	42.9	14.3	0.0

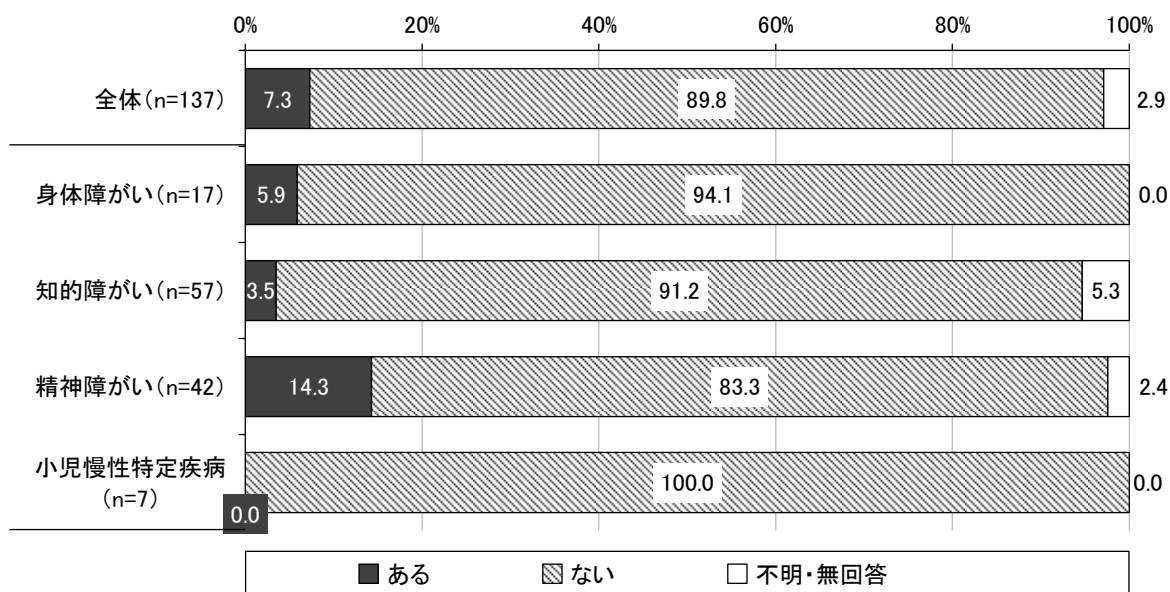
単位：%	民生委員、自治会長	身体・知的の障害者相談員	障害者団体の役員・会員、家族会	佐賀県難病相談支援センターの相談員	だれもない	その他	不明・無回答
全体(n=137)	0.0	2.9	1.5	0.7	5.1	10.2	0.7
身体障がい(n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
知的障がい(n=57)	0.0	3.5	1.8	0.0	1.8	8.8	1.8
精神障がい(n=42)	0.0	4.8	2.4	0.0	14.3	9.5	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0

【その他回答】

- ・放課後デイサービスの先生
- ・アナザープラネット
- ・保育園の先生
- ・視覚情報交流センター
- ・よくわからない
- ・学校の先生

問 13 あなたは障がい者総合相談窓口に相談したことがありますか。(1つに○)

障がい者総合相談窓口への相談経験についてみると、「ある」が7.3%、「ない」が89.8%となっています。障がい種別にみると、いずれも「ない」が多くなっています。

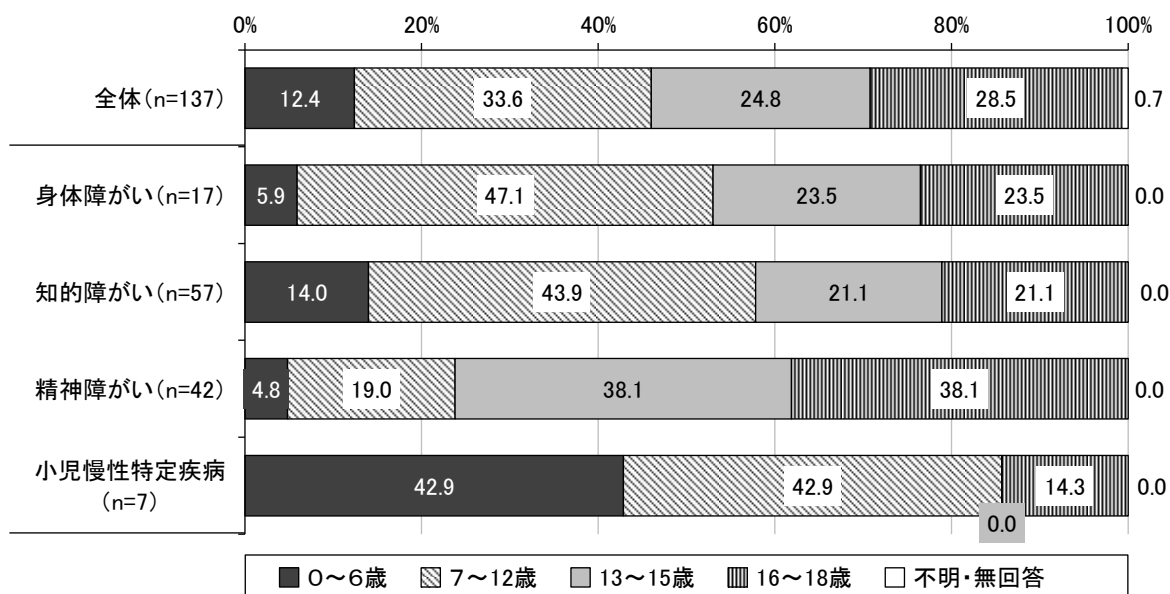


2 ご本人のことについて

問 14 ご本人の年齢は。(1つに○)

障がいのある方本人の年齢についてみると、「7～12歳」が33.6%と最も多く、次いで「16～18歳」が28.5%、「13～15歳」が24.8%となっています。

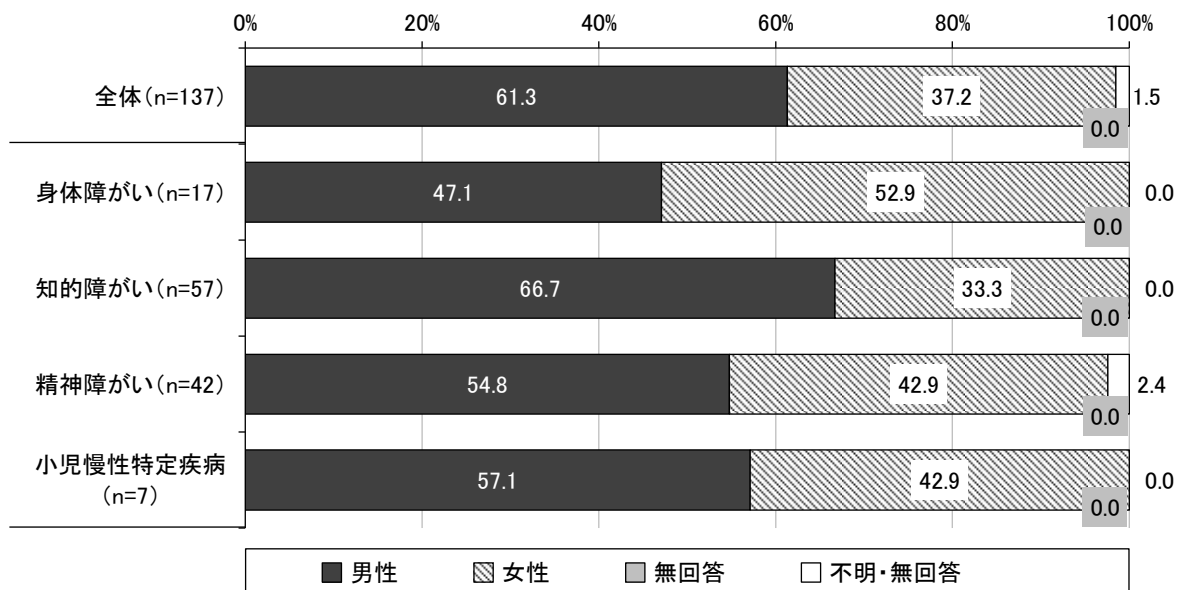
障がい種別に見ると、身体障がいと知的障がいでは「7～12歳」、精神障がいでは「13～15歳」「16～18歳」が最も多くなっています。



問 15 ご本人の性別は。(1つに○)

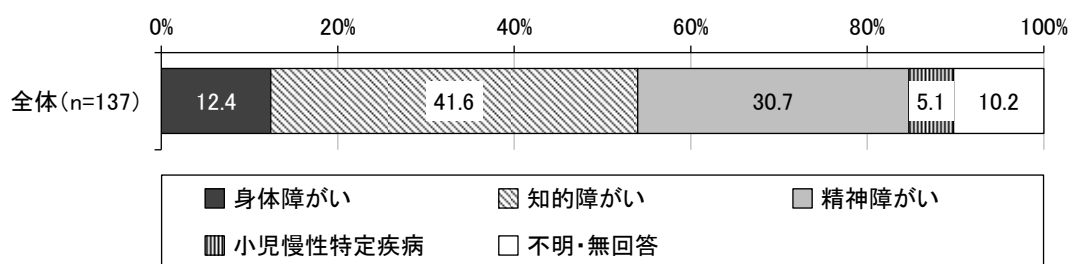
障がいのある方本人の性別についてみると、「男性」が61.3%と最も多く、次いで「女性」が37.2%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「女性」、それ以外の区分では「男性」が最も多くなっています。



問 16 ご本人の主な障がいは何ですか。(1つに○)

障がいのある方本人の主な障がいについてみると、「知的障がい」が 41.6%と最も多く、次いで「精神障がい」が 30.7%、「身体障がい」が 12.4%となっています。



問 17 ご本人は、障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人の障害者手帳の所持状況についてみると、「療育手帳」が 47.4%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が 26.3%、「身体障害者手帳」が 25.5%となっています。

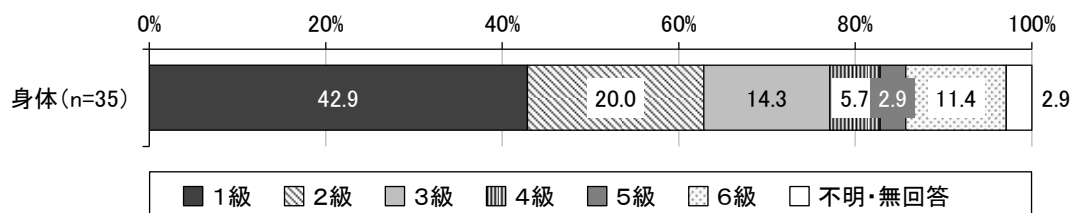
障がい種別にみると、身体障がいでは「身体障害者手帳」、知的障がいでは「療育手帳」、精神障がいでは「精神障害者保健福祉手帳」が最も多くなっています。

単位: %	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳なし	小児慢性特定疾病	不明・無回答
全体(n=137)	25.5	47.4	26.3	12.4	8.0	1.5
身体障がい(n=17)	100.0	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0
知的障がい(n=57)	7.0	96.5	8.8	3.5	0.0	0.0
精神障がい(n=42)	2.4	0.0	71.4	26.2	2.4	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	100.0	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0

(問 17 で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問 17: 1-1 身体障害者手帳所持者の等級

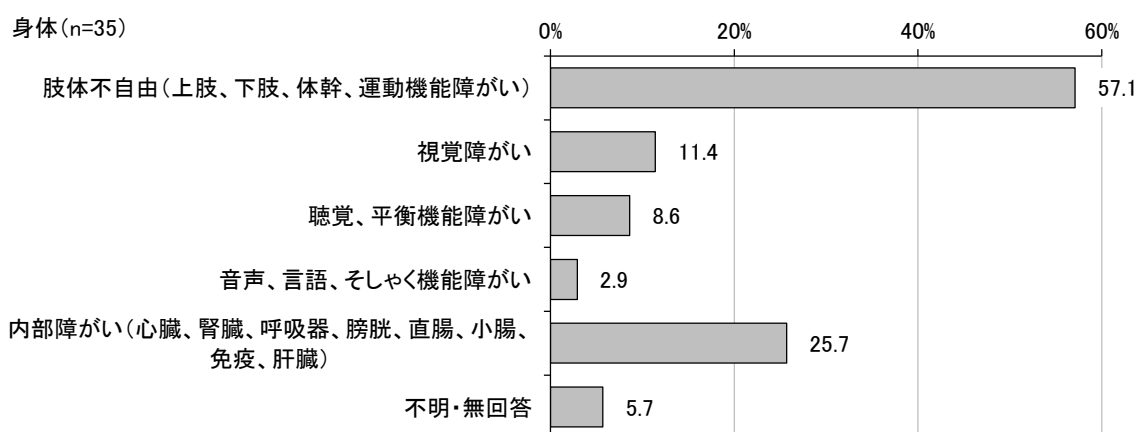
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が 42.9%と最も多く、次いで「2級」が 20.0%、「3級」が 14.3%となっています。



(問 17 で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問 17: 1-2 身体障害者手帳所持者の障がい種別

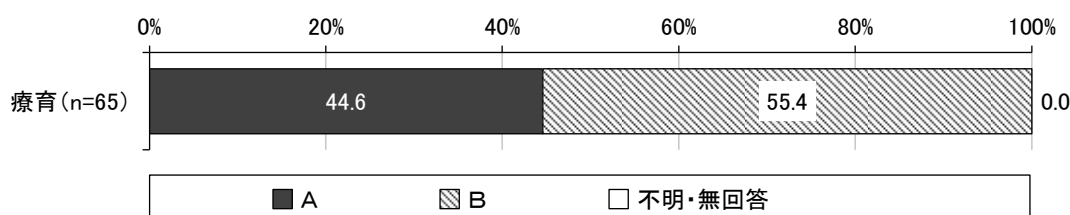
身体障害者手帳所持者の障がい種別についてみると、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障がい)」が 57.1%と最も多く、次いで「内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫、肝臓)」が 25.7%、「視覚障がい」が 11.4%となっています。



(問 17 で「療育手帳」を選んだ方へ)

問 17: 2 療育手帳所持者の判定

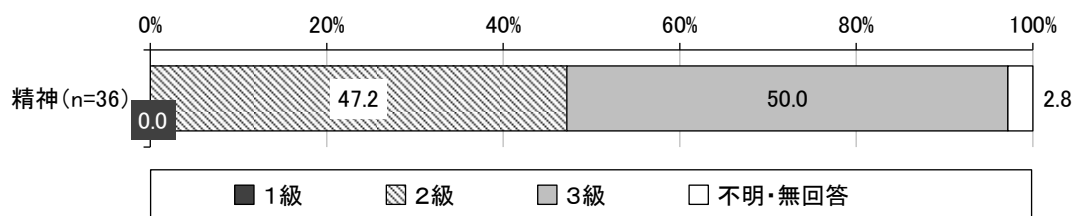
療育手帳所持者の判定についてみると、「B」が 55.4%、「A」が 44.6%となっています。



(問 17 で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問 17: 3-1 精神障害者保健福祉手帳所持者の等級

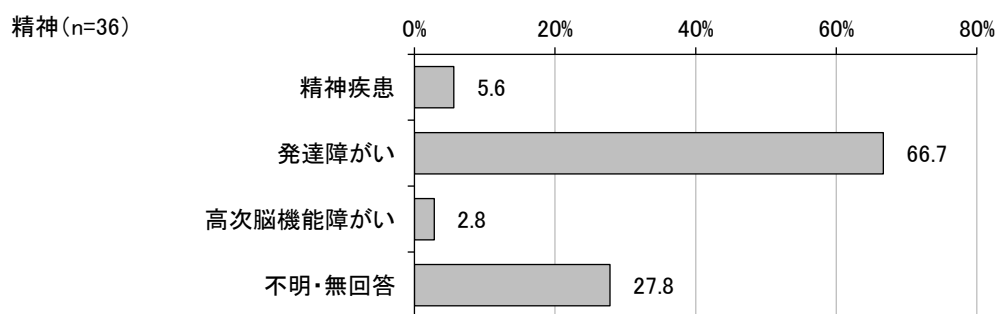
精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、「3級」が 50.0%と最も多く、次いで「2級」が 47.2%となっています。



(問 17 で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問 17: 3-2 精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別

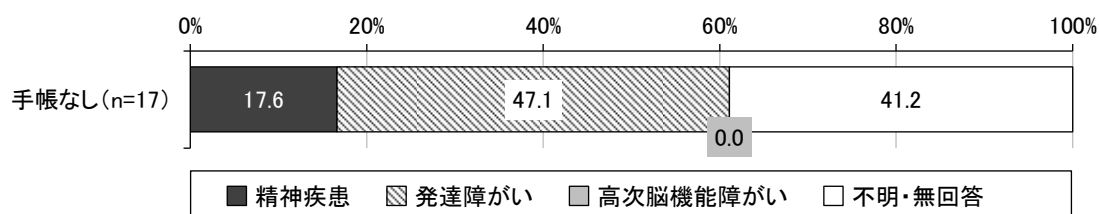
精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別についてみると、「発達障がい」が 66.7%と最も多く、次いで「精神疾患」が 5.6%、「高次脳機能障がい」が 2.8%となっています。



(問 17 で「手帳なし」を選んだ方へ)

問 17: 4 障害者手帳を所持していない方の診断名

障害者手帳を所持していない方の診断名についてみると、「発達障がい」が 47.1%と最も多く、次いで「精神疾患」が 17.6%となっています。



問 18 ご本人は医療的ケアが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人は医療ケアが必要かについてみると、「経管栄養(胃ろう)」が 3.6%、「酸素療法(在宅酸素)」「モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)」が 2.9%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「導尿」、精神障がいでは「中心静脈栄養」が最も多くなっています。

単位: %	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法(在宅酸素)	人工呼吸器	気管切開の処置	経管栄養(胃ろう)
全体(n=137)	0.0	2.2	0.0	0.7	2.9	0.7	0.7	3.6
身体障がい(n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
知的障がい(n=57)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障がい(n=42)	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9

単位: %	たん吸引	疼痛の管理(を和らげるための服薬等の痛み)	褥瘡(床ずれ)の処置	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)	導尿	その他	不明・無回答
全体(n=137)	2.2	0.7	0.7	2.9	2.2	11.7	77.4
身体障がい(n=17)	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	76.5
知的障がい(n=57)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	86.0
精神障がい(n=42)	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	11.9	78.6
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6

【その他回答】

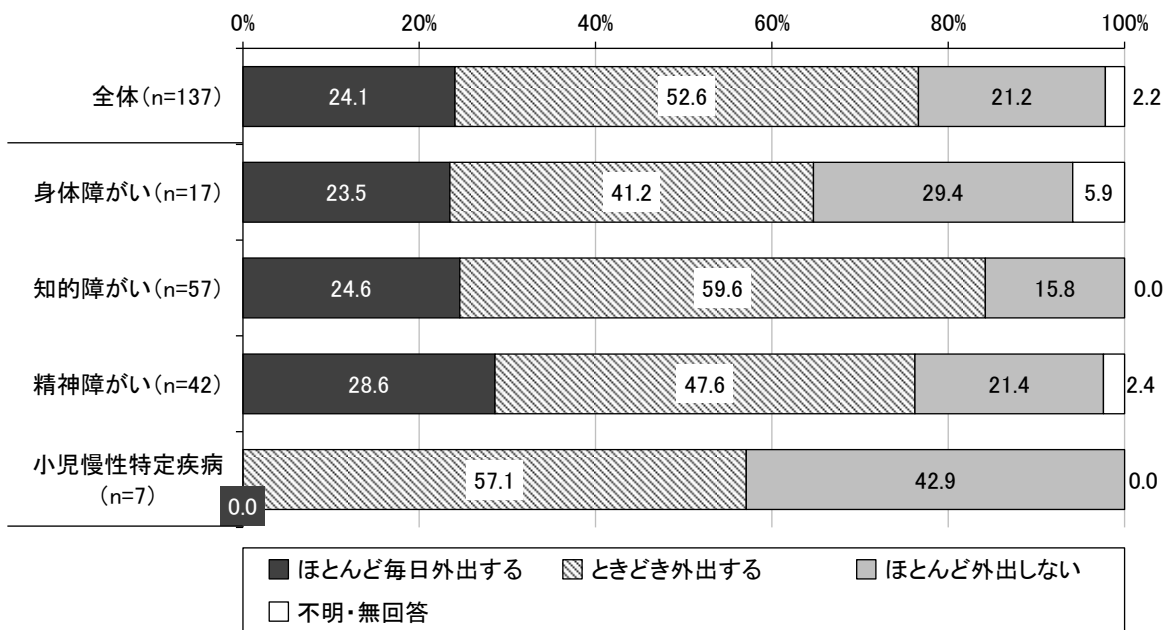
- ・クリニックにてカウンセリング
- ・成長ホルモン自己注射他
- ・年1回の健診、検査
- ・けいれん時の対応
- ・療育が必要
- ・服薬

3 移動について

問 19 ご本人は、通学・通所以外で、普段どれくらい外出しますか。(1つに○)

障がいのある方本人の、通勤・通学・通所以外での普段の外出頻度についてみると、「ときどき外出する」が52.6%と最も多く、次いで「ほとんど毎日外出する」が24.1%、「ほとんど外出しない」が21.2%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「ときどき外出する」が最も多くなっています。



問 20 その時の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時の移動手段についてみると、「家族・友人が車で送迎」が76.6%と最も多く、次いで「自転車・バイク」が28.5%、「徒歩」が24.8%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「自転車・バイク」、それ以外の区分では「家族・友人が車で送迎」が最も多くなっています。

単位：%	自分で車を運転	家族・友人が車で送迎	自転車・バイク	バス	タクシー	車いす・電動車いす	電車	徒歩	移送サービス（福祉有償運送など）	その他	不明・無回答
全体(n=137)	2.9	76.6	28.5	12.4	3.6	4.4	5.1	24.8	2.9	2.2	2.2
身体障がい(n=17)	0.0	82.4	23.5	23.5	5.9	17.6	11.8	35.3	5.9	0.0	11.8
知的障がい(n=57)	3.5	86.0	14.0	3.5	1.8	0.0	1.8	21.1	1.8	3.5	0.0
精神障がい(n=42)	2.4	57.1	59.5	23.8	4.8	0.0	7.1	33.3	4.8	2.4	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0

【その他回答】

- ・常に親が同伴
- ・一緒に出かける

問 21 ご本人は移動する際に、どのようなことに不便や困難を感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人が移動する際に、どのようなことに不便や困難を感じるかについてみると、「不便や困難は感じない」が 42.3%と最も多く、次いで「付き添ってくれる人がいない」が 16.8%、「障がい者用の駐車場が少ない」が 11.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「歩道や公共施設に階段や段差が多い」、知的障がいと精神障がいでは「不便や困難は感じない」が最も多くなっています。

単位:%	不便や困難は感じない	付き添ってくれる人がいない	移動の手段が少ない	障がい者用の駐車場が少ない	歩道や公共施設に階段や段差が多い	車いすで利用できる交通機関が少ない	エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない	視覚障害者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない	道路に自転車などの障害物が多い	音声案内、点字表記、手話通訳、要約筆記などのコミュニケーション支援がない	その他	不明・無回答
全体(n=137)	42.3	16.8	10.2	11.7	8.0	4.4	2.2	1.5	5.8	2.9	10.9	18.2
身体障がい(n=17)	29.4	17.6	5.9	29.4	35.3	17.6	0.0	11.8	17.6	17.6	5.9	17.6
知的障がい(n=57)	38.6	24.6	12.3	5.3	5.3	1.8	0.0	0.0	5.3	1.8	14.0	15.8
精神障がい(n=42)	57.1	7.1	11.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	4.8	26.2
小児慢性特定疾病(n=7)	28.6	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0

【その他回答】

(略)

問 22 ご本人がバス、タクシー、電車などの移動手段を利用して、困ったのはどんなときですか。
 (あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人が、バス、タクシー、電車などの移動手段を利用して困ったのはどんなときかについてみると、「特に困ることはない」が 25.5%と最も多く、次いで「運賃を払うとき」が 19.7%、「乗り場を探すとき」が 19.0%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「乗り降りするとき」「特に困ることはない」、知的障がいでは「乗り場を探すとき」「乗り場で待つとき」、精神障がいでは「特に困ることはない」が最も多くなっています。

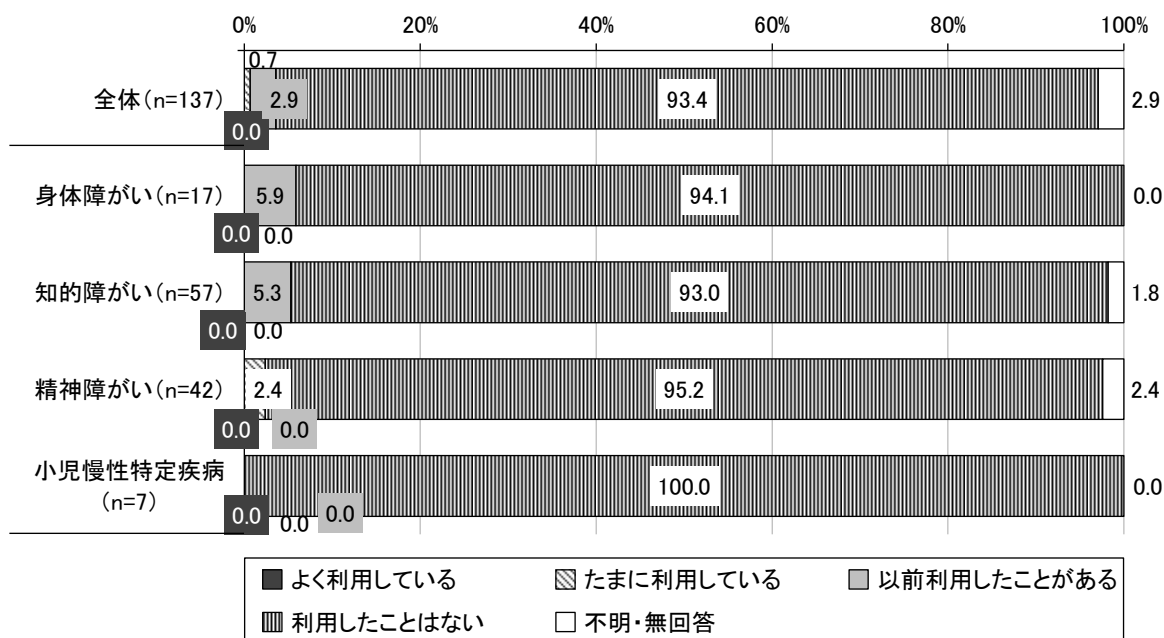
単位：%	乗り場を探すとき	乗り場で待つとき	乗り降りするとき	運賃を払うとき	示 乗 乗 場 や 車 内 の 設 備 ・ 案 内 表	シ 乗 務 員 の 応 対 、 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン	そ の 他	特 に 困 る こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=137)	19.0	18.2	18.2	19.7	16.8	18.2	18.2	25.5	19.0
身体障がい(n=17)	11.8	11.8	35.3	11.8	17.6	5.9	11.8	35.3	5.9
知的障がい(n=57)	28.1	28.1	19.3	26.3	17.5	26.3	17.5	17.5	24.6
精神障がい(n=42)	16.7	14.3	11.9	16.7	16.7	19.0	21.4	31.0	16.7
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6

【その他回答】

(略)

問 23 ご本人は「移動支援」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

障がいのある方本人の「移動支援」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が93.4%と最も多く、次いで「以前利用したことがある」が2.9%、「たまに利用している」が0.7%となっています。障がい種別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も多くなっています。



(移動支援を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

問 24 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

移動支援のサービスを頻繁に利用しない理由についてみると、「なかなか予約が取れないから」が40.0%となっています。

単位: %	他に から 付き 添っ てく れる 人が い	利 用 目 的 が 合 わ な か っ た か ら	な か な か 予 約 が 取 れ な い か ら	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=5)	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0
身体障がい (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
知的障がい (n=3)	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0
精神障がい (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

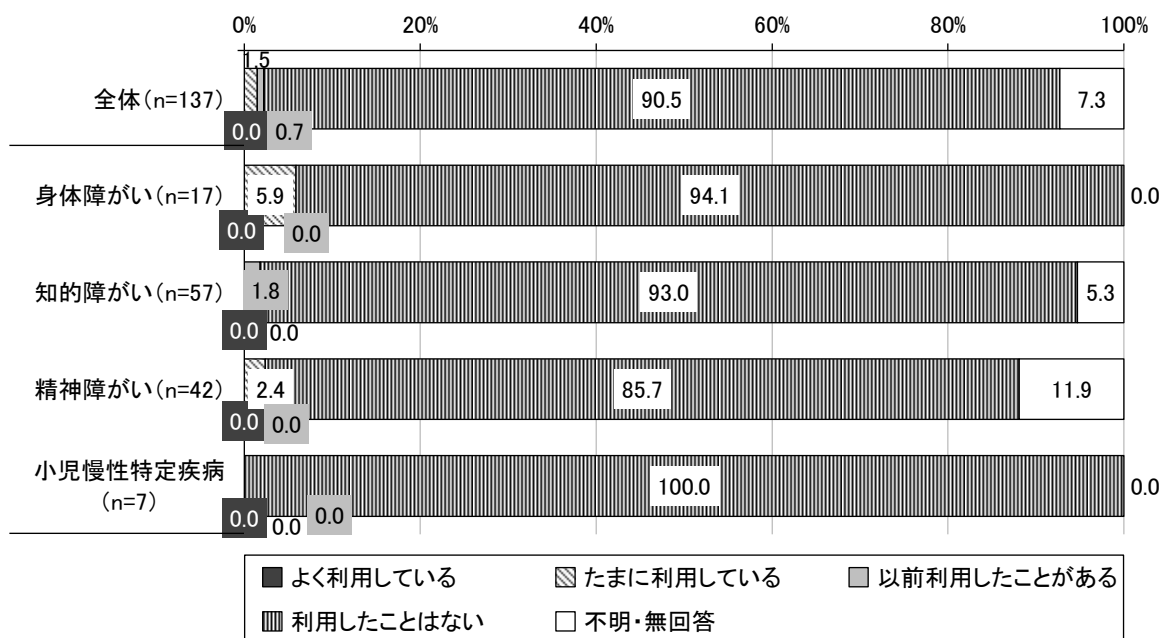
【その他回答】

・女性のスタッフさんが不足していたため

・特に必要がなかった

問 25 ご本人は「同行援護」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

障がいのある方本人の「同行援護」のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が90.5%と最も多く、次いで「たまに利用している」が1.5%、「以前利用したことがある」が0.7%となっています。障がい種別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も多くなっています。



(同行援護を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

問 26 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

同行支援のサービスを頻繁に利用しない理由についてみると、「なかなか予約が取れないから」が33.3%となっています。

単位: %	他に から 付き 添っ てく れる 人が い	利 用 目 的 が 合 わ な か っ た か ら	な か な か 予 約 が 取 れ な い か ら	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=3)	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0
身体障がい (n=1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
知的障がい (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
精神障がい (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

※小児慢性特定疾病は (n=0) のため省略しています。

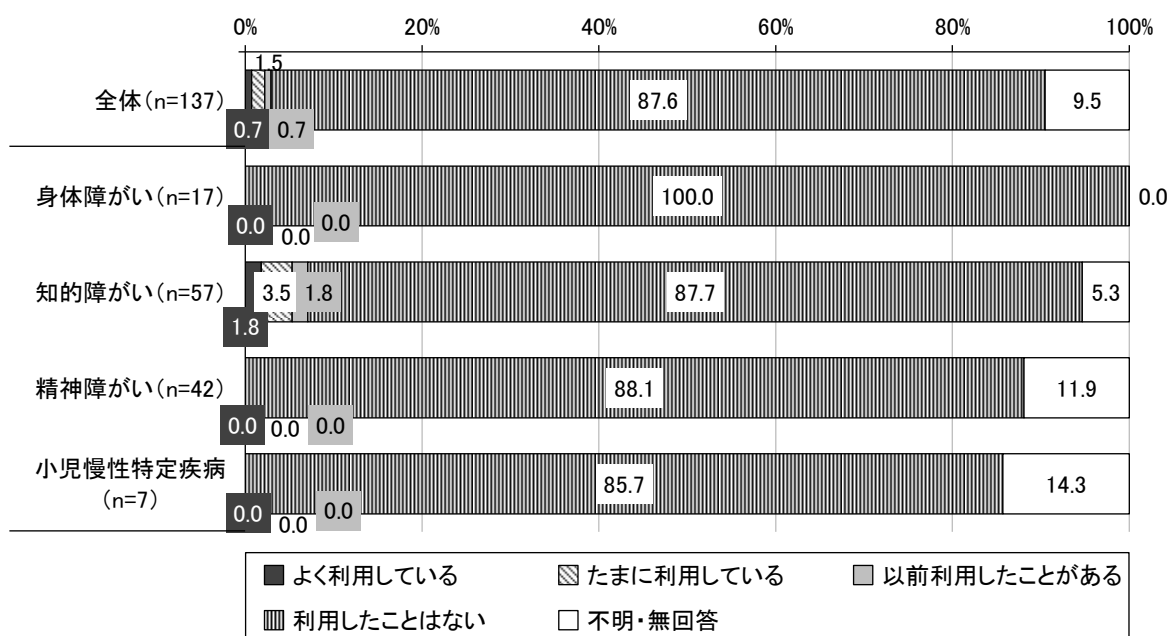
【その他回答】

- ・トイレ (外出先) の介助で同性介護の考え方の事務所さんとヘルパーさんが限られる

問 27 ご本人は「行動援護」のサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

障がいのある方本人の行動援護のサービスを利用した経験についてみると、「利用したことはない」が87.6%と最も多く、次いで「たまに利用している」が1.5%、「よく利用している」「以前利用したことがある」が0.7%となっています。

障がい種別に見ると、いずれも「利用したことはない」が最も多くなっています。



(行動援護を「たまに利用している」「以前利用したことがある」と答えた方へ)

問 28 頻繁に利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

行動援護のサービスを頻繁に利用しない理由についてみると、「なかなか予約が取れないから」が66.7%となっています。

単位: %	他にから付き添ってくれる人がいる	利用目的が合わなかったから	なかなか予約が取れないから	その他	不明・無回答
全体 (n=3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
知的障がい (n=3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0

※身体障がい、精神障がい、小児慢性特定疾病は (n=0) のため省略しています。

4 情報コミュニケーションについて

問 29 ご本人は、普段どのような方法で情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人は、普段どのような方法で情報の取得や、他者とコミュニケーションを取っているかについてみると、「音声」が 59.9%と最も多く、次いで「写真・絵図・絵文字・記号」が 16.8%、「身振り、手振り」が 14.6%となっています。

障がい種別に見ると、いずれも「音声」が最も多くなっています。

単位：%	音声	手話	要約筆記	筆談	字幕	音訳	点字 (指点字を含む)	拡大文字	代読	代筆
全体(n=137)	59.9	1.5	2.9	2.9	5.8	0.7	0.7	0.7	2.9	1.5
身体障がい(n=17)	58.8	11.8	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0
知的障がい(n=57)	73.7	0.0	3.5	3.5	8.8	0.0	0.0	0.0	5.3	3.5
精神障がい(n=42)	57.1	0.0	4.8	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：%	平易な表現	写真・絵図・絵文字・記号	身振り、手振り	口文字	透明文字盤	代替音声(喉頭摘出などにより使用するもの)	情報支援機器やアプリケーションの利用(音声読み上げなど)	その他	不明・無回答
全体(n=137)	10.9	16.8	14.6	0.7	0.0	0.0	5.8	6.6	21.2
身体障がい(n=17)	11.8	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	23.5
知的障がい(n=57)	14.0	29.8	28.1	0.0	0.0	0.0	8.8	3.5	5.3
精神障がい(n=42)	7.1	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	7.1	28.6
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9

【その他回答】

- ・ボディサイン、見体物の受け渡し
- ・視線、発声など表情とか
- ・スマホや YouTube など
- ・インターネット
- ・会話

問 30 ご本人は、情報を取得したり、他者とコミュニケーションを取るときに、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人が、情報の取得や他者とコミュニケーションを取るときに困っていることについてみると、「外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある」が 42.3%と最も多く、次いで「重要な情報や危険に気づかないことがある」「介助者がいないと判断できないことがある」が 35.8%、「特に困ることはない」が 26.3%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「特に困ることはない」、知的障がいでは「外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある」「介助者がいないと判断できないことがある」、精神障がいでは「外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある」が最も多くなっています。

単位：%	必要なコミュニケーション手段が使いにくい	入ってくる情報量が少ない	重要な情報や危険に気づかない	通訳者や介助者の確保	外見から障がいかわからないので誤解を招くことがある	介助者がいないと判断できない	情報支援機器の購入や利用に費用がかかる	特に困ることはない	その他	不明・無回答
全体(n=137)	15.3	15.3	35.8	4.4	42.3	35.8	3.6	26.3	5.8	10.2
身体障がい(n=17)	11.8	23.5	29.4	5.9	5.9	29.4	0.0	58.8	5.9	5.9
知的障がい(n=57)	24.6	21.1	50.9	7.0	56.1	56.1	7.0	10.5	7.0	8.8
精神障がい(n=42)	7.1	11.9	33.3	2.4	54.8	19.0	2.4	31.0	4.8	7.1
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3

【その他回答】

- ・本人が困っているか分からない
- ・言葉でのやり取りができないので、本人としっかり長くつきあった人しか、なかなかやり取り、本人の言いたいことを汲み取れない
- ・学習障がいがあり、漢字が難しいとわからないことがある
- ・言葉が拙いので、伝わりにくい
- ・伝える力、理解力が弱い
- ・理解が不十分

問 31 情報の取得や他者とのコミュニケーションを円滑に行うためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の取得や他者とのコミュニケーションを円滑に行うために必要だと思うことについてみると、「障がいの特性への理解啓発」が59.9%と最も多く、次いで「支援者の育成」が42.3%、「多様なコミュニケーション手段を利用するための環境整備」が32.1%となっています。

障がい種別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がいでは「障がいの特性への理解啓発」が最も多くなっています。

単位：%	障がいの特性への理解啓発	さまざまな媒体での情報発信	支援者の育成	障がいの場 交流のある人 とない人との	多様な利用する ための環境 整備手	多様なコミュニケーション 手段の活用 （アプリ、 Web会議、 クラウド 等）	情報支援機器 やアプリの 講習会の開 催	その他	不明・無回答
全体(n=137)	59.9	22.6	42.3	24.8	32.1	14.6	2.9	22.6	
身体障がい(n=17)	82.4	47.1	47.1	58.8	35.3	17.6	5.9	5.9	
知的障がい(n=57)	64.9	22.8	49.1	24.6	36.8	14.0	1.8	15.8	
精神障がい(n=42)	59.5	21.4	45.2	16.7	31.0	21.4	4.8	23.8	
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	57.1	

【その他回答】

- ・学校教育、社会教育の場で、正しい障害の理解をすすめる。例) 特別な専門知識よりも、声掛けが助かる（一般の人に対して求めること）
- ・障がい児でも通えるよう保育園、幼稚園の先生の育成。市・県はそれに対して支援する。今は共働きの時代。佐賀はなっていない
- ・わからない

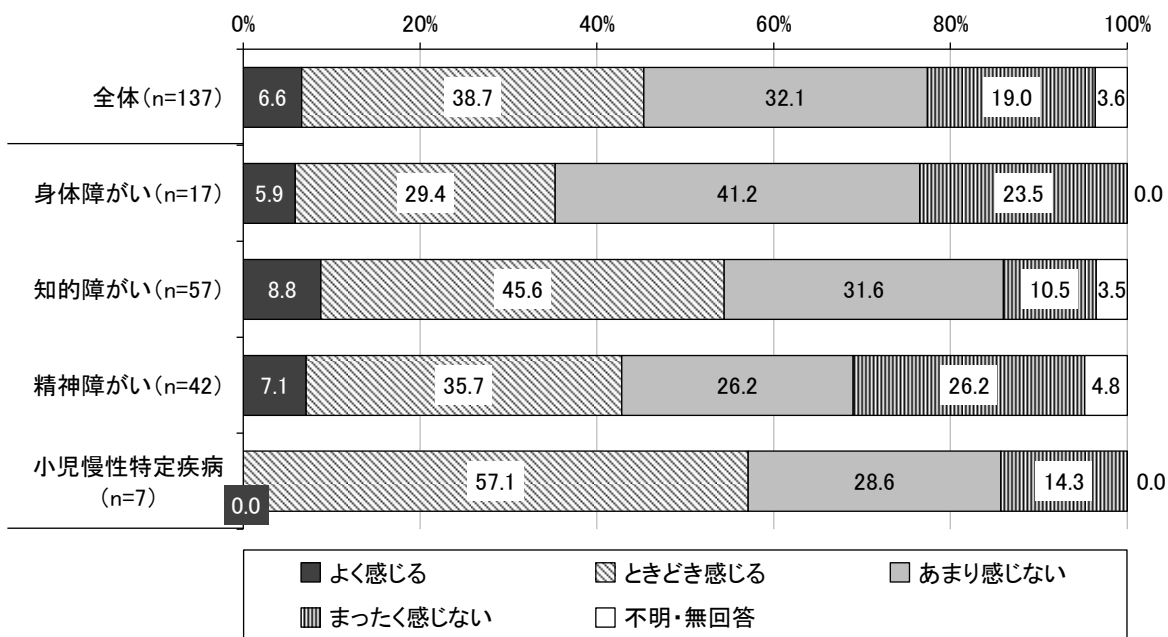
5 障がい者への差別や偏見について

問 32 普段の生活の中で、ご本人が差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。

(1つに○)

障害のある方本人が、普段の生活の中で差別や偏見、疎外感を感じることがあるかについてみると、「ときどき感じる」が 38.7%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 32.1%、「まったく感じない」が 19.0%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「あまり感じない」、それ以外の区分では「ときどき感じる」が最も多くなっています。



(問 32 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 33 その時、どのような場所で、差別や偏見、疎外感を感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

差別や偏見、疎外感を感じた場所についてみると、「学校」が 46.8%と最も多く、次いで「商業施設」が 43.5%、「公共施設」が 41.9%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいでは「商業施設」、精神障がいでは「学校」が最も多くなっています。

単位：%	保育所・幼稚園	学校	公共交通機関	公共施設	商業施設	医療機関	インターネット	家族・親せきの集まり	その他	不明・無回答
全体 (n=62)	16.1	46.8	30.6	41.9	43.5	21.0	3.2	30.6	4.8	0.0
身体障がい (n=6)	0.0	16.7	33.3	66.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
知的障がい (n=31)	12.9	41.9	35.5	51.6	54.8	29.0	6.5	35.5	0.0	0.0
精神障がい (n=18)	22.2	72.2	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	38.9	16.7	0.0
小児慢性特定疾病 (n=4)	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

(問32で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問34 その時、だれに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

疎外感等を感じた時の相談先についてみると、「家族、親せき」が43.5%と最も多く、次いで「だれにも相談していない」が35.5%、「学校の先生」が25.8%となっています。

障がい種別に見ると、知的障がいと精神障がいでは「家族、親せき」が最も多くなっています。

単位：%	市役所の職員	福祉施設の職員	家族、親せき	友人、知人	学校の先生	職場の上司、同僚	障がい者総合相談窓口	インターネット	その他	だれにも相談していない	不明・無回答
全体(n=62)	3.2	4.8	43.5	24.2	25.8	4.8	1.6	3.2	1.6	35.5	0.0
身体障がい(n=6)	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
知的障がい(n=31)	3.2	6.5	45.2	32.3	29.0	9.7	0.0	0.0	0.0	25.8	0.0
精神障がい(n=18)	5.6	5.6	55.6	16.7	27.8	0.0	5.6	11.1	5.6	33.3	0.0
小児慢性特定疾病(n=4)	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

【その他回答】

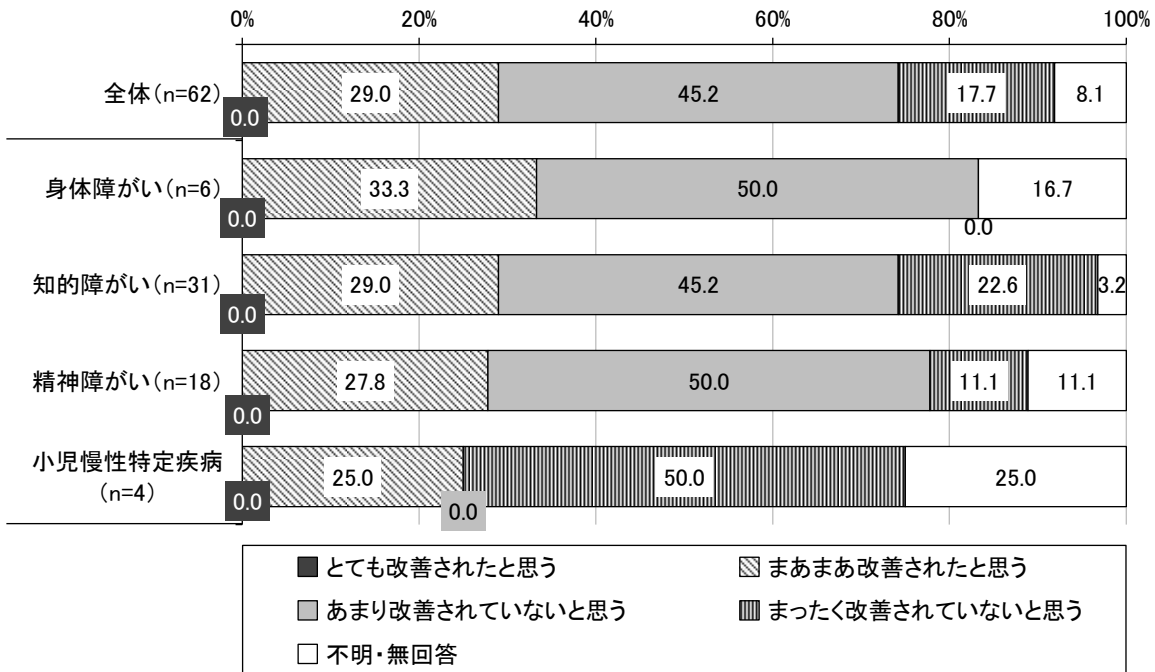
- ・担当医

(問 32 で「よく感じる」「ときどき感じる」と回答された方へ)

問 35 ご本人に対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。(1つに○)

障がいのある方自身への差別や偏見は改善されてきたと思うかについてみると、「あまり改善されていないと思う」が 45.2%と最も多く、次いで「まあまあ改善されたと思う」が 29.0%、「まったく改善されていないと思う」が 17.7%となっています。

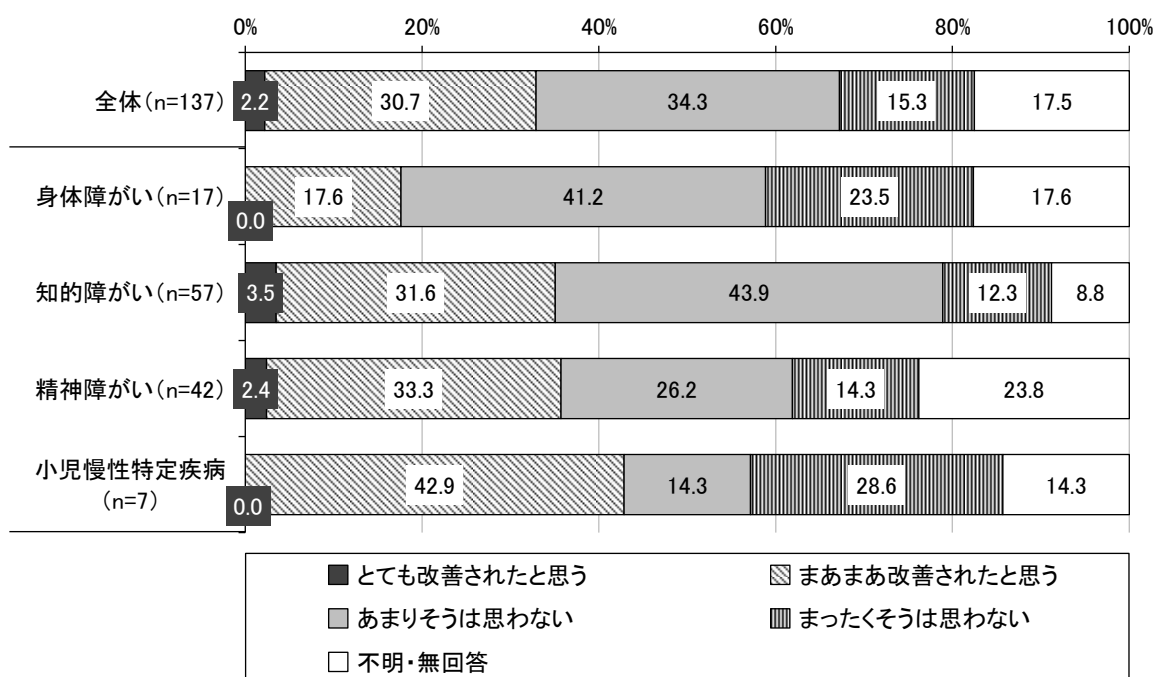
障がい種別に見ると、知的障がいと精神障がいでは「あまり改善されていないと思う」が最も多くなっています。



問 36 あなたは普段の生活の中で、ご本人がこれまで困っていたことが改善されてきたと思いますか。(1つに○)

障がいのある方本人が、普段の生活の中で、これまで困っていたことが改善されてきたと思うかについてみると、「あまりそうは思わない」が34.3%と最も多く、次いで「まあまあ改善されたと思う」が30.7%、「まったくそうは思わない」が15.3%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「あまりそうは思わない」、精神障がいでは「まあまあ改善されたと思う」が最も多くなっています。



問 37 お互いを理解して助け合える社会、困りごとが少なくなる社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

お互いを理解して助け合える社会、困りごとが少なくなる社会にするために、必要だと思うことについてみると、「こどもの頃からの教育」が76.6%と最も多く、次いで「障がい者の雇用の場の拡大」が57.7%、「理解啓発の促進」が54.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「理解啓発の促進」「こどもの頃からの教育」、それ以外の区分では「こどもの頃からの教育」が最も多くなっています。

単位：%	理解啓発の促進	障がいの場 交流の場 の理解を深めるための	こどもの頃からの教育	心のバリアフリーを推進する	障がい者の雇用の場の拡大	その他	不明・無回答
全体(n=137)	54.7	37.2	76.6	39.4	57.7	3.6	3.6
身体障がい(n=17)	76.5	70.6	76.5	64.7	58.8	5.9	0.0
知的障がい(n=57)	52.6	38.6	77.2	26.3	64.9	5.3	1.8
精神障がい(n=42)	59.5	31.0	83.3	42.9	61.9	2.4	4.8
小児慢性特定疾病(n=7)	42.9	28.6	85.7	57.1	14.3	0.0	0.0

【その他回答】

- ・まずは市役所職員の障がいのある人へ理解しようとする教育、対応をとる。佐賀市役所は全くなっていない。「わかりかねます」の一言で終わらせられた
- ・障がい者向けサービスの充実と多様化
- ・興味がない人でも見えるようにすること
- ・新聞への枠を取って連載など
- ・実際体験してみしてほしい
- ・教育者への教育
- ・健常者の教育

6 非常災害時の対応について

問 38 ご本人は地震などの災害が起きた時に、どのようにして情報を取得しますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人の、災害発生時の情報の取得方法についてみると、「家族からの連絡」が 63.5%と最も多く、次いで「テレビ」が 56.2%、「携帯メール」が 37.2%となっています。

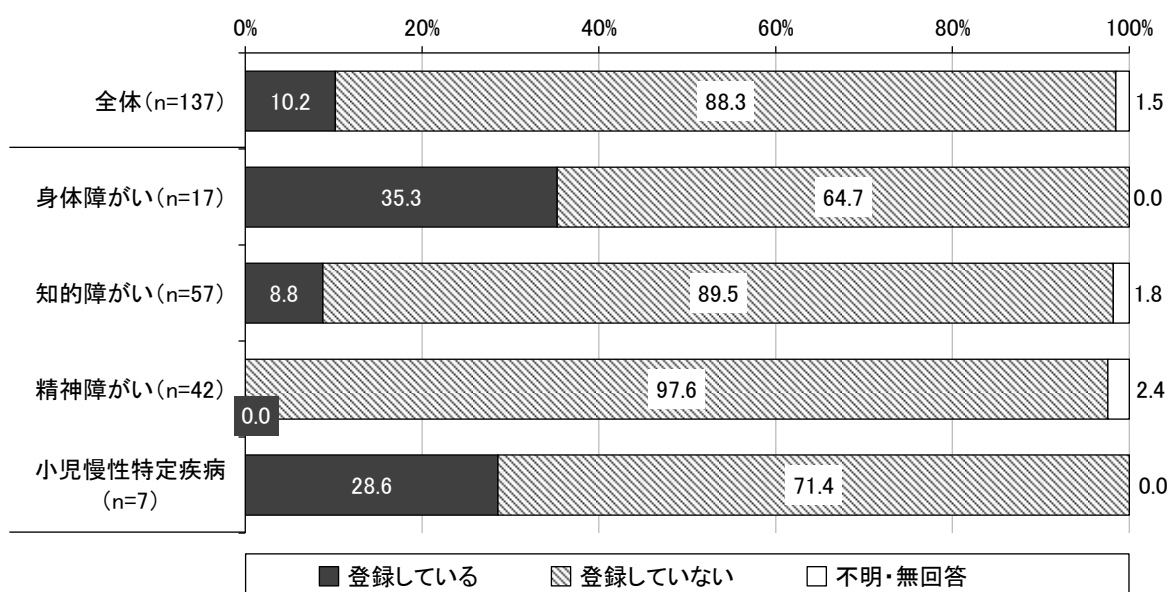
障がい種別に見ると、身体障がい、知的障がい、精神障がいでは「家族からの連絡」が最も多くなっています。

単位：%	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	家族からの連絡	近所の人からの連絡	民生委員や自治会長からの連絡	佐賀市緊急防災情報さがんメール	防災無線（屋外放送）	その他	何もない	不明・無回答
全体(n=137)	56.2	5.1	36.5	37.2	63.5	1.5	2.2	13.9	2.9	0.7	6.6	2.2
身体障がい(n=17)	47.1	5.9	41.2	41.2	70.6	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9
知的障がい(n=57)	52.6	1.8	14.0	28.1	66.7	0.0	0.0	7.0	1.8	0.0	10.5	0.0
精神障がい(n=42)	69.0	11.9	64.3	47.6	73.8	0.0	2.4	23.8	7.1	0.0	0.0	2.4
小児慢性特定疾病(n=7)	57.1	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3

問 39 ご本人は「避難行動要支援者名簿」の登録をしていますか。(1つに○)

障がいのある方本人の、避難行動要支援者名簿の登録状況についてみると、「登録している」が 10.2%、「登録していない」が 88.3%となっています。

障がい種別に見ると、いずれも「登録していない」が多くなっています。

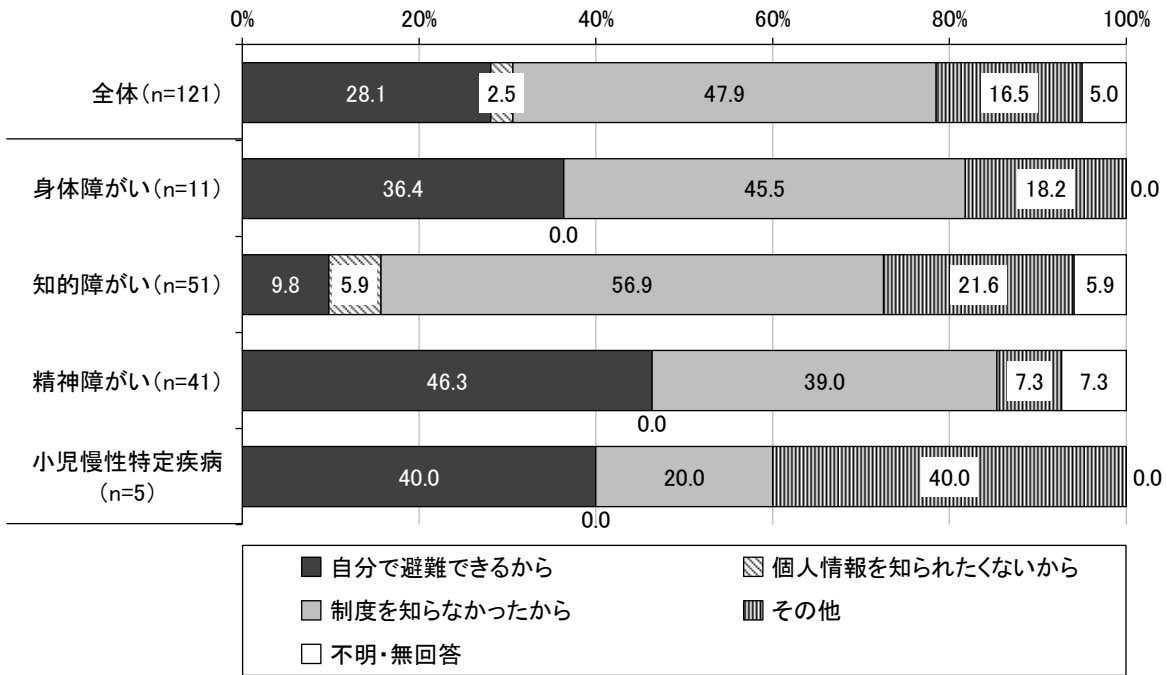


(問 39 で「登録していない」と答えた方へ)

問 40 理由を教えてください。(1つに○)

避難行動要支援者名簿に登録していない理由についてみると、「制度を知らなかったから」が 47.9%と最も多く、次いで「自分で避難できるから」が 28.1%、「個人情報を知られたくないから」が 2.5%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「制度を知らなかったから」、精神障がいでは「自分で避難できるから」が最も多くなっています。



【その他回答】

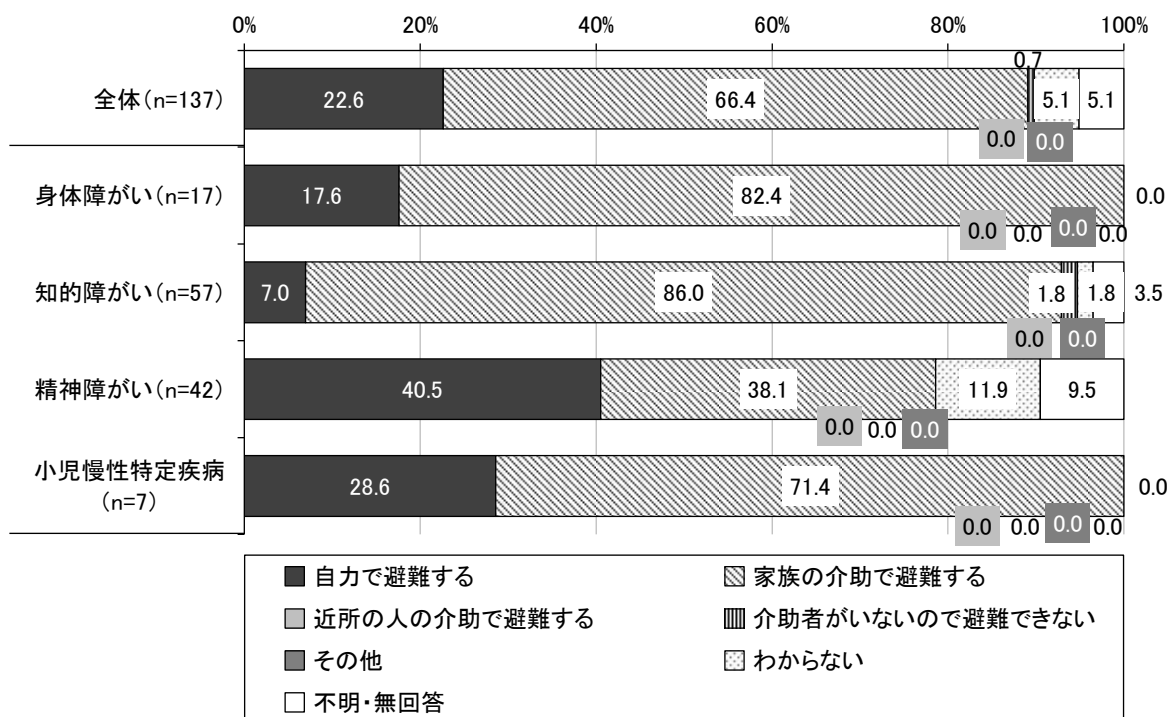
- ・ひとりでいることができないから
- ・制度があることは知っているが、当てはまるかわからない
- ・知っていたがどこに行けばいいかわからなかった
- ・メリットがよくわからない
- ・家族、保護者がいるから

問 41 もし大規模な災害が起きたとして、ご本人はどのようにして避難所へ行きますか。

(1つに○)

障害のある方本人の、大規模な災害発生時の避難所へ行く方法についてみると、「家族の介助で避難する」が66.4%と最も多く、次いで「自力で避難する」が22.6%、「わからない」が5.1%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「自力で避難する」、それ以外の区分では「家族の介助で避難する」が最も多くなっています。



問 42 ご本人に関して、避難先で特に必要な配慮などがあれば教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人に関する避難先で特に必要な配慮についてみると、「仕切り、個室」が 60.6%と最も多く、次いで「声かけ」が 51.1%、「食料・飲料水の配給」が 44.5%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「障がいに配慮したトイレ」「食料・飲料水の配給」、知的障がいと精神障がいでは「仕切り、個室」が最も多くなっています。

単位：%	情報収集	移動などの介助	障がいに配慮したトイレ	声かけ	仕切り、個室	食料・飲料水の配給	意思疎通支援（手話、要約筆記、筆談など）	人工呼吸器などの電源確保	機材など その他必要な配慮、設備、資	不明・無回答
全体(n=137)	24.8	22.6	21.2	51.1	60.6	44.5	5.1	5.1	12.4	9.5
身体障がい(n=17)	35.3	35.3	64.7	52.9	58.8	64.7	0.0	5.9	23.5	11.8
知的障がい(n=57)	19.3	19.3	22.8	63.2	68.4	54.4	10.5	1.8	7.0	3.5
精神障がい(n=42)	38.1	11.9	2.4	52.4	59.5	28.6	2.4	2.4	0.0	14.3
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	42.9	14.3	0.0	42.9	57.1	0.0	14.3	57.1	0.0

【その他回答】

- ・薬のこと
- ・夜声を出しても大丈夫な環境
- ・病院との連絡をとる手段
- ・発作時の緊急搬送
- ・酸素濃縮器
- ・食べ物のこと
- ・紙おむつ、尿とりパッド
- ・導尿用カテーテル等
- ・薬の時間の声掛け

問 43 災害が起きた時に、不安なことをご記入ください。(自由記述)

(略)

(略)

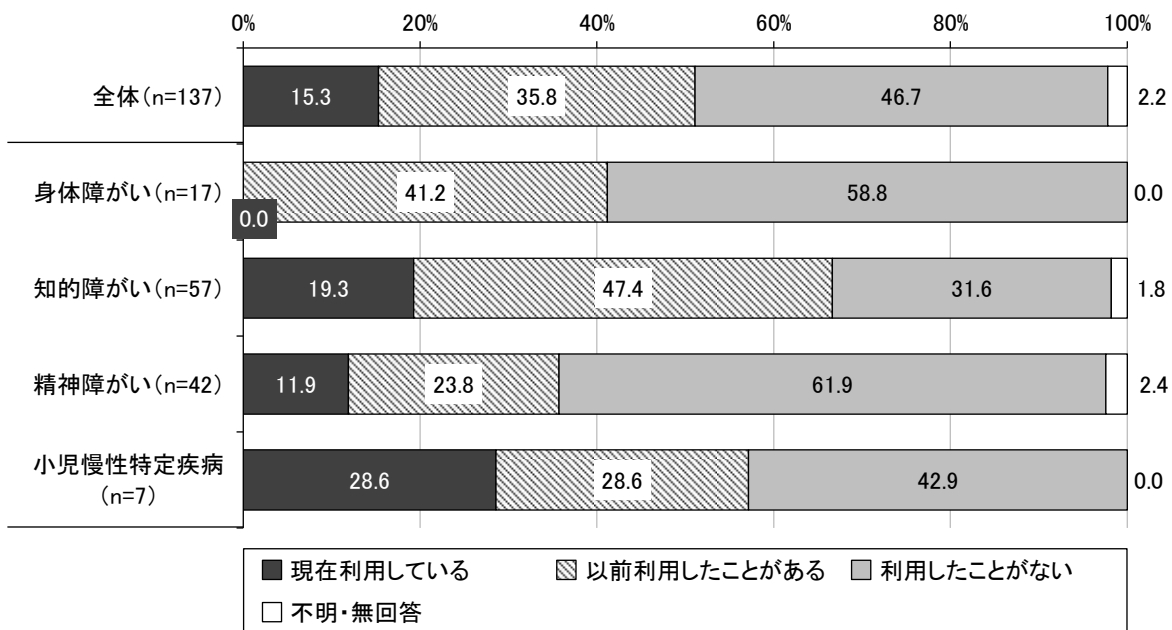
(略)

7 福祉サービスについて

問 44 ご本人は、児童発達支援を利用したことがありますか。(1つに○)

障がいのある方本人が児童発達支援を利用した経験についてみると、「利用したことがない」が46.7%と最も多く、次いで「以前利用したことがある」が35.8%、「現在利用している」が15.3%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいでは「以前利用したことがある」、それ以外の区分では「利用したことがない」が最も多くなっています。

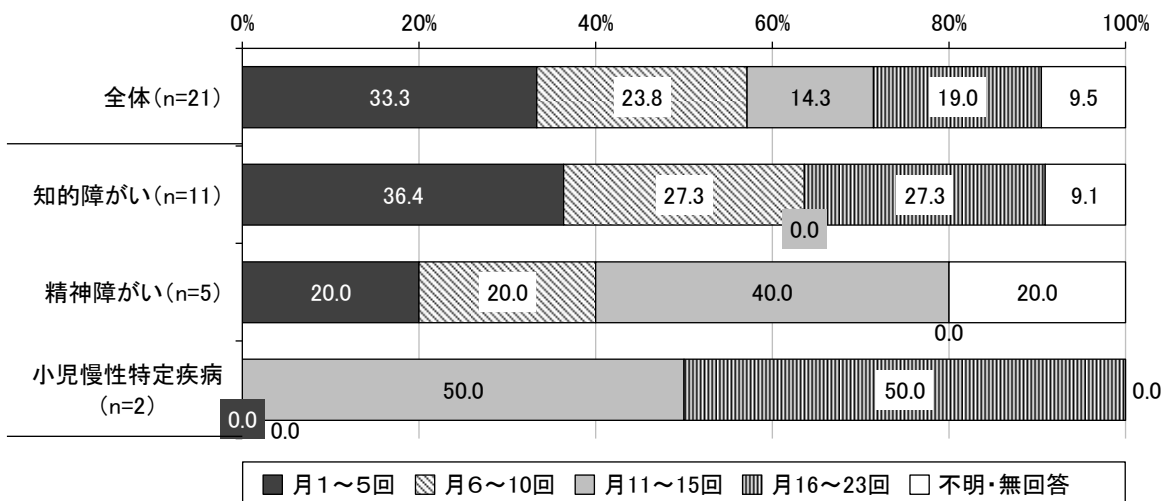


(問 44 で「現在利用している」と答えた方へ)

問 45 1か月のうち何回ぐらい利用していますか。(1つに○)

児童発達支援の1か月の利用頻度についてみると、「月1~5回」が33.3%と最も多く、次いで「月6~10回」が23.8%、「月16~23回」が19.0%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいでは「月1~5回」が最も多くなっています。

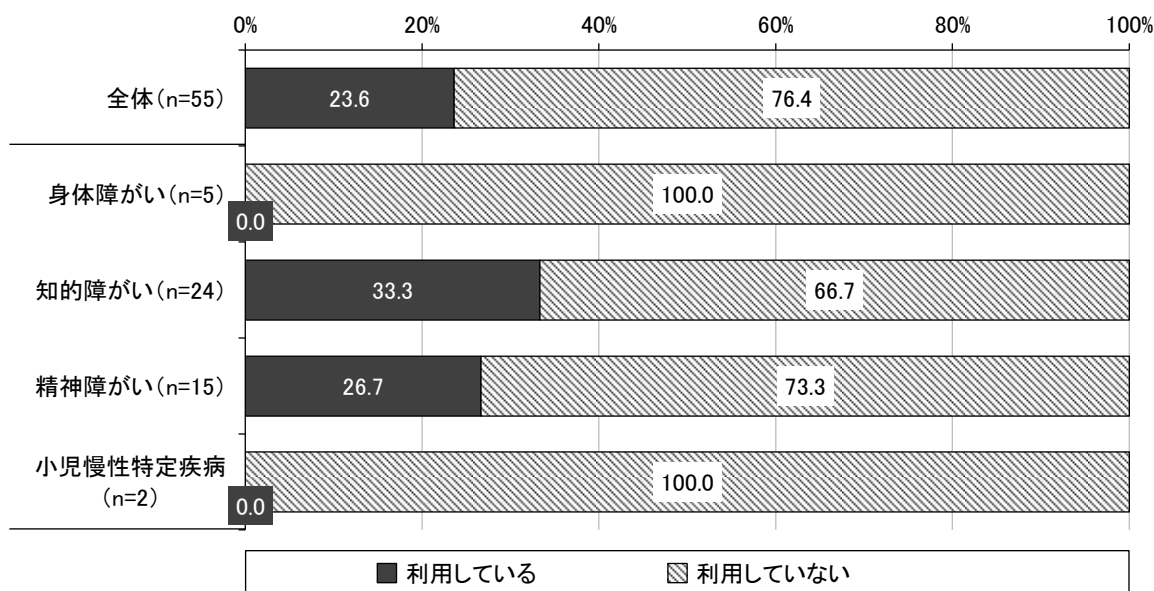


※身体障がいは (n=0) のため省略しています。

問 46 長期休業中に児童発達支援を利用していますか。(1つに○)

長期休業中の児童発達支援の利用状況についてみると、「利用している」が 23.6%、「利用していない」が 76.4%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいと精神障がいでは「利用していない」が多くなっています。

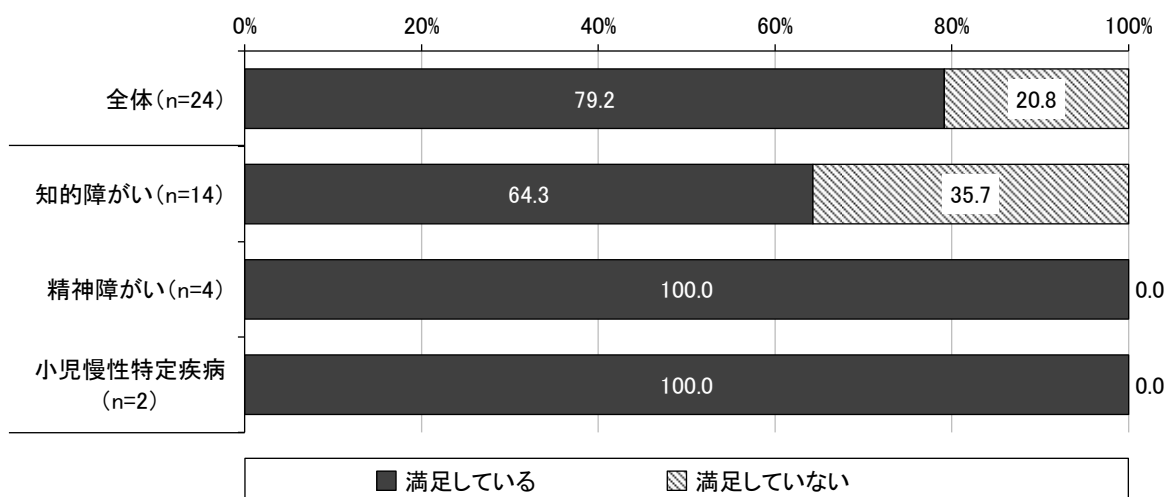


※不明・無回答を除いて集計

問 47 現在利用している児童発達支援に満足していますか。(1つに○)

現在利用している児童発達支援の満足度についてみると、「満足している」が 79.2%、「満足していない」が 20.8%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいでは「満足している」が多くなっています。



※身体障がいは (n=0) のため省略しています。

※不明・無回答を除いて集計

(問47で「満足していない」と答えた方へ)

問48 どういうところに不満を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

児童発達支援を不満に感じるところについてみると、「希望する曜日に予約が取れない」が40.0%と最も多くなっています。

単位：%	希望する曜日に予約が取れない	事業所が遠い	支援の内容に不満がある	支援員の対応に不満がある	その他	不明・無回答
全体(n=5)	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
知的障がい(n=5)	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

※身体障がい、精神障がい、小児慢性特定疾病は(n=0)のため省略しています。

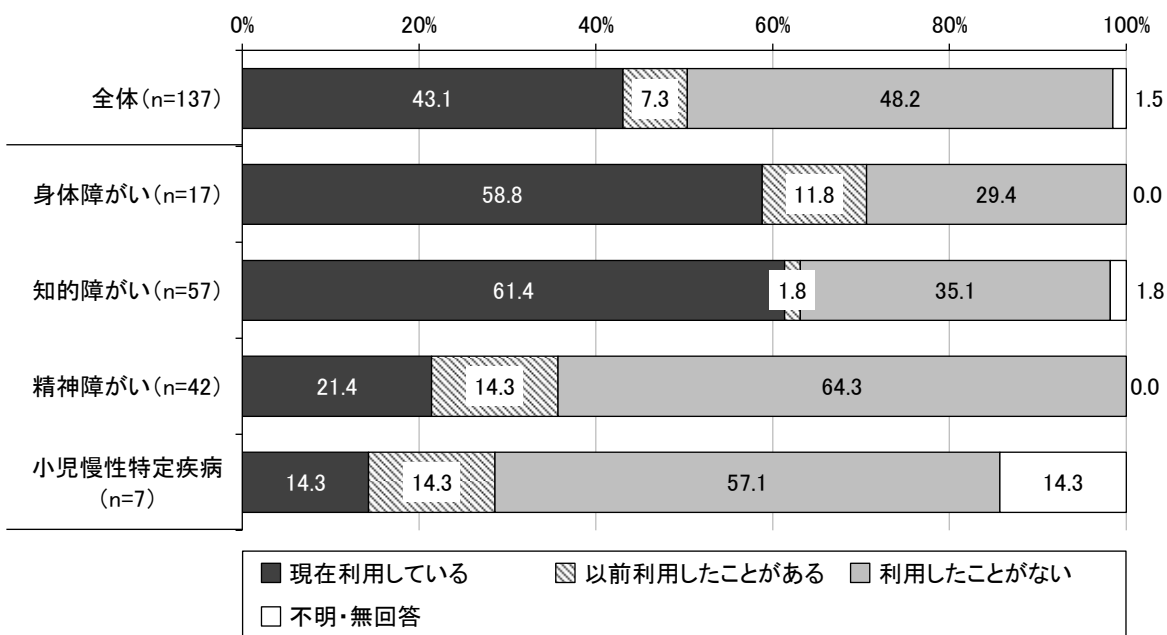
【その他回答】

- ・小学生の児童発達支援がないので作ってほしい

問49 ご本人は、放課後等デイサービスを利用したことがありますか。(1つに○)

障がいのある方本人が放課後等デイサービスを利用した経験についてみると、「利用したことがない」が48.2%と最も多く、次いで「現在利用している」が43.1%、「以前利用したことがある」が7.3%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいと知的障がいでは「現在利用している」、それ以外の区分では「利用したことがない」が最も多くなっています。

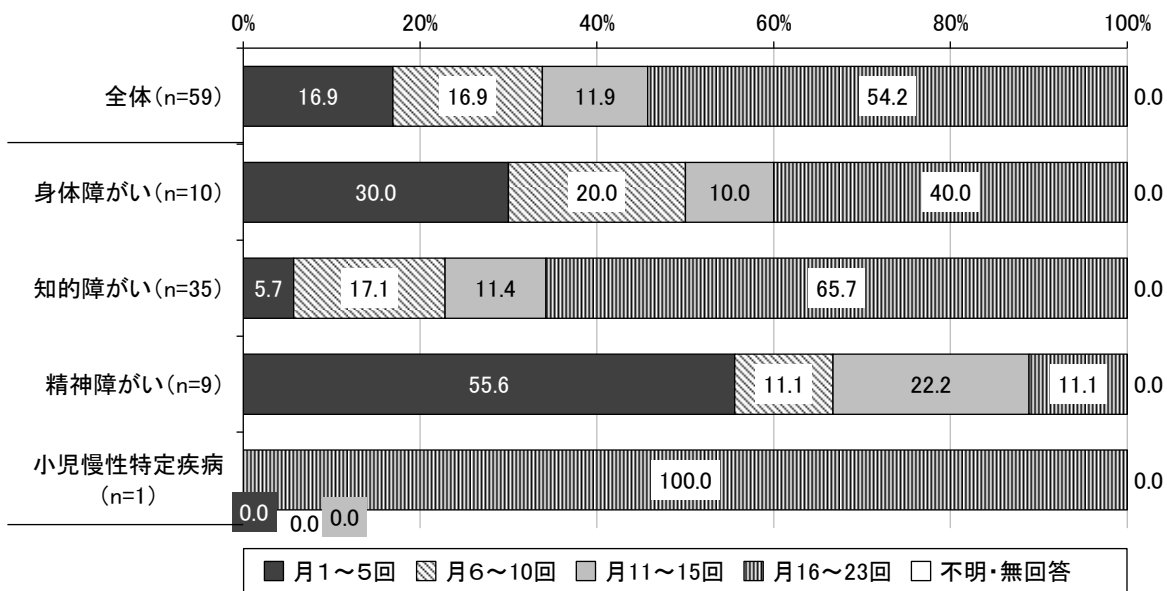


(問 49 で「現在利用している」と答えた方へ)

問 50 1か月のうち何回ぐらい利用していますか。(1つに○)

放課後等デイサービスの1か月の利用頻度についてみると、「月 16～23 回」が 54.2%と最も多く、次いで「月1～5回」「月6～10 回」が 16.9%、「月 11～15 回」が 11.9%となっています。

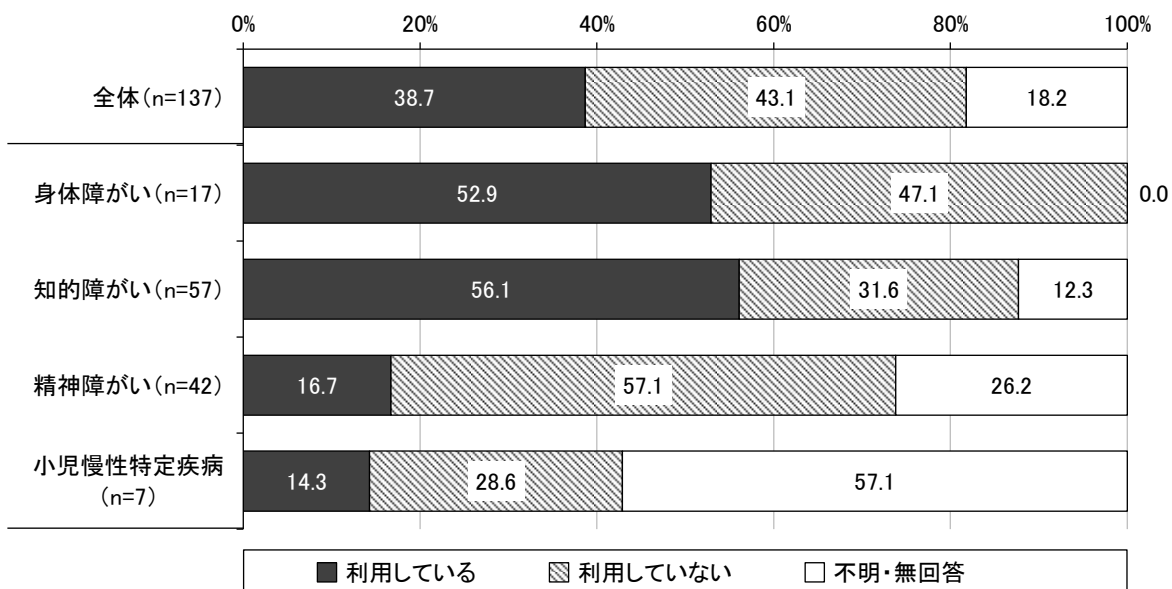
障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「月 16～23 回」が最も多くなっています。



問 51 長期休業中に放課後等デイサービスを利用していますか。(1つに○)

長期休業中の放課後等デイサービスの利用状況についてみると、「利用している」が 38.7%、「利用していない」が 43.1%となっています。

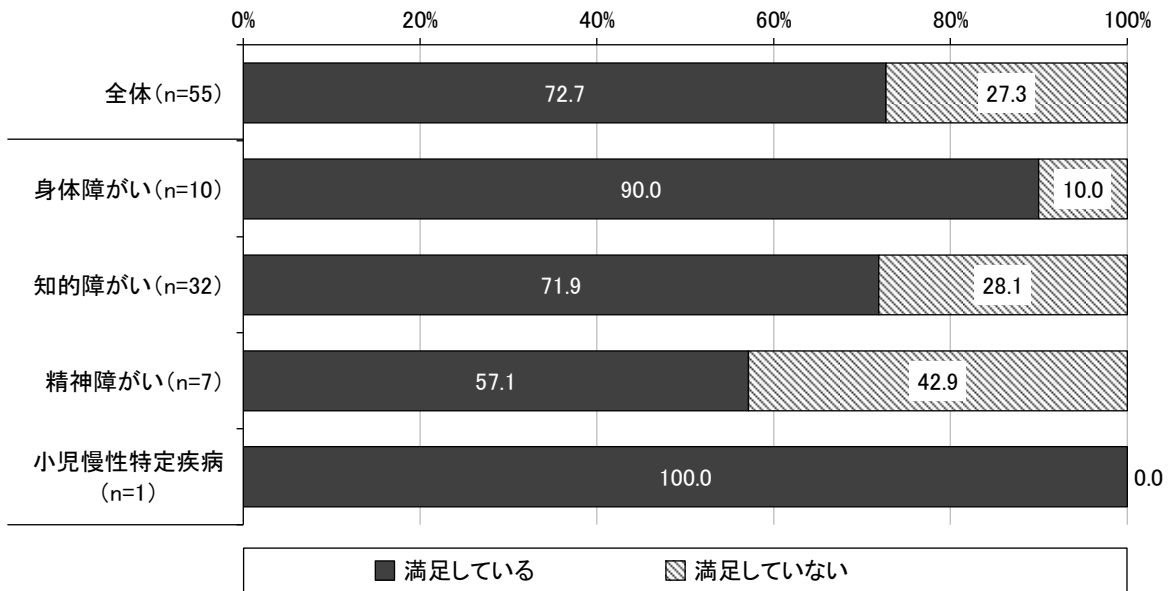
障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「利用している」、それ以外の区分では「利用していない」が多くなっています。



問 52 現在利用している放課後等デイサービスに満足していますか。(1つに○)

現在利用している放課後等デイサービスの満足度についてみると、「満足している」が 72.7%、「満足していない」が 27.3%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「満足している」が多くなっています。



※不明・無回答を除いて集計

(問 52 で「満足していない」と答えた方へ)

問 53 どういうところに不満を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

放課後等デイサービスのどういうところに不満を感じるかについてみると、「希望する曜日に予約が取れない」が46.7%と最も多く、次いで「支援員の対応に不満がある」が40.0%、「支援の内容に不満がある」が26.7%となっています。

単位：%	希望する曜日に予約が取れない	事業所が遠い	支援の内容に不満がある	支援員の対応に不満がある	その他	不明・無回答
全体(n=15)	46.7	0.0	26.7	40.0	60.0	0.0
身体障がい(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
知的障がい(n=9)	44.4	0.0	22.2	44.4	44.4	0.0
精神障がい(n=3)	33.3	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0

※小児慢性特定疾病は(n=0)のため省略しています。

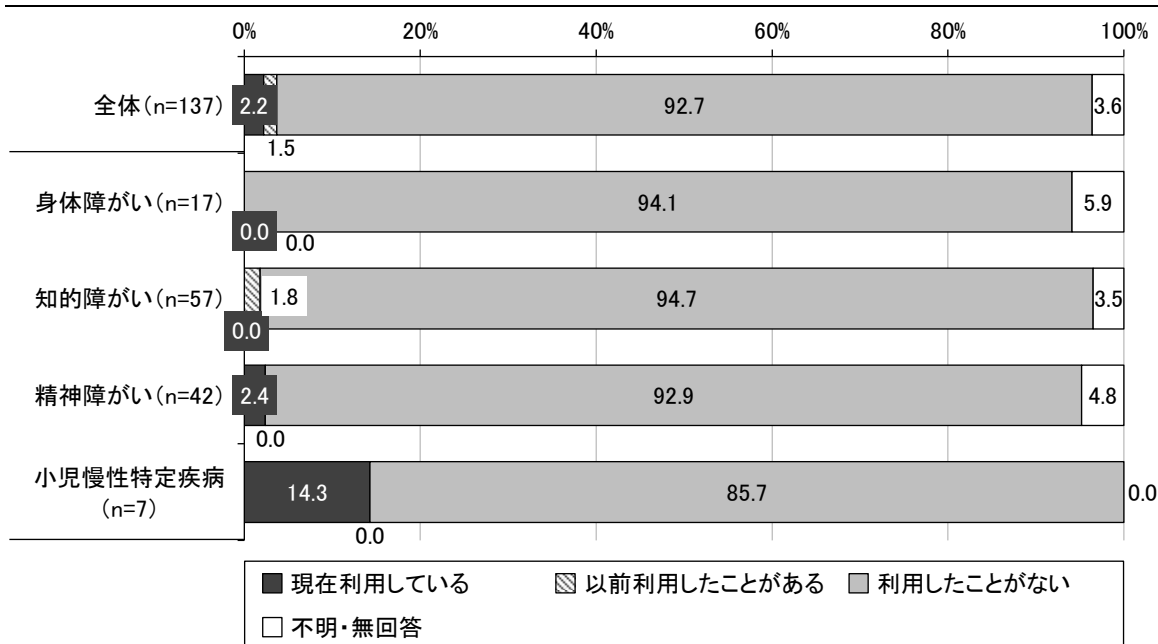
【その他回答】

(略)

問 54 ご本人は、短期入所を利用したことがありますか。(1つに○)

障がいのある方本人が短期入所を利用した経験についてみると、「利用したことがない」が 92.7%と最も多く、次いで「現在利用している」が 2.2%、「以前利用したことがある」が 1.5%となっています。

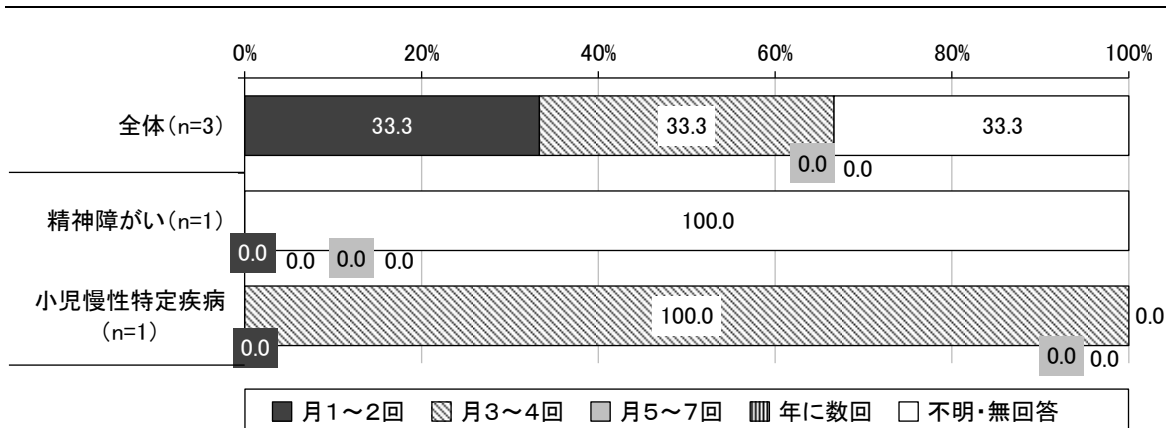
障がい種別にみると、いずれも「利用したことがない」が最も多くなっています。



(問 54 で「現在利用している」と答えた方へ)

問 55 どのくらい利用していますか。(1つに○)

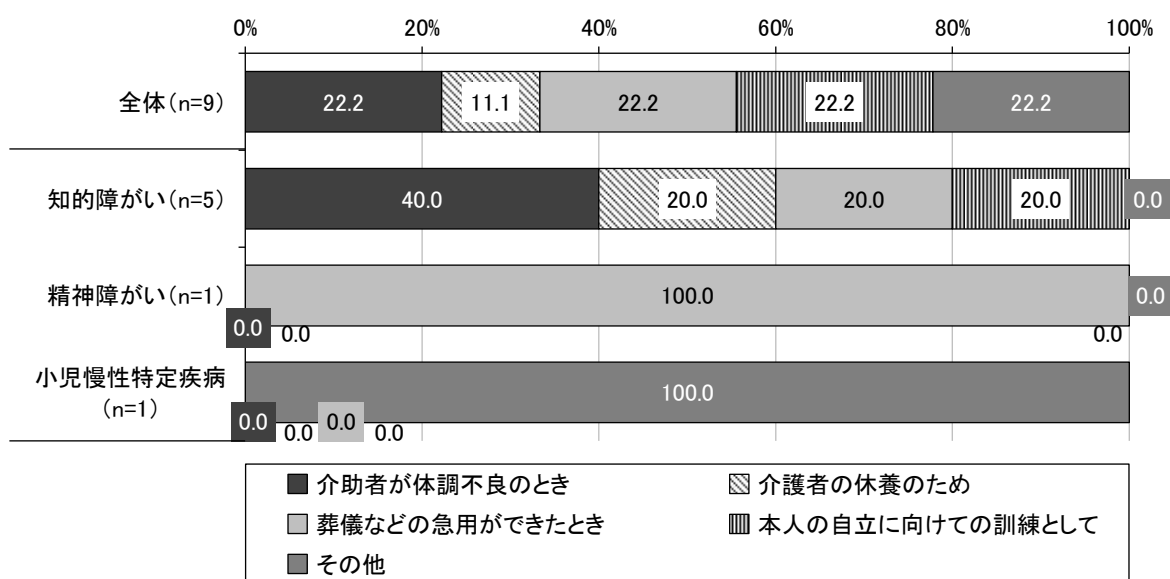
短期入所の利用頻度についてみると、「月1~2回」「月3~4回」が 33.3%となっています。



※身体障がい、精神障がいは (n=0) のため省略しています。

問 56 どういうときに短期入所を利用しますか。(1つに○)

どういうときに短期入所を利用するかについてみると、「介助者が体調不良のとき」「葬儀などの急用ができたとき」「本人の自立に向けての訓練として」が 22.2%、「介護者の休養のため」が 11.1%となっています。



※身体障がいは (n=0) のため省略しています。

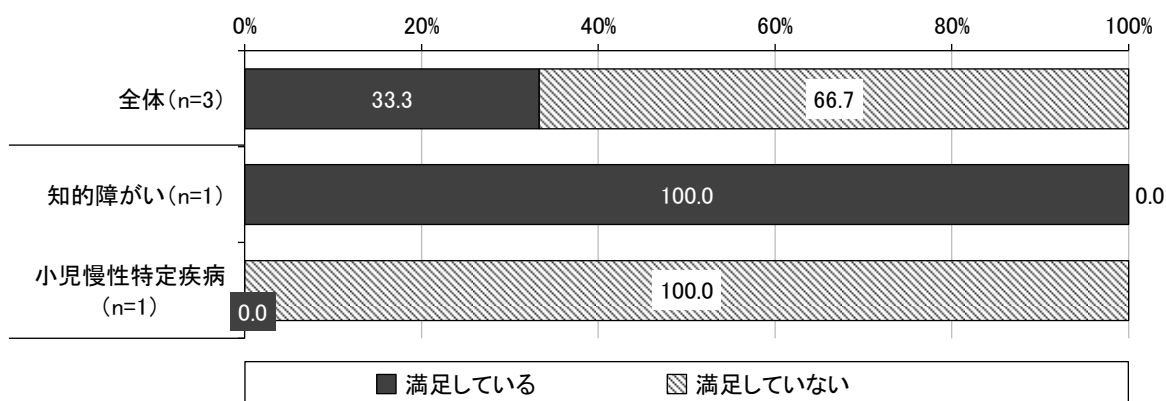
※不明・無回答を除いて集計

【その他回答】

(略)

問 57 現在利用している短期入所に満足していますか。(1つに○)

現在利用している短期入所の満足度についてみると、「満足している」が 33.3%、「満足していない」が 66.7%となっています。



※身体障がい、精神障がいは (n=0) のため省略しています。

※不明・無回答を除いて集計

(問 57 で「満足していない」と答えた方へ)

問 58 どういうところに不満を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

短期入所のどういうところに不満を感じるかについてみると、「希望する日時に予約が取れない」が 100.0% となっています。

単位：%	希望する日時に予約が取れない	事業所が遠い	支援の内容に不満がある	支援員の対応に不満がある	子ども（18歳未満）を受け入れにくい	その他	不明・無回答
全体(n=2)	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
小児慢性特定疾病(n=1)	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

※身体障がい、知的障がい、精神障がいは (n=0) のため省略しています。

問 59 現在、ご本人が利用されているサービスを下の表から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人が現在利用しているサービスについてみると、「放課後等デイサービス」が 41.6%と最も多く、次いで「何も利用していない」が 33.6%、「児童発達支援」が 11.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「放課後等デイサービス」、精神障がいでは「何も利用していない」が最も多くなっています。

単位：%	生活介護	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	移動支援	同行援護	行動援護	日中一時支援
全体(n=137)	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7	0.7	2.2	2.9
身体障がい(n=17)	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0
知的障がい(n=57)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	1.8
精神障がい(n=42)	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

単位：%	短期入所	児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	その他のサービス	何も利用していない	不明・無回答
全体(n=137)	1.5	11.7	41.6	0.7	2.2	33.6	9.5
身体障がい(n=17)	0.0	0.0	41.2	0.0	0.0	23.5	23.5
知的障がい(n=57)	0.0	15.8	63.2	0.0	0.0	17.5	5.3
精神障がい(n=42)	0.0	7.1	21.4	0.0	4.8	59.5	7.1
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0

【その他回答（利用しているサービス）】

- ・パーキングパーミット
- ・そもそも何も知らなかった
- ・訪問看護

【その他回答（利用していない理由）】

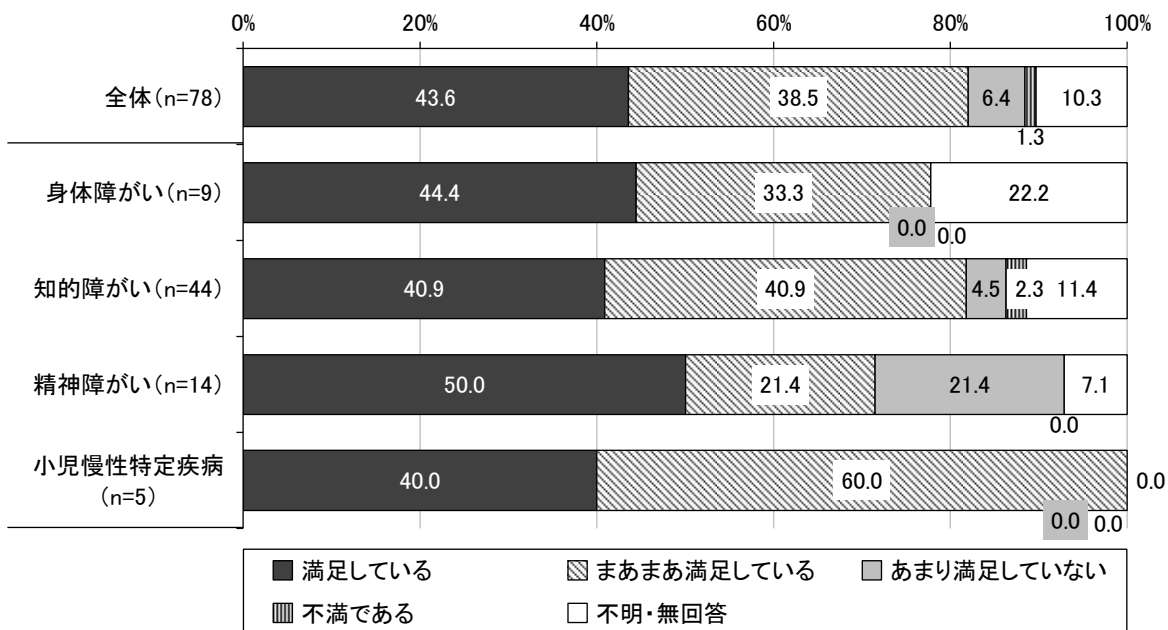
- ・利用する必要がないため
- ・家族の介助で生活できるから
- ・利用したいがサービスが現状（子どもなど）にマッチしないためできない
- ・放課後等デイサービスは近くで利用できる場所がない
- ・私が仕事的时候は実母が面倒を見てくれるので
- ・人と関わるのが大の苦手、逆にストレス
- ・本人が行きたがらない（拒否する）ため
- ・利用できる場所がないから！
- ・利用する機会がなかった
- ・誰も教えてはくれない
- ・本人に合うものがない
- ・知らなかった

（福祉サービスを利用されている方へ）

問 60 現在利用している福祉サービスに満足していますか。（1つに○）

現在利用している福祉サービスの満足度についてみると、「満足している」が 43.6%と最も多く、次いで「まあまあ満足している」が 38.5%、「あまり満足していない」が 6.4%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいでは「満足している」「まあまあ満足している」、精神障がいでは「満足している」が最も多くなっています。



(問 60 で「あまり満足していない」「不満である」と答えた方へ)

問 61 その理由を教えてください。(自由記述)

(略)

問 62 今後、ご本人に利用させたいと思うサービスを下の表から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

今後、障がいのある方本人に利用させたいと思うサービスについてみると、「放課後等デイサービス」が36.5%と最も多く、次いで「就労継続支援(B型)」が22.6%、「就労移行支援」が19.7%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「就労定着支援」「移動支援」「短期入所」、知的障がいでは「放課後等デイサービス」、精神障がいでは「就労移行支援」が最も多くなっています。

単位：%	施設入所支援	療養介護	共同生活援助（グループホーム）	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	就労定着支援	移動支援
全体(n=137)	5.8	2.2	13.1	6.6	15.3	19.7	19.0	22.6	14.6	13.9
身体障がい(n=17)	0.0	0.0	5.9	5.9	11.8	17.6	17.6	11.8	23.5	23.5
知的障がい(n=57)	8.8	0.0	24.6	10.5	17.5	15.8	22.8	40.4	7.0	21.1
精神障がい(n=42)	4.8	2.4	7.1	0.0	16.7	33.3	21.4	11.9	28.6	4.8
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3

単位：%	同行援護	行動援護	地域活動支援センター	日中一時支援	短期入所	児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	その他のサービス	不明・無回答
全体(n=137)	2.2	10.9	4.4	14.6	13.9	2.9	36.5	0.7	0.7	32.1
身体障がい(n=17)	11.8	5.9	0.0	11.8	23.5	0.0	17.6	0.0	5.9	52.9
知的障がい(n=57)	1.8	21.1	3.5	14.0	17.5	1.8	47.4	0.0	0.0	17.5
精神障がい(n=42)	0.0	4.8	9.5	11.9	4.8	2.4	28.6	0.0	0.0	35.7
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	42.9

【その他回答】

・移送サービス

・重度訪問介護

8 今後の市の施策について

問 63 ご本人が暮らしやすくなるために、もっと充実してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人が暮らしやすくなるために、もっと充実させてほしいことについてみると、「年金や手当など扶助制度」が 51.1%と最も多く、次いで「入院・通院にかかる医療費の助成」が 44.5%、「行政からの福祉サービスや制度に関する情報提供」が 38.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいでは「障がい者や家族が悩みを語り合ったり、病気や障がいのことを学べる場」、知的障がいでは「年金や手当など扶助制度」、精神障がいでは「一般就労の場の確保」「入院・通院にかかる医療費の助成」が最も多くなっています。

単位：%	障がい者のための相談窓口	地域との交流の場	障がい者が気軽に立ち寄ることができる場所	障がい者や家族が悩みを語り合ったり、病気や障がいを学べる場	障がい者や家族が悩みを語り合ったり、病気や障がいを学べる場	スポーツ・文化活動を通じた障がい者の社会参加	行政からの福祉サービスや制度に関する情報提供	光幕、点字、音声案内、電光掲示板などの情報保障	字幕、点字、音声案内、電光掲示板などの情報保障	意思疎通支援、要約筆記などの手話通訳	災害時の障がい者の援護対策	移動支援、同行支援、行動支援などの外出支援	ホームヘルパーの派遣やショートステイ（短期入所）などの生活支援	先入居などの住宅施策	公営住宅への障がい者の優先
全体(n=137)	38.0	6.6	22.6	29.2	12.4	38.7	5.8	3.6	35.0	23.4	19.0	11.7			
身体障がい(n=17)	29.4	17.6	41.2	47.1	35.3	41.2	17.6	11.8	35.3	23.5	23.5	11.8			
知的障がい(n=57)	42.1	7.0	28.1	26.3	14.0	38.6	8.8	5.3	43.9	38.6	24.6	12.3			
精神障がい(n=42)	47.6	2.4	16.7	35.7	7.1	35.7	0.0	0.0	26.2	7.1	11.9	16.7			
小児慢性特定疾病(n=7)	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0			

単位：%	グループホームなどの住宅施策	重度障がい、医療的ケアが必要な障がい児の在宅	一般就労の場の確保	職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援	就労継続支援B型事業所など福祉的就労の場	年金や手当など扶助制度	入院・通院にかかる医療費の助成	ボランティアの育成と活動	その他	特に必要ない	不明・無回答
全体(n=137)	20.4	10.9	37.2	35.8	29.2	51.1	44.5	21.9	8.0	4.4	8.8
身体障がい(n=17)	11.8	23.5	35.3	41.2	23.5	41.2	41.2	23.5	5.9	5.9	5.9
知的障がい(n=57)	38.6	7.0	33.3	40.4	45.6	54.4	35.1	31.6	5.3	0.0	7.0
精神障がい(n=42)	4.8	2.4	54.8	38.1	21.4	52.4	54.8	14.3	9.5	9.5	9.5
小児慢性特定疾病(n=7)	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	57.1	42.9	14.3	42.9	0.0	14.3

【その他回答】

(略)

必要な福祉サービスなど、障がい者福祉についてご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

回答

(略)

(略)

(略)

(略)

回答

(略)

(略)

回答

(略)

(略)

回答

(略)

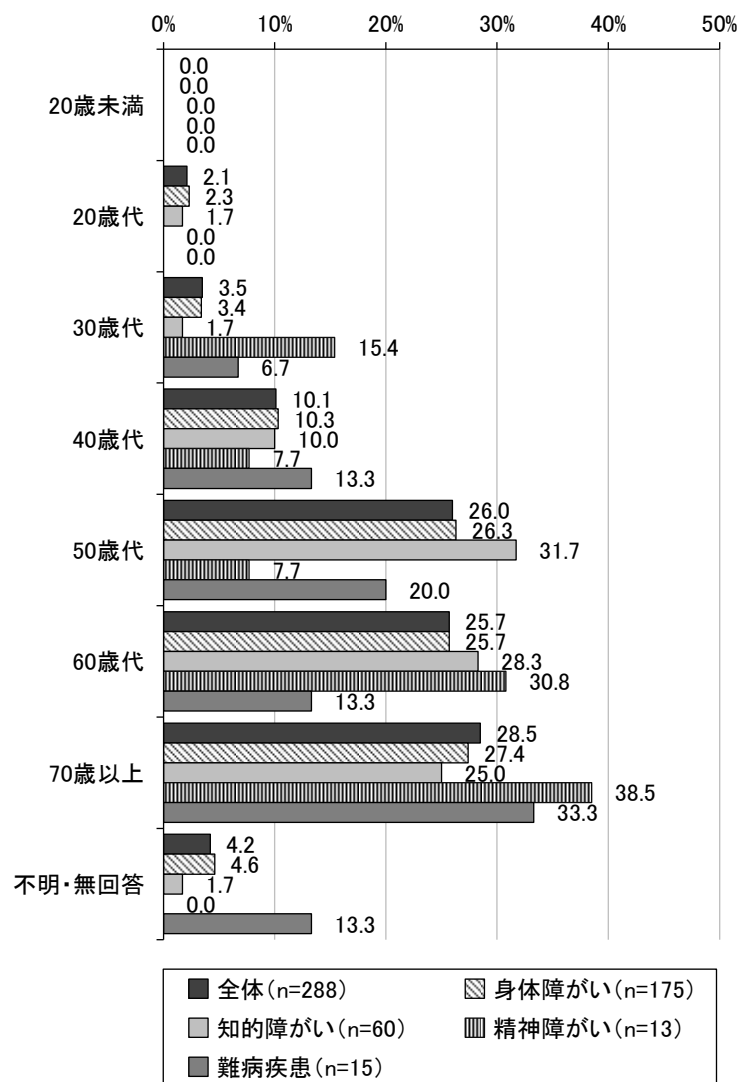
IV 同居の家族・介助者（18歳以上）

I ご家族・介助者の方ご自身のことについて

問1 あなたの年齢は。（1つに○）

同居の家族又は介助者の年齢についてみると、「70歳以上」が28.5%と最も多く、次いで「50歳代」が26.0%、「60歳代」が25.7%となっています。

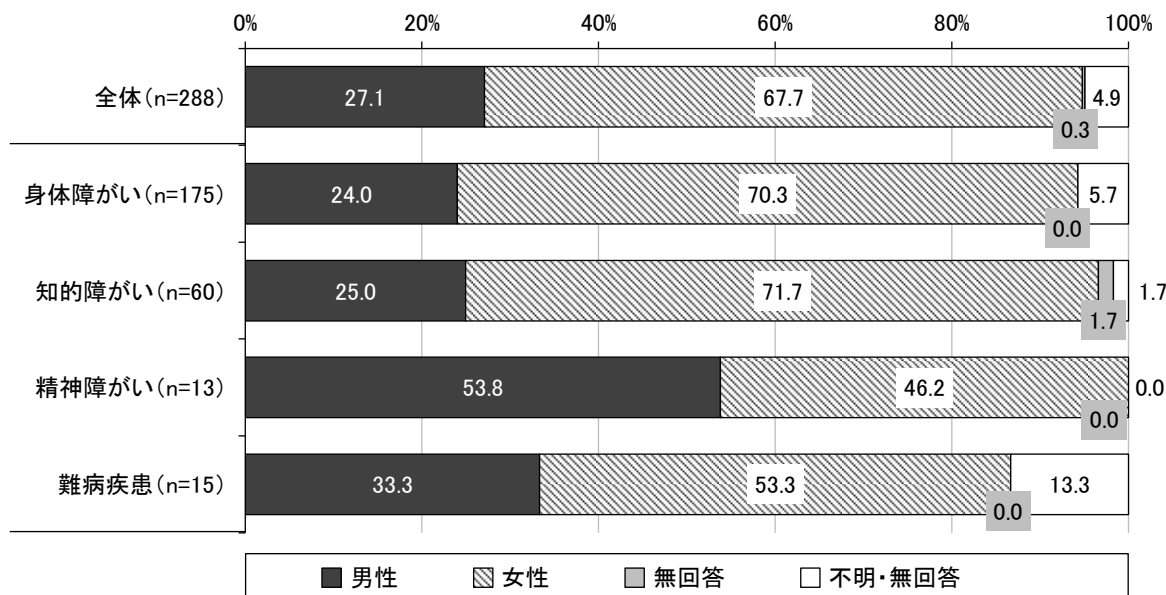
障がい種別に見ると、知的障がいでは「50歳代」、それ以外の区分では「70歳以上」が最も多くなっています。



問2 あなたの性別は。(1つに○)

同居の家族又は介助者の性別についてみると、「女性」が67.7%と最も多く、次いで「男性」が27.1%となっています。

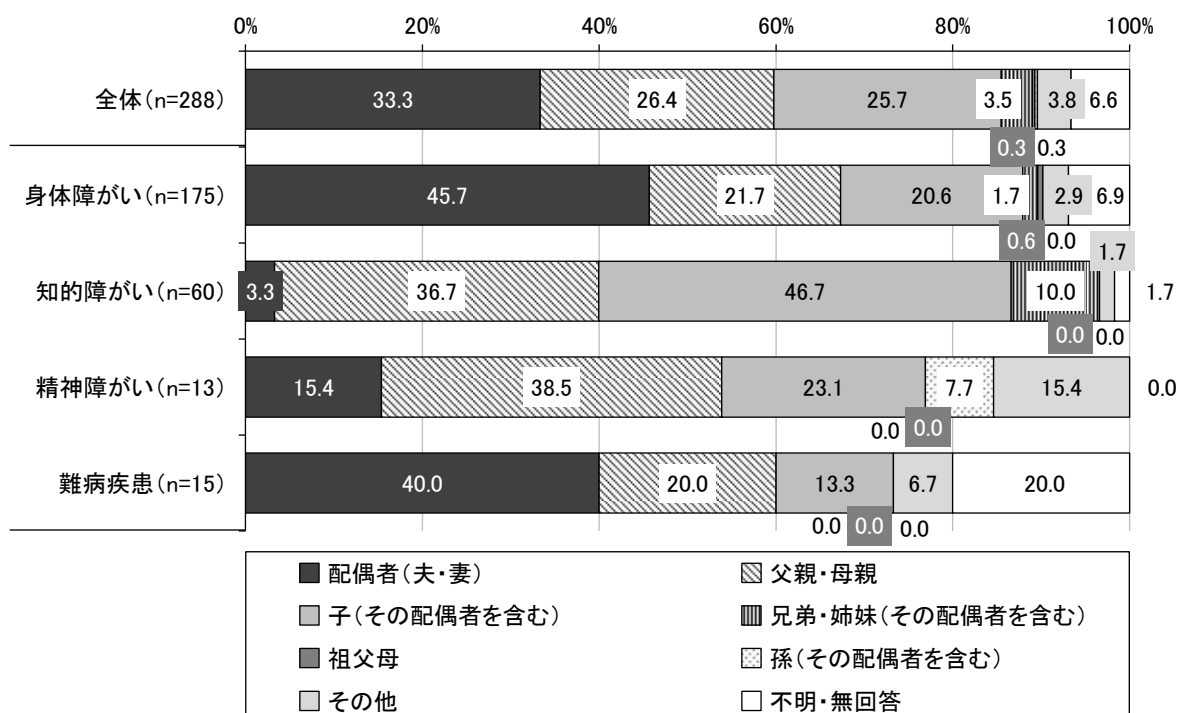
障がい種別にみると、精神障がいでは「男性」、それ以外の区分では「女性」が最も多くなっています。



問3 ご本人との関係はあなたから見てどれにあたりますか。(1つに○)

同居の家族又は介助者からみた障がいのある方との関係についてみると、「配偶者(夫・妻)」が33.3%と最も多く、次いで「父親・母親」が26.4%、「子(その配偶者を含む)」が25.7%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと難病疾患では「配偶者(夫・妻)」、知的障がいでは「子(その配偶者を含む)」、精神障がいでは「父親・母親」が最も多くなっています。



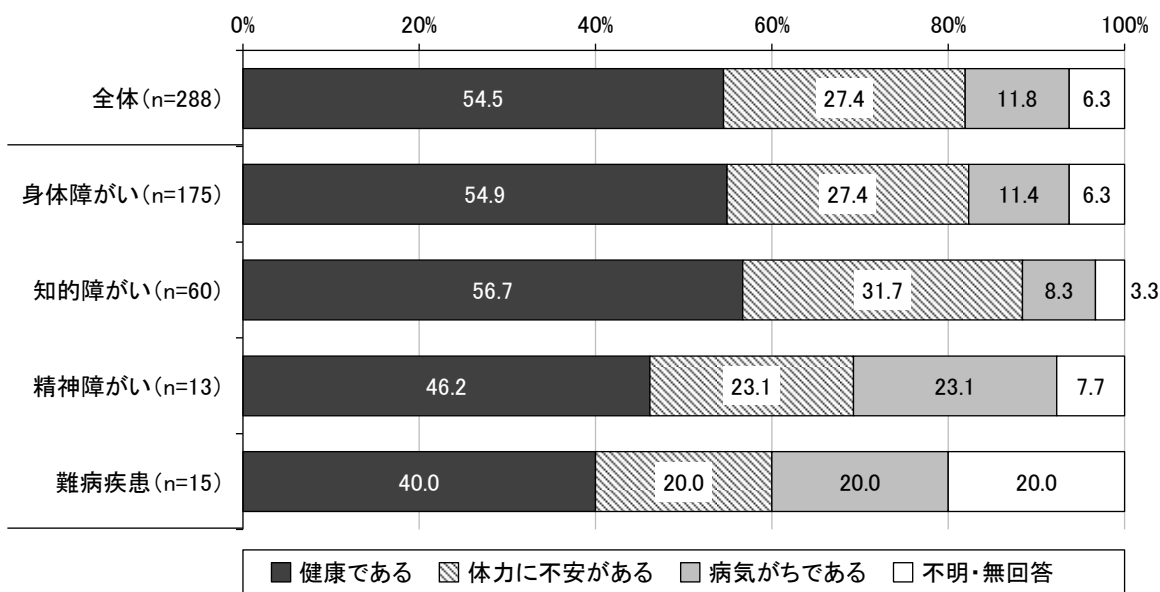
【その他回答】

- ・同居人
- ・本人
- ・妊
- ・恋人

問4 あなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

同居の家族又は介助者の健康状態についてみると、「健康である」が 54.5%と最も多く、次いで「体力に不安がある」が 27.4%、「病気がちである」が 11.8%となっています。

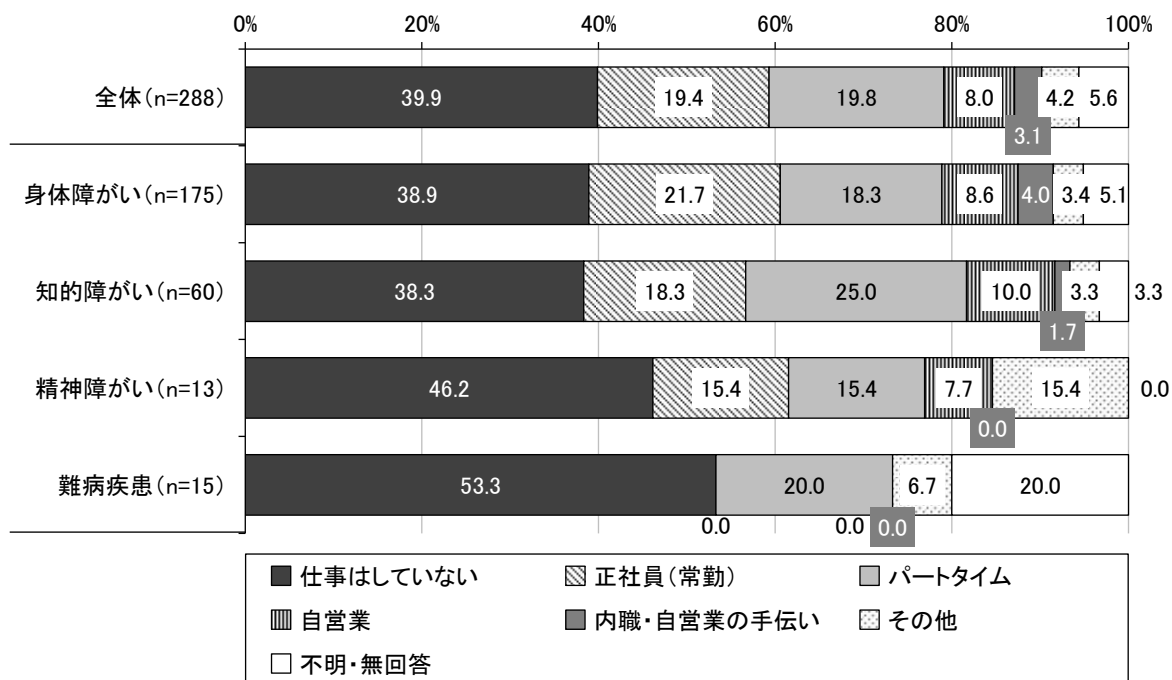
障がい種別にみると、いずれも「健康である」が最も多くなっています。



問5 あなたは現在、仕事をしていますか。(1つに○)

現在、仕事をしているかについてみると、「仕事はしていない」が 39.9%と最も多く、次いで「パートタイム」が 19.8%、「正社員(常勤)」が 19.4%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「仕事はしていない」が最も多くなっています。



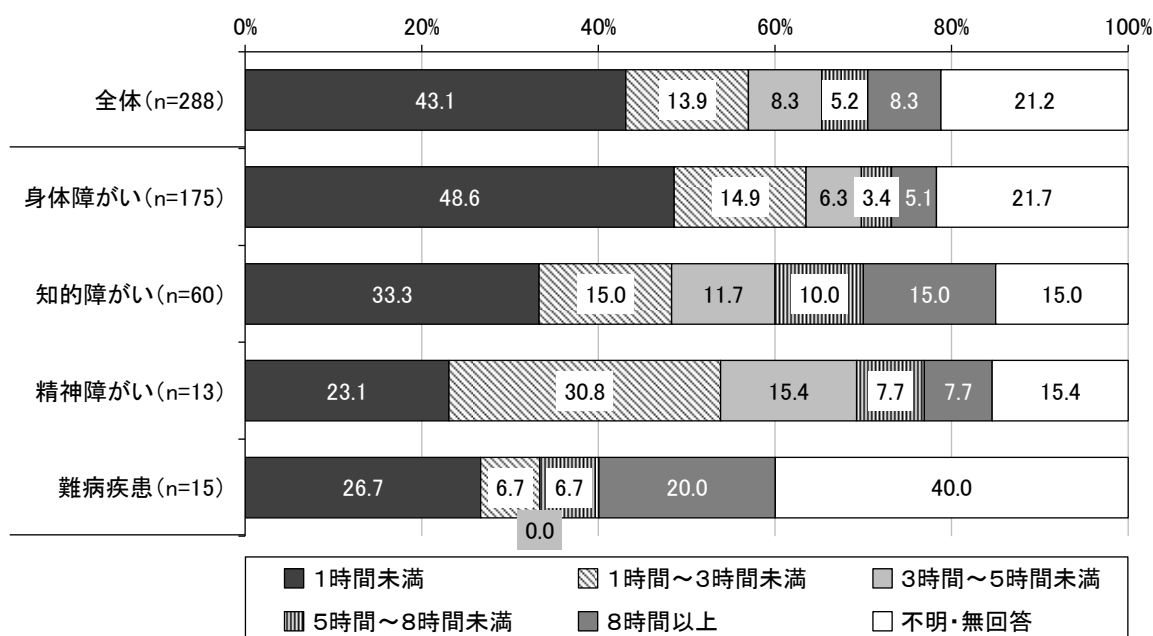
【その他回答】

(略)

問6 あなたが1日のうち介助をしている時間はどのくらいですか。(1つに○)

1日の介助時間についてみると、「1時間未満」が43.1%と最も多く、次いで「1時間～3時間未満」が13.9%、「3時間～5時間未満」「8時間以上」が8.3%となっています。

障がい種別に見ると、精神障がいでは「1時間～3時間未満」、それ以外の区分では「1時間未満」が最も多くなっています。



問7 あなたが介助していて困ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助していて困ることについてみると、「特にない」が40.6%と最も多く、次いで「精神的に疲れる」が29.2%、「腰痛など身体が疲れる」が17.0%となっています。

障がい種別に見ると、身体障がいでは「特にない」、知的障がいでは「精神的に疲れる」「特にない」、精神障がいと難病疾患では「精神的に疲れる」が最も多くなっています。

単位: %	腰痛など身体が疲れる	睡眠不足になりがち	精神的に疲れる	他の家族の世話ができない	買い物など外出ができない	仕事に出たいが出られない	自分の時間が持てない	経済的な負担がかかる	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=288)	17.0	11.8	29.2	3.5	5.6	4.9	12.5	15.6	2.8	40.6	13.2
身体障がい (n=175)	19.4	13.7	22.9	3.4	4.6	2.3	9.7	12.0	3.4	45.7	12.0
知的障がい (n=60)	10.0	6.7	36.7	0.0	10.0	8.3	13.3	20.0	3.3	36.7	11.7
精神障がい (n=13)	23.1	15.4	61.5	0.0	0.0	0.0	23.1	30.8	0.0	7.7	15.4
難病疾患 (n=15)	20.0	13.3	60.0	13.3	6.7	26.7	26.7	20.0	0.0	6.7	33.3

【その他回答】

- ・車の乗り降りに時間がかかること。お風呂に入れてあげられないこと（デイサービスを拒否）
- ・今のところ、祖父母も元気で支援してもらっているので今後は少し不安あり
- ・体力的に不安だけだが、生活が苦しいのでパートに出ている
- ・急病になった時ぐらいかな
- ・自身が介助されている側

問8 あなたがしている介助のなかで、家族以外の人に手伝ってもらったり、代わってもらえると助かるものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

介助のなかで、家族以外の人に手伝ってもらったり、代わってもらえると助かるものについてみると、「特にない」が50.0%と最も多く、次いで「食事の支度」が14.9%、「掃除・洗濯」が9.4%となっています。

障がい種別にみると、いずれも「特にない」が最も多くなっています。

単位：%	食事の支度	掃除・洗濯	買い物	留守番	他の家族の世話	食事の介助	排せつの介助	着替えの介助	入浴の介助	室内移動の介助	外出の介助	特にない	その他	不明・無回答
全体(n=288)	14.9	9.4	9.0	4.2	3.5	2.4	5.2	4.2	8.3	2.1	8.0	50.0	4.9	14.6
身体障がい(n=175)	14.9	8.6	6.9	1.1	3.4	1.7	5.7	4.0	6.3	1.7	6.9	55.4	4.6	13.7
知的障がい(n=60)	15.0	10.0	11.7	11.7	5.0	3.3	5.0	3.3	11.7	3.3	10.0	46.7	3.3	8.3
精神障がい(n=13)	23.1	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	7.7	15.4
難病疾患(n=15)	6.7	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0	13.3	46.7	0.0	26.7

【その他回答】

- ・電気ストーブの消し忘れ、火の消し忘れを見てもらいたい。薬の飲み忘れも見てもらいたい
- ・自分が介助されている側で、運動機能の向上をお願いしたい
- ・今は大丈夫だけど必要になった時相談し利用させていただく
- ・病院への移動と病院の転居
- ・オムツとパットの取替
- ・介助していない
- ・本人の話し相手
- ・作り物を買う

問9 あなたが何らかの理由で介助できなくなった場合はどうしますか。

(あてはまるものすべてに○)

何らかの理由で介助できなくなった場合の対処方法についてみると、「家族または親戚に協力を依頼する」が29.9%と最も多く、次いで「わからない」が21.5%、「施設に入所させる」が19.4%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと知的障がいでは「家族または親戚に協力を依頼する」、精神障がいでは「施設に入所させる」、難病疾患では「家族または親戚に協力を依頼する」「短期入所を利用する」が最も多くなっています。

単位：%	施設に入所させる	通所サービスを利用する	ヘルパーに援助を依頼する	家族または親戚に協力を依頼する	短期入所を利用する	市役所の職員に相談する	わからない	その他	不明・無回答
全体(n=288)	19.4	11.5	14.6	29.9	13.9	15.6	21.5	4.5	11.8
身体障がい(n=175)	16.6	10.3	17.1	29.1	11.4	14.9	22.3	4.6	13.1
知的障がい(n=60)	26.7	20.0	11.7	41.7	23.3	18.3	15.0	1.7	3.3
精神障がい(n=13)	30.8	0.0	15.4	23.1	0.0	23.1	23.1	7.7	7.7
難病疾患(n=15)	13.3	0.0	6.7	20.0	20.0	6.7	13.3	13.3	33.3

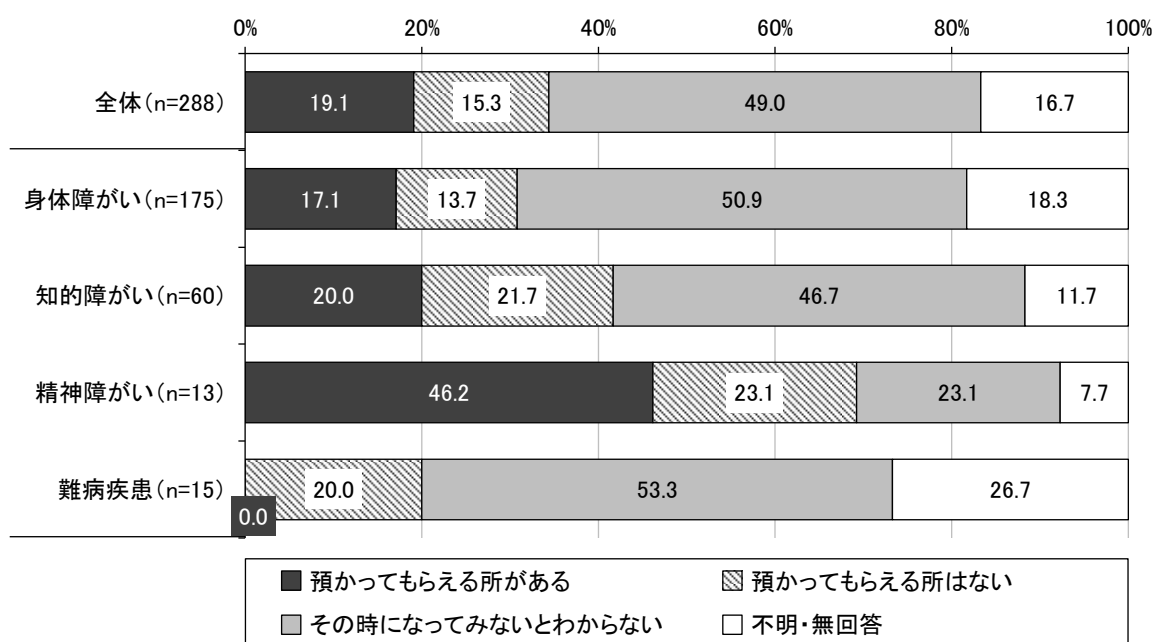
【その他回答】

- ・現在の時点で介助は特に必要がない
- ・宅老所利用
- ・介助不要
- ・その時にならないとわからない
- ・わからない

問 10 あなたが入院や親類の葬儀などで急に介助できなくなった場合に、ご本人を預かってもらえる所がありますか。(1つに○)

入院や親類の葬儀などで急に介助できなくなった場合に、障がいのある方本人を預かってもらえる所があるかについてみると、「その時になってみないとわからない」が 49.0%と最も多く、次いで「預かってもらえる所がある」が 19.1%、「預かってもらえる所はない」が 15.3%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいは「預かってもらえる所がある」、それ以外の区分では「その時になってみないとわからない」が最も多くなっています。



問 11 あなたがご本人の介助のことで困ったときはだれに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

介助のことで困ったときの相談先についてみると、「家族、親せき」が 55.9%と最も多く、次いで「障がい者総合相談窓口の相談員」が 18.8%、「医療関係者」が 15.3%となっています。

障がい種別にみると、精神障がいでは「計画相談の担当の相談支援専門員」「医療関係者」、それ以外の区分では「家族、親せき」が最も多くなっています。

単位：%	障がい者総合相談窓口の相談員	家族、親せき	友人、知人	計画相談の担当の相談支援専門員	医療関係者	福祉施設の職員	市役所の職員	ホームヘルパー
全体(n=288)	18.8	55.9	9.4	10.1	15.3	13.5	8.3	3.1
身体障がい(n=175)	18.9	56.0	10.3	7.4	15.4	7.4	6.9	3.4
知的障がい(n=60)	23.3	65.0	11.7	18.3	10.0	31.7	11.7	0.0
精神障がい(n=13)	23.1	30.8	7.7	38.5	38.5	23.1	15.4	0.0
難病疾患(n=15)	0.0	46.7	6.7	0.0	20.0	13.3	0.0	0.0

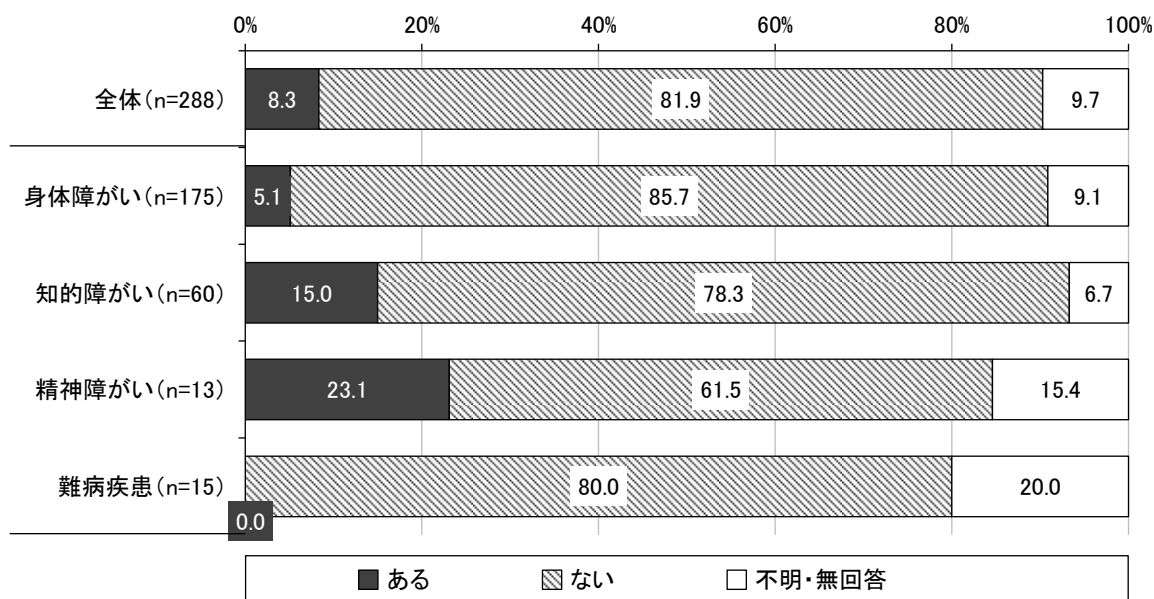
単位：%	民生委員、自治会長	身体・知的の障害者相談員	障害者団体の役員・会員、家族会	佐賀県難病相談支援センターの相談員	だれもない	その他	不明・無回答
全体(n=288)	4.9	1.0	2.1	1.4	3.8	5.2	12.2
身体障がい(n=175)	4.0	0.6	1.1	1.1	3.4	5.7	12.6
知的障がい(n=60)	5.0	3.3	3.3	1.7	1.7	3.3	6.7
精神障がい(n=13)	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4
難病疾患(n=15)	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	26.7

【その他回答】

- ・ケアマネジャー
- ・介護支援専門員
- ・私の子ども
- ・佐賀県立地域生活リハビリセンター
- ・後見人制度利用

問 12 あなたは障がい者総合相談窓口に相談したことがありますか。(1つに○)

障がい者総合相談窓口への相談経験についてみると、「ある」が8.3%、「ない」が81.9%となっています。障がい種別にみると、いずれも「ない」が多くなっています。

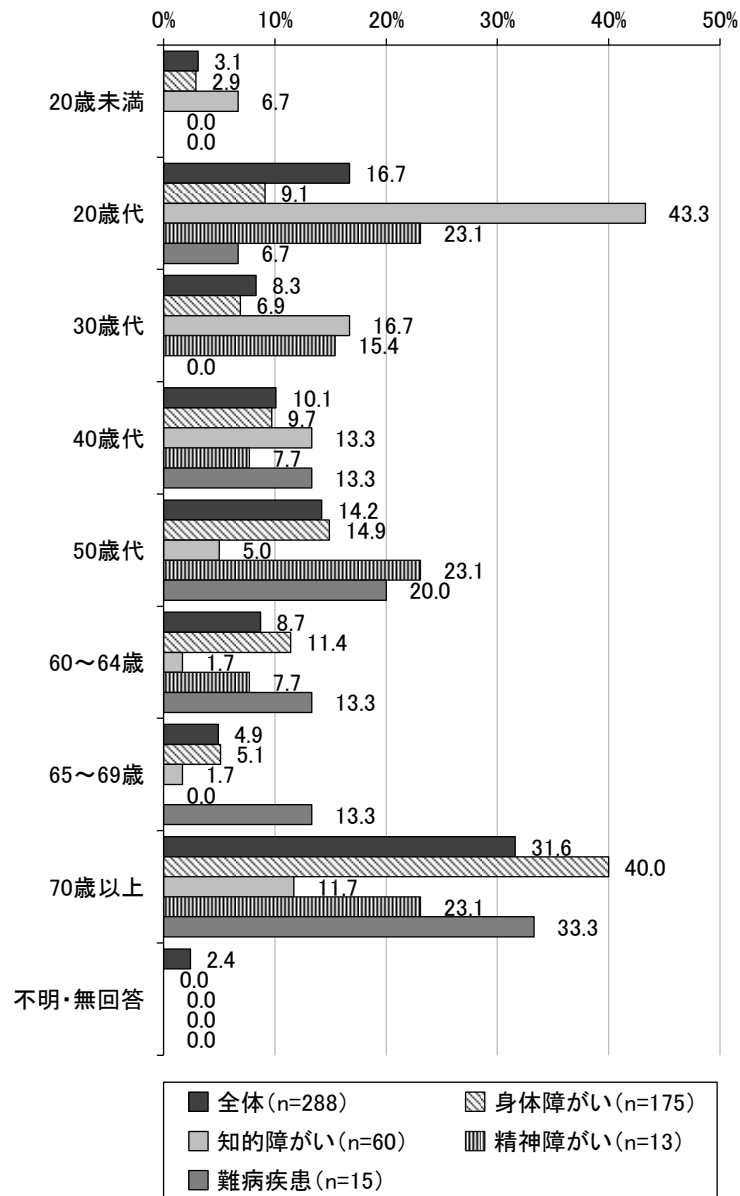


2 ご本人（障がいのある方）のこゝについて

問13 ご本人の年齢は。（1つに〇）

障がいのある方本人の年齢についてみると、「70歳以上」が31.6%と最も多く、次いで「20歳代」が16.7%、「50歳代」が14.2%となっています。

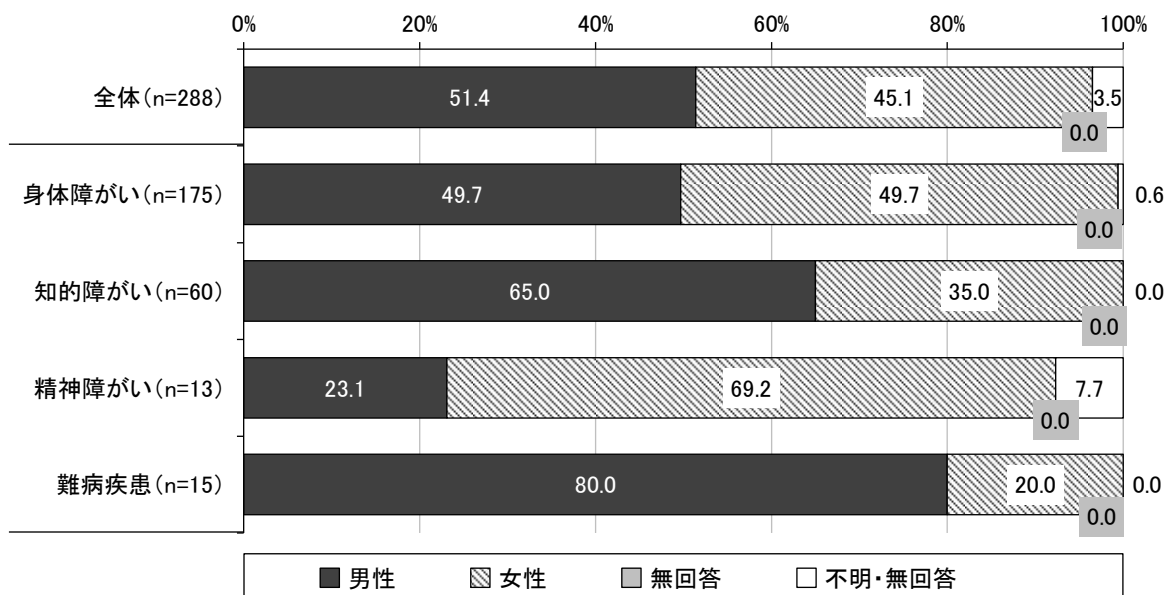
障がい種別に見ると、身体障がいと難病疾患では「70歳以上」、知的障がいでは「20歳代」、精神障がいでは「20歳代」「50歳代」「70歳以上」が最も多くなっています。



問 14 ご本人の性別は。(1つに○)

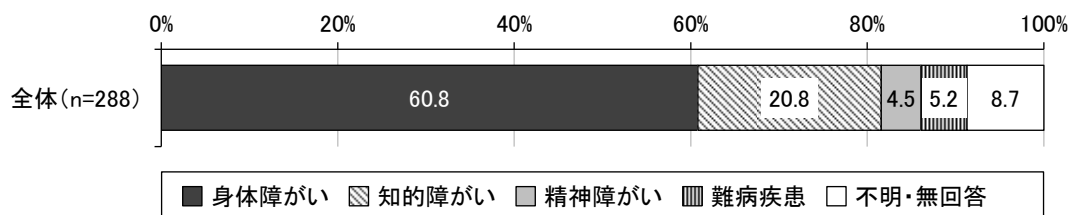
障がいのある方本人の性別についてみると、「男性」が 51.4%と最も多く、次いで「女性」が 45.1%となっています。

障がい種別にみると、知的障がいと難病疾患では「男性」、精神障がいでは「女性」が最も多く、身体障がいでは「男性」「女性」が同率となっています。



問 15 ご本人の主な障がいは何ですか。(1つに○)

障がいのある方本人の主な障がいについてみると、「身体障がい」が 60.8%と最も多く、次いで「知的障がい」が 20.8%、「難病疾患」が 5.2%となっています。



問 16 ご本人は、障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人の障害者手帳の所持状況についてみると、「身体障害者手帳」が 73.3%と最も多く、次いで「療育手帳」が 24.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が 6.6%となっています。

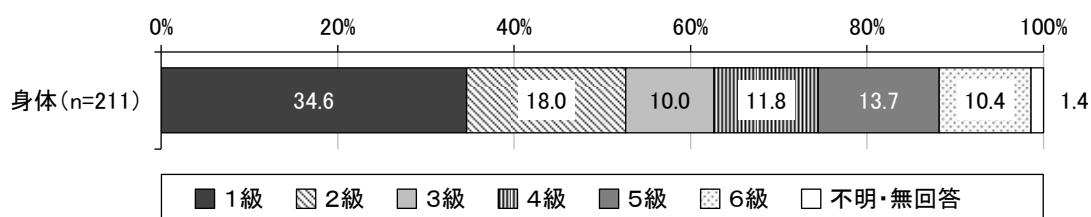
障がい種別にみると、身体障がいでは「身体障害者手帳」、知的障がいでは「療育手帳」、精神障がいでは「精神障害者保健福祉手帳」、難病疾患では「身体障害者手帳」が最も多くなっています。

単位：%	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳なし	難病疾患	不明・無回答
全体 (n=288)	73.3	24.7	6.6	3.5	5.6	4.2
身体障がい (n=175)	97.1	4.0	2.3	2.9	2.9	1.7
知的障がい (n=60)	18.3	95.0	5.0	1.7	0.0	1.7
精神障がい (n=13)	15.4	7.7	69.2	15.4	0.0	0.0
難病疾患 (n=15)	100.0	6.7	6.7	0.0	53.3	0.0

(問 16 で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問 16: 1-1 身体障害者手帳所持者の等級

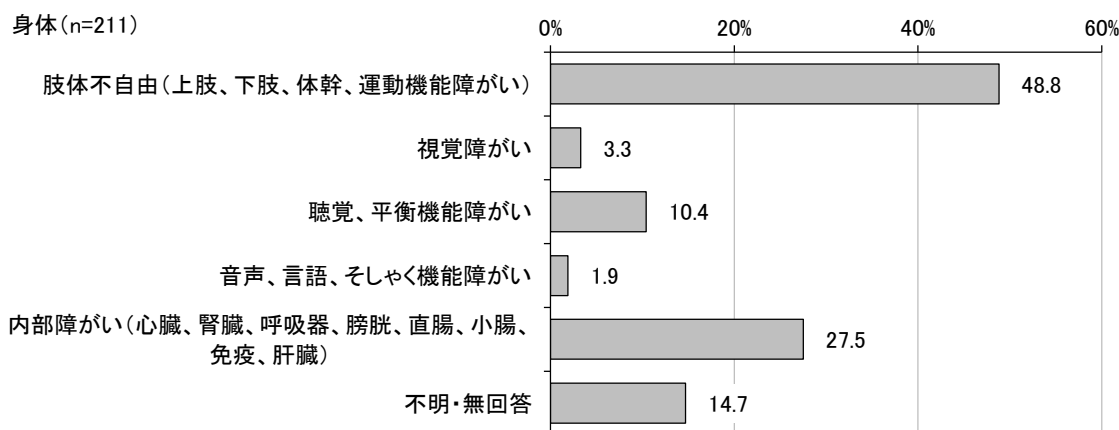
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が 34.6%と最も多く、次いで「2級」が 18.0%、「5級」が 13.7%となっています。



(問 16 で「身体障害者手帳」を選んだ方へ)

問 16: 1-2 身体障害者手帳所持者の障がい種別

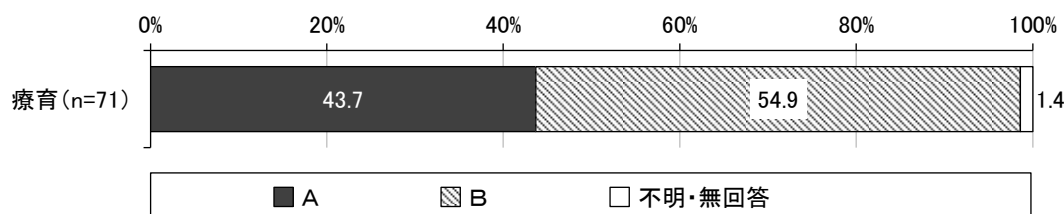
身体障害者手帳所持者の障がい種別についてみると、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障がい)」が 48.8%と最も多く、次いで「内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫、肝臓)」が 27.5%、「聴覚、平衡機能障がい」が 10.4%となっています。



(問 16 で「療育手帳」を選んだ方へ)

問 16: 2 療育手帳所持者の等級

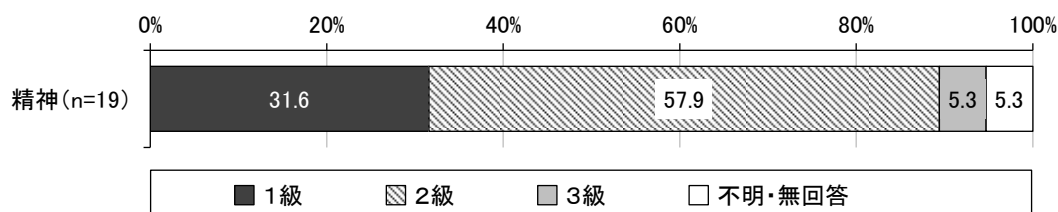
療育手帳所持者の等級についてみると、「A」が 43.7%、「B」が 54.9%となっています。



(問 16 で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問 16: 3-1 精神障害者保健福祉手帳所持者の等級

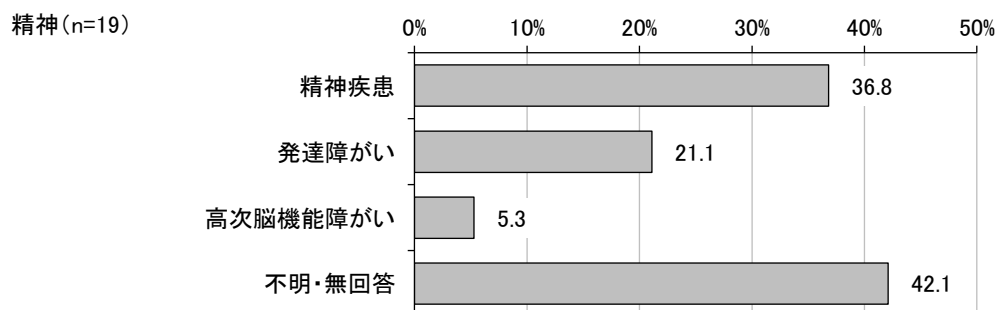
精神障害者保健福祉手帳所持者の等級についてみると、「2級」が 57.9%と最も多く、次いで「1級」が 31.6%、「3級」が 5.3%となっています。



(問 16 で「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方へ)

問 16: 3-2 精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別

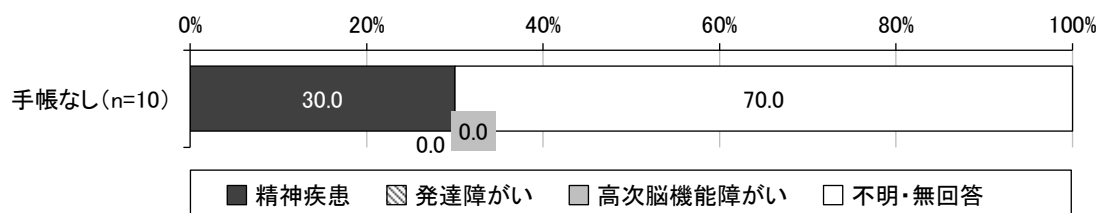
精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい種別についてみると、「精神疾患」が 36.8%と最も多く、次いで「発達障がい」が 21.1%、「高次脳機能障がい」が 5.3%となっています。



(問 16 で「手帳なし」を選んだ方へ)

問 16: 4 障害者手帳を所持していない方の診断名

障害者手帳を所持していない方の診断名についてみると、「精神疾患」が 30.0%となっています。



問 17 ご本人は医療的ケアが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方本人の医療的ケアが必要かについてみると、「その他」を除いて「透析」が7.6%と多く、次いで「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」が5.2%、「導尿」が3.8%となっています。

障がい種別にみると、身体障がいと難病疾患では「透析」、知的障がいでは「透析」「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」「モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)」、精神障がいでは「気管切開の処置」「疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)」が多くなっています。

単位：%	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法(在宅酸素)	人工呼吸器	気管切開の処置	経管栄養(胃ろう)
全体(n=288)	0.7	0.0	7.6	2.4	0.7	0.0	1.0	1.0
身体障がい(n=175)	1.1	0.0	9.1	3.4	0.6	0.0	0.6	0.6
知的障がい(n=60)	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障がい(n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
難病疾患(n=15)	0.0	0.0	26.7	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3

単位：%	たん吸引	疼痛の管理(病気による痛みを和らげるための服薬等の管理)	褥瘡(床ずれ)の処置	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和濃度)	導尿	その他	不明・無回答
全体(n=288)	1.7	5.2	3.1	3.1	3.8	18.4	60.1
身体障がい(n=175)	2.3	6.9	3.4	2.3	5.7	20.0	53.7
知的障がい(n=60)	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	16.7	78.3
精神障がい(n=13)	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	61.5
難病疾患(n=15)	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	13.3	26.7

【その他回答】

(略)

必要な福祉サービスなど、障がい者福祉についてご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

回答

(略)

(略)

(略)

(略)

(略)

(略)

(略)

障がい者の福祉ニーズに関する
アンケート調査
結果報告書

発行: 佐賀市 保健福祉部 障がい福祉課

TEL: 0952-40-7251

FAX: 0952-40-7379

発行年月: 令和5年4月